

# 2009年3月期 第1四半期決算 アナリスト説明会



2008年8月6日  
ソフトバンク株式会社

# 目次

## 経理編

連結P/L分析	4
連結B/S分析	12
連結C/F分析	20

## 財務編

フリー・キャッシュ・フロー拡大へ	26
有利子負債削減のステージへ	32
各種財務指標の改善へ	42

## 事業編

ブロードバンド・インフラ事業	51
固定通信事業	55
移動体通信事業	59

# 経理編

---

ソフトバンク株式会社  
経理部長 兼 内部統制室長

君和田 和子

**連結P/L增減分析**

**連結B/S增減分析**

**連結C/F增減分析**

# 連結範囲および持分法適用の範囲

<P/L-1>

		社数	主な会社名
連結子会社数		105	ソフトバンクモバイル、ソフトバンクBB、ソフトバンクテレコム、ヤフー、ソフトバンク・テクノロジー、アイティメディアなど
	新たに連結子会社となった会社数	5	ソフトバンクテレコムパートナーズ（※1）、アリババなど
	連結の範囲から除外された会社数	9	ブロードメディアなど
非連結子会社数		74	重要性の低い小規模な会社
持分法適用非連結子会社数		4	
	新たに持分法適用となった会社数	1	
持分法適用関連会社数		71	ガンホー・オンライン・エンターテイメント、マイスペース、Alibaba Group Holding Limitedなど
	新たに持分法適用となった会社数	10	ブロードメディアなど
	持分法適用から除外された会社数	3	
持分法非適用非連結子会社数		70	重要性の低い小規模な会社
持分法非適用関連会社数		19	重要性の低い小規模な会社

	連結子会社数	持分法適用会社数	主なグループ会社	主な事業内容
移動体通信事業	5	2	ソフトバンクモバイル（SBM）	携帯電話サービスの提供、携帯電話端末の販売など
ブロードバンド・インフラ事業	5	3	ソフトバンクBB（SBB）	ADSL、光ファイバーによる高速インターネット接続サービス提供など
固定通信事業	4	-	ソフトバンクテレコム（SBTM）	固定通信サービス、データセンターサービスの提供など
インターネット・カルチャー事業	14	19	ヤフー	インターネット上の広告事業など
イーコマース事業	7	4	ソフトバンクBB、ベクター、カービュー	PC向けソフトウェア、PCや周辺機器等のハードウェアの流通、電子商取引など
その他の事業	70	47	ソフトバンク・テクノロジー、アイティメディア	テクノロジー・サービス事業、メディア・マーケティング事業、海外ファンド事業など
合計	105	75		

※1：2008年7月1日に日本テレコムインボイスから商号を変更

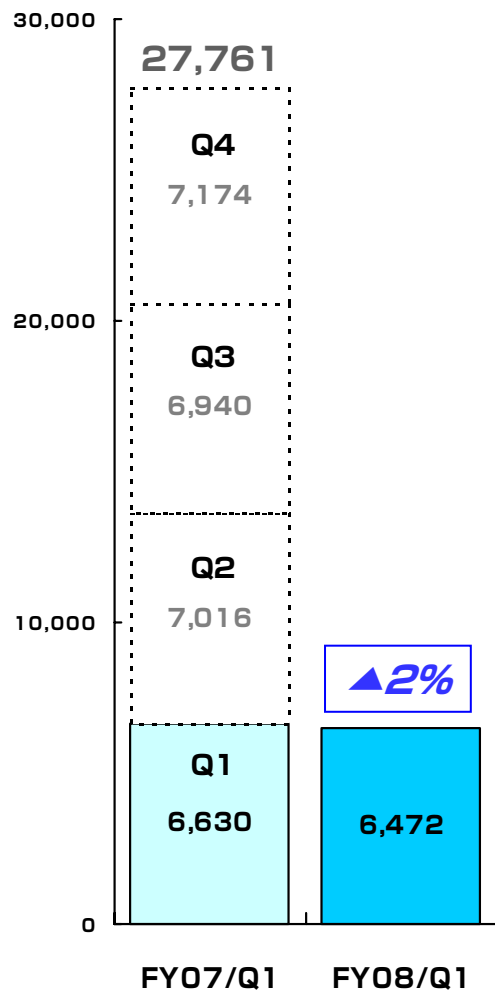
※2：SBB、SBTM、ヤフーは複数のセグメントに属する事業を営んでいますが、SBBはブロードバンド・インフラ事業、SBTMは固定通信事業、ヤフーはインターネット・カルチャー事業の連結子会社にそれぞれ含めています。

# 連結P/L総括

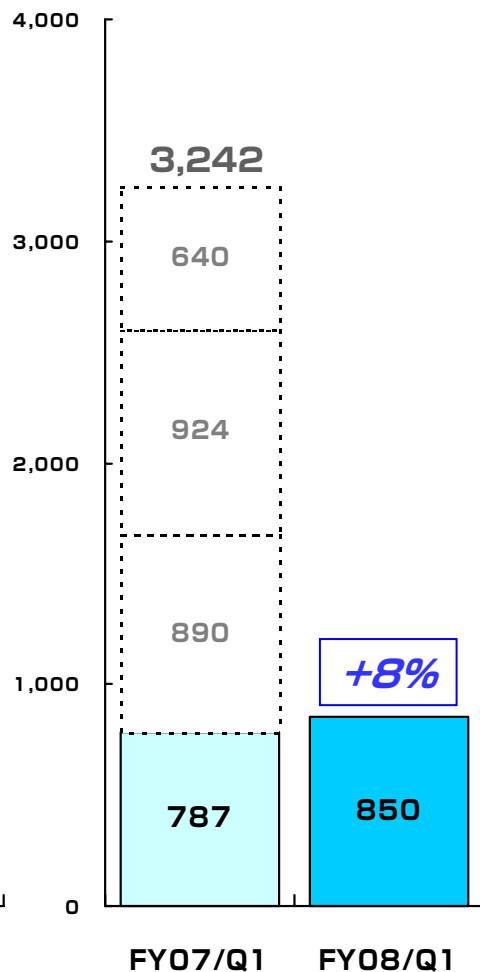
<P/L-2>

<億円>

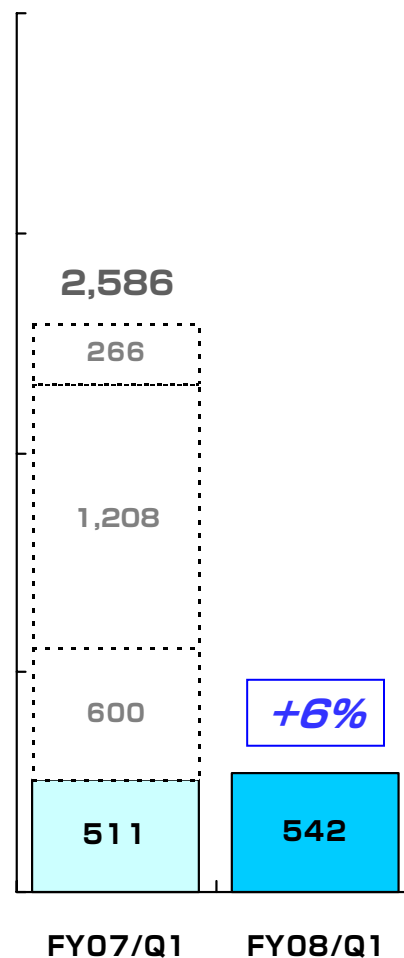
## 売上高



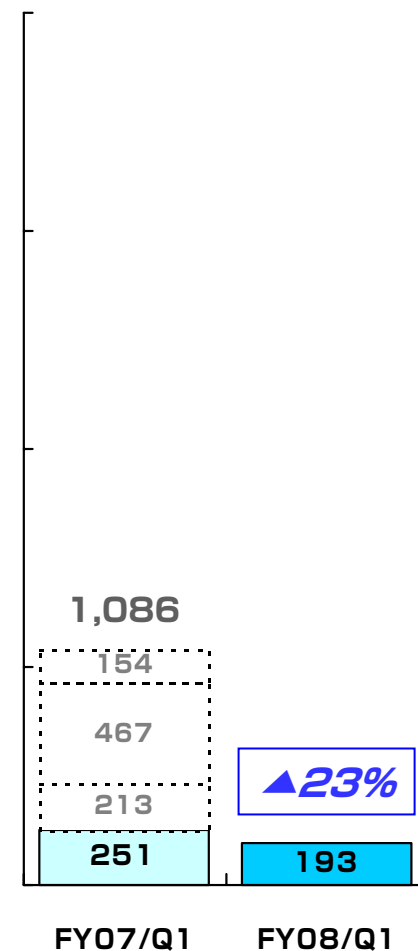
## 営業利益



## 経常利益

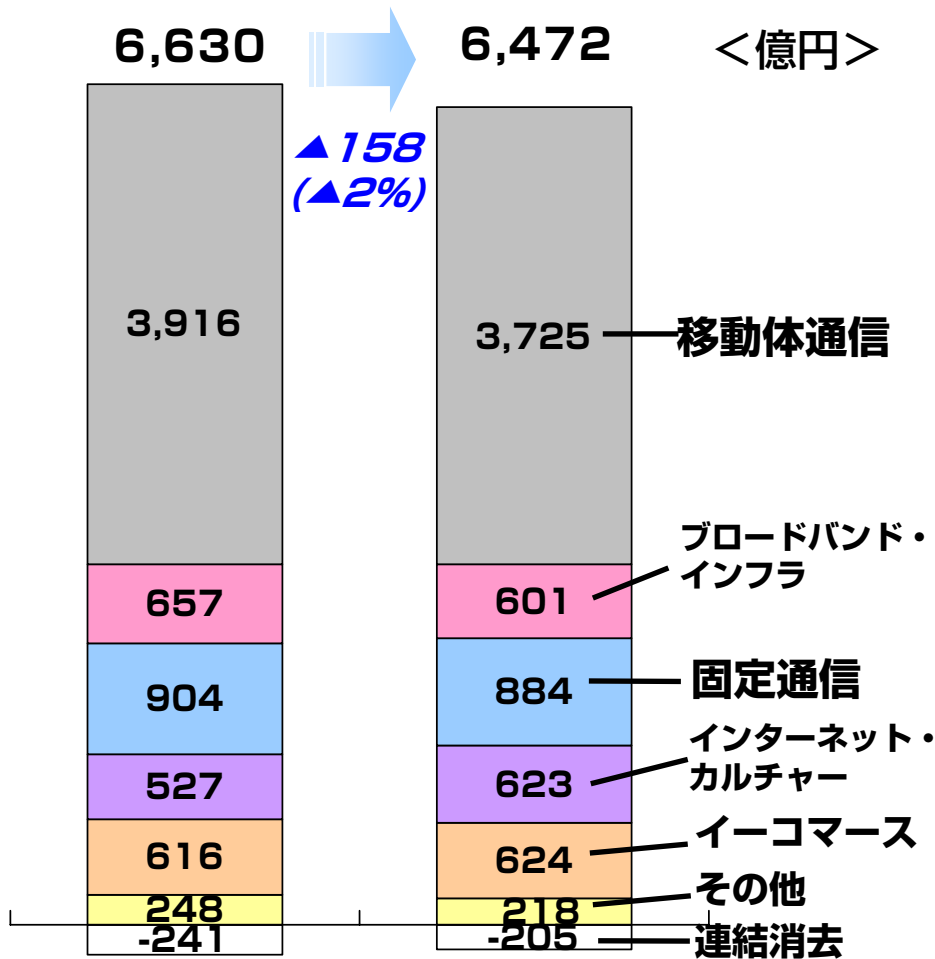


## 当期純利益



# 連結売上高

<P/L-3>



## 移動体通信事業 ▲190億

- ・ 契約者数の増加 +405億
- ・ ARPUの低下 ▲464億
- ・ 附帯事業売上（携帯電話端末売上等）の減少 ▲139億

## ブロードバンド・インフラ事業 ▲56億

- ・ ADSL 課金者数の減少 ▲38億
- ・ ADSL ARPUの低下 ▲9億
- ・ ODNの減少 ▲10億

## 固定通信事業 ▲20億

- ・ おとくラインの増加 +34億
- ・ マイラインの減少 ▲35億
- ・ 国際電話の減少 ▲22億

## インターネット・カルチャー事業 +95億

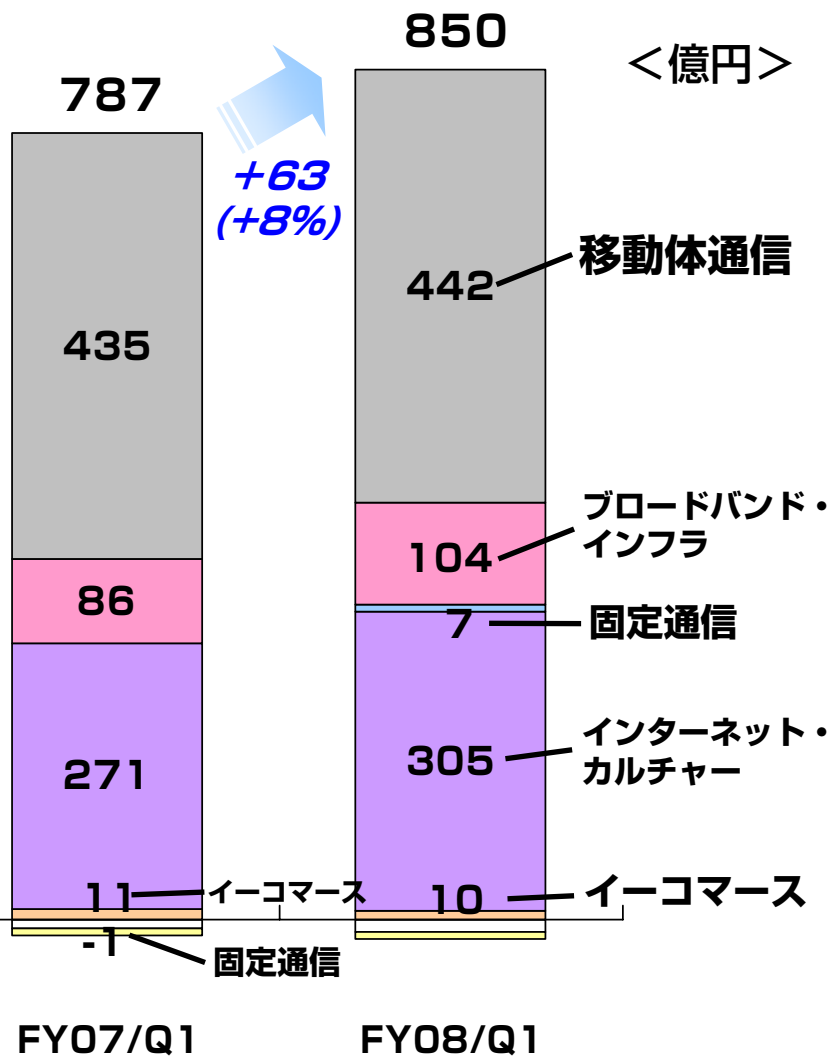
- ・ 広告事業の増加（グロス表示ベース）+148億
- ・ 売上高の一部をグロス表示からネット表示に変更したことによる影響額 ▲69億円

FY07/Q1

FY08/Q1

# 連結営業損益

<P/L-4>



## 移動体通信事業 +7億

- ・売上高の減少 ▲190億
- ・SBM 端末調達費用など原価の減少 +142億
- ・SBM 販売促進費など販管費の減少 +49億

## ブロードバンド・インフラ事業 +18億

- ・売上高の減少 ▲56億
- ・SBB 減価償却費など原価の減少 +34億
- ・SBB 顧客獲得費など販管費の減少 +29億

## 固定通信事業 +9億

- ・売上高の減少 ▲20億
- ・SBTM アクセスチャージなど原価の減少 +42億
- ・SBTM 人件費の削減など販管費の減少 +6億

## インターネット・カルチャー事業 +33億

- ・売上高の増加 +95億
- ・オーバーチュア（株）新規連結など原価の増加 ▲45億
- ・人件費など販管費の増加 ▲11億

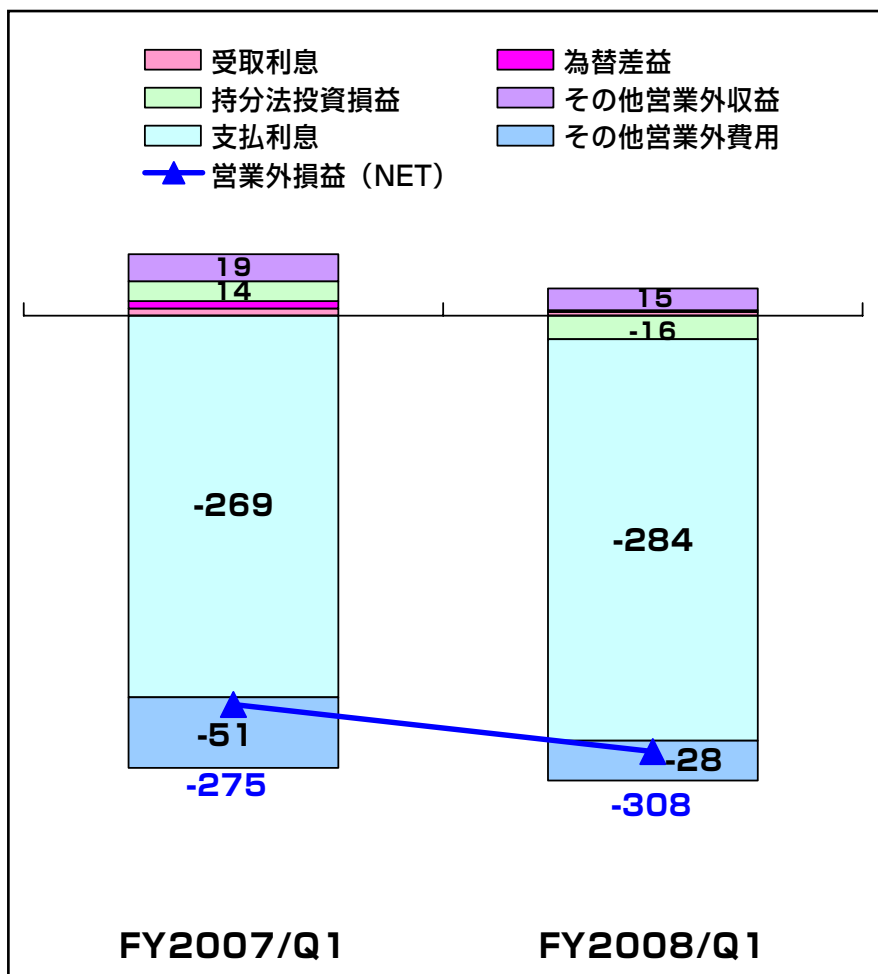


# 営業外損益と経常利益

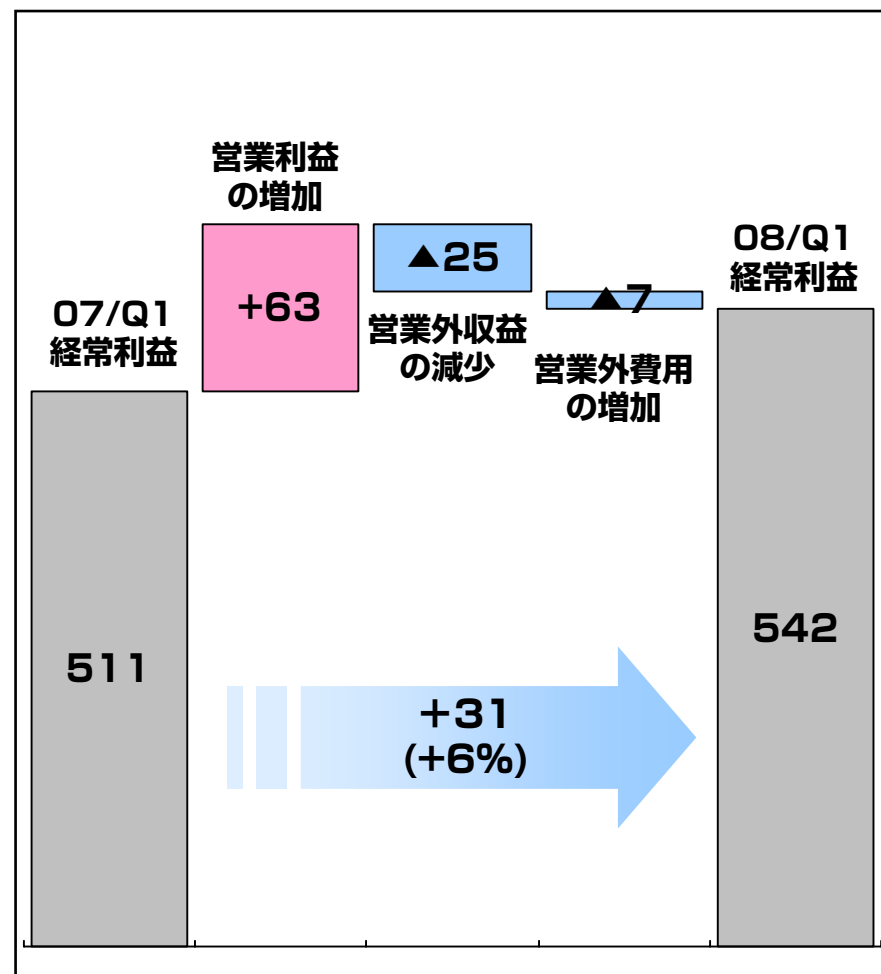
<P/L-5>

<億円>

## 営業外損益



## 経常利益

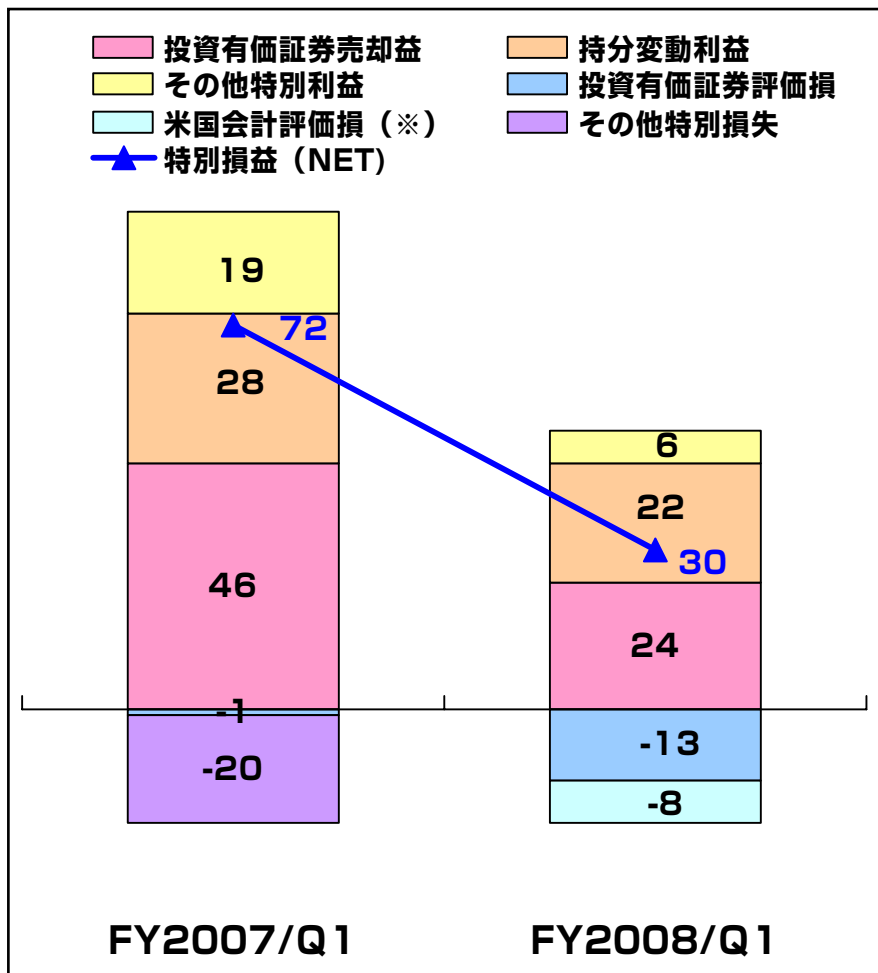


# 特別損益と税金等調整前四半期純利益

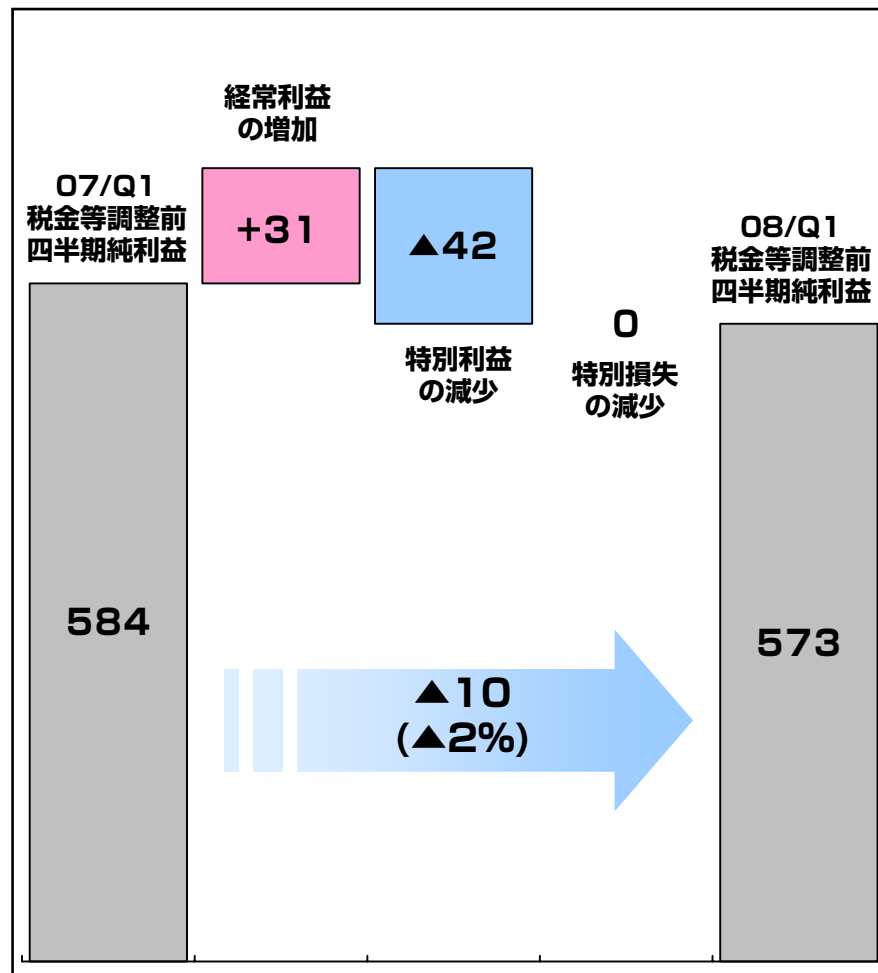
<P/L-6>

<億円>

## 特別損益



## 税金等調整前四半期純利益

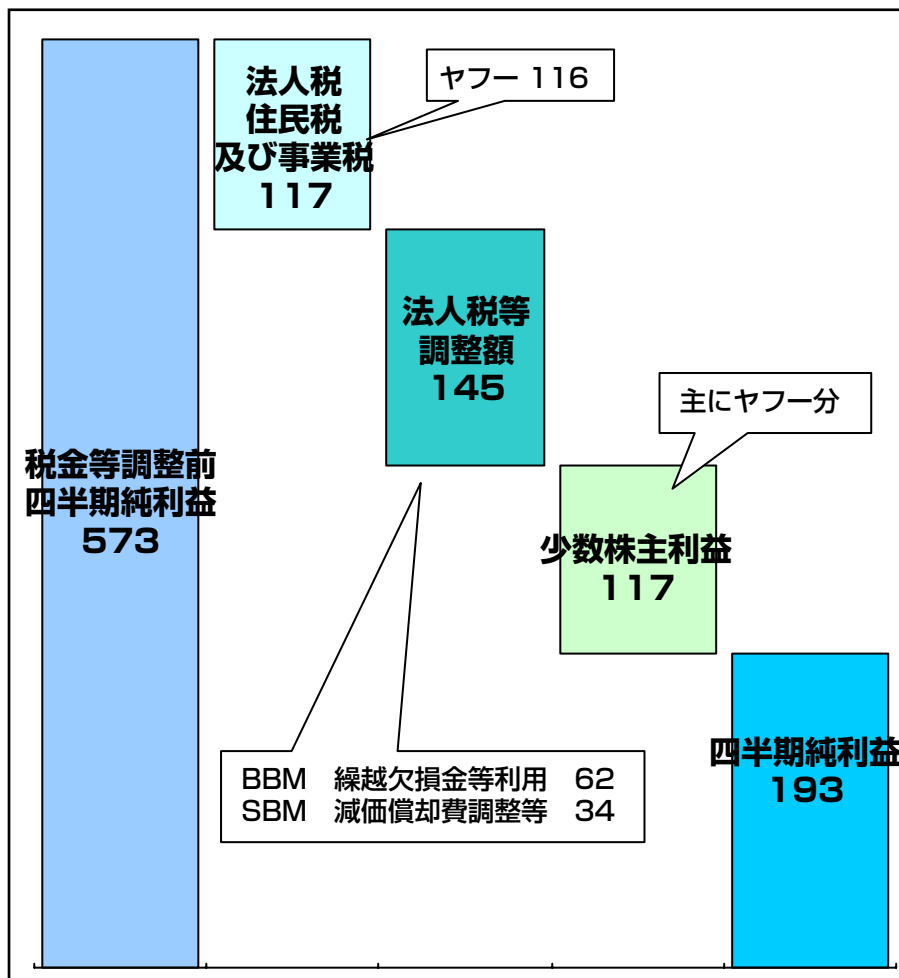


(※) 米国子会社の投資会社会計に基づく投資有価証券評価及び売却損

# 税金・その他調整額の内訳、税率差異

<P/L-7>

## 税金、その他調整額の内訳 <億円>



## 税率差異

法定実効税率	40%
のれん償却	+10%
評価性引当額の減少	▲5%
法人税負担率	45%

**連結P/L增減分析**

**連結B/S增減分析**

**連結C/F增減分析**

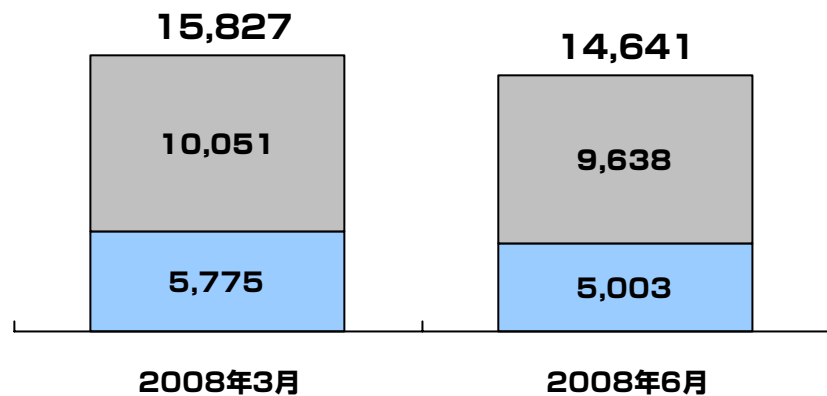
# 連結B/S 総括

<B/S-1>

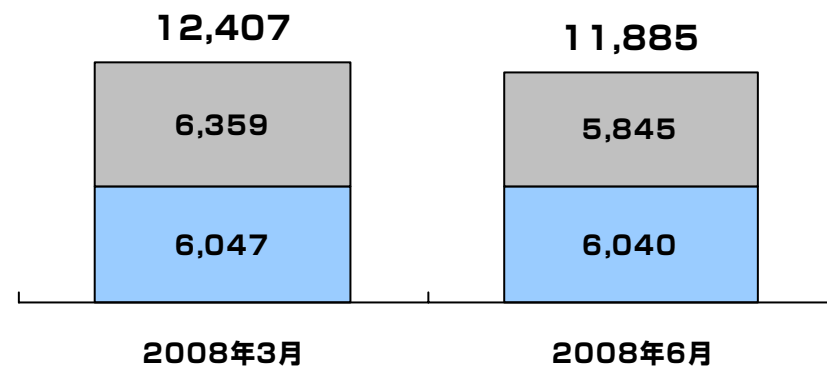
SBM SBM以外

<億円>

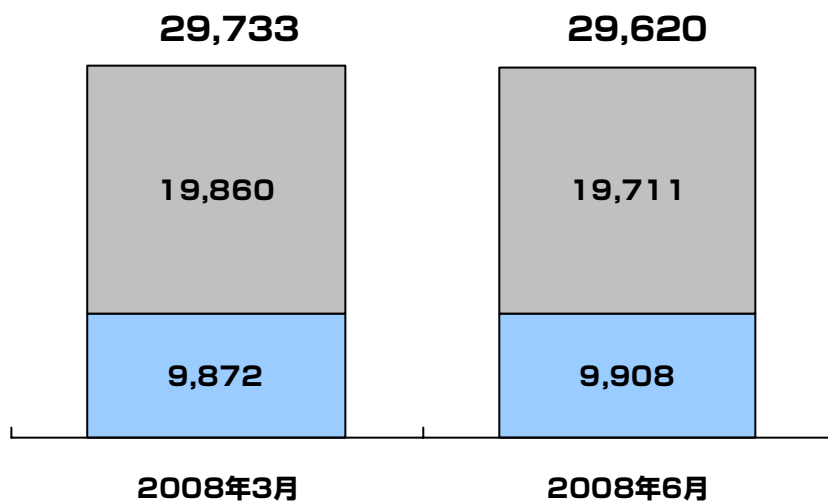
流動資産



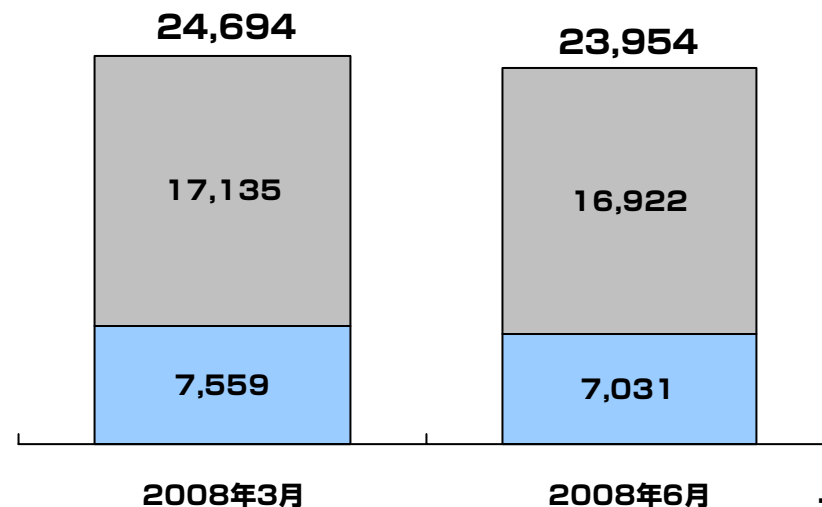
流動負債



固定資産



固定負債



# 連結B/S (1) 流動資産

<B/S-2>

<億円>

資産	2008年3月末	2008年6月末	増減	摘要
流動資産	15,827	14,641	-1,185	
SBM	10,051	9,638	-413	
その他	5,775	5,003	-772	
現金及び預金	4,911	4,194	-717	
SBM	2,369	2,118	-251	営業活動による増加 (+447) 割賦債権流動化 (調達+453、返済▲412) 新規取得設備のリース化による調達 (入金+159、返済▲173) 固定資産取得による支出 (▲564) SBMローン返済 (▲145)
その他	2,541	2,076	-465	SB単体: 08/3末 (578) →08/6末 (598) 内訳/借入金 (+475)、第20回社債償還 (▲125) OPI株式取得 (▲104)、配当支払 (▲20) ヤフー: 08/3末 (972) →08/6末 (483) 内訳/営業活動による増加 (+75) ※法人税等 (281) 支払後 自己株式購入 (▲333)、借入金返済 (▲100)、配当支払 (▲62)
受取手形及び売掛金	8,877	8,496	-380	
SBM	6,830	6,721	-109	携帯電話端末の割賦売掛金 08/3末 (4,795) →08/6末 (4,953)
その他	2,046	1,775	-271	SBB : 08/3末 (891) →08/6末 (801) SBTM : 08/3末 (668) →08/6末 (467)
商品	581	593	12	
SBM	462	459	-3	携帯電話端末など
その他	118	133	15	SBB : 08/3末 (95) →08/6末 (110)
繰延税金資産	1,058	904	-153	
SBM	521	445	-75	
その他	537	459	-78	
その他	398	452	54	
SBM	-132	-106	26	未収入金 08/3末 (241) →08/6末 (284) 貸倒引当金 08/3末 (▲601) →08/6末 (▲692)
その他	531	559	28	

# 連結B/S (2) 有形固定資産

<B/S-3>

<億円>

資産	2008年3月末	2008年6月末	増減	摘要
固定資産	29,733	29,620	-113	
SBM	19,860	19,711	-148	
その他	9,872	9,908	35	
有形固定資産	10,292	10,176	-116	
SBM	6,929	6,892	-37	
その他	3,362	3,283	-79	
建物及び構築物	757	742	-15	
SBM	315	309	-5	ネットワークセンターなど
その他	442	432	-9	SBTM : 08/3末 (289) →08/6末 (276)
通信機械設備	7,440	7,426	-14	
SBM	5,914	5,922	7	
その他	1,525	1,503	-21	SBTM : 08/3末 (1,049) →08/6末 (1,039) SBB : 08/3末 (445) →08/6末 (433)
通信線路設備	860	844	-16	
SBM	93	93	0	
その他	766	751	-15	SBTM : 08/3末 (766) →08/6末 (751)
土地	234	225	-8	
SBM	107	107	0	
その他	126	117	-9	SBTM : 08/3末 (71) →08/6末 (62) 、SBIDC (50)
建設仮勘定	455	402	-53	
SBM	210	175	-35	
その他	244	227	-17	
その他	543	535	-8	
SBM	286	283	-2	
その他	256	251	-5	

# 連結B/S (3) 無形固定資産

<B/S-4>

<億円>

資産	2008年3月末	2008年6月末	増減	摘要
無形固定資産	12,383	12,604	221	
SBM	11,196	11,056	-140	
その他	1,186	1,547	361	
のれん	9,744	9,996	252	
SBM	9,299	9,171	-128	償却による減少
その他	444	825	381	ソフトバンクテレコムパートナーズ (+240)、ヤフー (+143)
ソフトウェア	2,241	2,209	-31	
SBM	1,826	1,815	-10	
その他	415	394	-21	
その他	396	397	0	
SBM	70	69	0	
その他	326	327	1	
投資その他の資産	7,057	6,839	-217	
SBM	1,734	1,762	28	
その他	5,323	5,077	-246	
投資有価証券	4,649	4,277	-372	
SBM	31	23	-7	
その他	4,618	4,253	-364	Yahoo! Inc.株価下落など
繰延税金資産	1,268	1,304	35	
SBM	1,198	1,228	29	
その他	70	76	5	
その他	1,138	1,258	119	
SBM	503	510	6	
その他	634	747	113	SBH:デリバティブ資産 (+103)
繰延資産	28	24	-3	
SBM	-	-	-	
その他	28	24	-3	

08年6月 ヤフーの自己株式取得による計上  
金額：143億円 償却期間：20年

08年4月 子会社化による計上  
金額：246億円 償却期間：10年



# 連結B/S (4) 流動負債

<B/S-5>

<億円>

負債	2008年3月末	2008年6月末	増減	摘要
流動負債	12,407	11,885	-521	
SBM	6,359	5,845	-514	
その他	6,047	6,040	-6	
支払手形及び買掛金	1,872	1,623	-249	
SBM	1,133	1,075	-58	携帯電話端末仕入債務の支払いなど
その他	738	547	-191	SBB : 08/3末 (452) →08/6末 (363) SBTM : 08/3末 (85) →08/6末 (23)
短期借入金	4,485	5,205	719	
SBM	1,659	1,805	145	割賦債権流動化スキーム一年内借入金 (+145)
その他	2,825	3,400	574	SB単体 : 08/3末 (2,180) →08/6末 (2,855) SBTM : 08/3末 (320) →08/6末 (262) ヤフー : 08/3末 (200) →08/6末 (200)
コマーシャルペーパー	-	20	20	
SBM	-	-	-	
その他	-	20	20	SB単体 (+20)
一年内償還予定の社債	525	400	-125	
SBM	-	-	-	
その他	525	400	-125	SB単体 : 償還 08/3末 (525) →08/6末 (400)
未払金及び未払費用	3,644	2,862	-782	
SBM	2,623	1,970	-653	主に設備、経費の未払など
その他	1,021	892	-129	SBB : 08/3末 (307) →08/6末 (261) SBTM : 08/3末 (374) →08/6末 (343)
一年内支払予定リース債務	697	744	47	
SBM	697	742	44	長期からの振り替え(+218)、支払 (▲173)
その他	0	2	2	
その他	1,180	1,028	-152	
SBM	245	251	5	
その他	935	777	-158	

新リース会計基準の処理。2008年4月1日より前の取引については引き続き賃貸借処理で注記対応

# 連結B/S (5) 固定負債

<B/S-6>

<億円>

負債	2008年3月末	2008年6月末	増減	摘要
固定負債	24,694	23,954	-740	
SBM	17,135	16,922	-212	
その他	7,559	7,031	-527	
社債	4,452	4,436	-15	
SBM	-	-	-	
その他	4,452	4,436	-15	SB単体:買入償還 (▲16)
長期借入金	15,866	15,390	-475	
SBM	14,142	13,892	-249	SBMローン 08/3末 (12,764) →08/6末 (12,619) ポータフォン劣後ローン 08/3末 (845) →08/6末 (845) 割賦債権流動化による借入 08/3末 (531) →08/6末 (426)
その他	1,724	1,498	-225	SB単体: 08/3末 (200) →08/6末 (0) ヤフー: 08/3末 (300) →08/6末 (200)
繰延税金負債	419	425	6	
SBM	-	-	-	
その他	419	425	6	
ポイント引当金	438	447	9	
SBM	438	447	9	顧客のポイントサービス利用に対する引当
その他	-	-	-	
リース債務	2,414	2,409	-5	
SBM	2,414	2,404	-10	新規調達 (+208)、一年内への振り替え (▲218)
その他	0	4	4	
その他	1,103	843	-259	リース取引についてはP17を参照
SBM	140	177	37	
その他	963	666	-296	SBH: デリバティブ負債 (▲205) SBB: 長期前受収益 (主にモデムレンタル事業証券化の前受ロイヤリティなどの残高) 08/3末 (159) →08/6末 (123)

# 連結B/S (6) 純資産

<B/S-7>

<億円>

純資産	2008年3月末	2008年6月末	増減	摘要
純資産の部	8,487	8,446	-40	
株主資本	3,072	3,239	166	
資本金	1,874	1,875	0	
新株式申込証拠金	-	0	0	
資本剰余金	2,117	2,118	0	
利益剰余金	-917	-752	165	四半期純利益(193)、配当支払(▲27)
自己株式	-2	-2	0	
評価・換算差額等	765	731	-34	その他有価証券評価差額金(▲181)、繰延ヘッジ損益(+177) 為替換算調整勘定(▲30)
新株予約権	1	1	0	
少数株主持分	4,648	4,474	-173	BBM 08/6末(3,000) ※Vodafone International Holdings B.V.に対する優先株 ヤフー 08/3末(1,491)→08/6末(1,323) ※ヤフーの自己株式取得に伴う減少

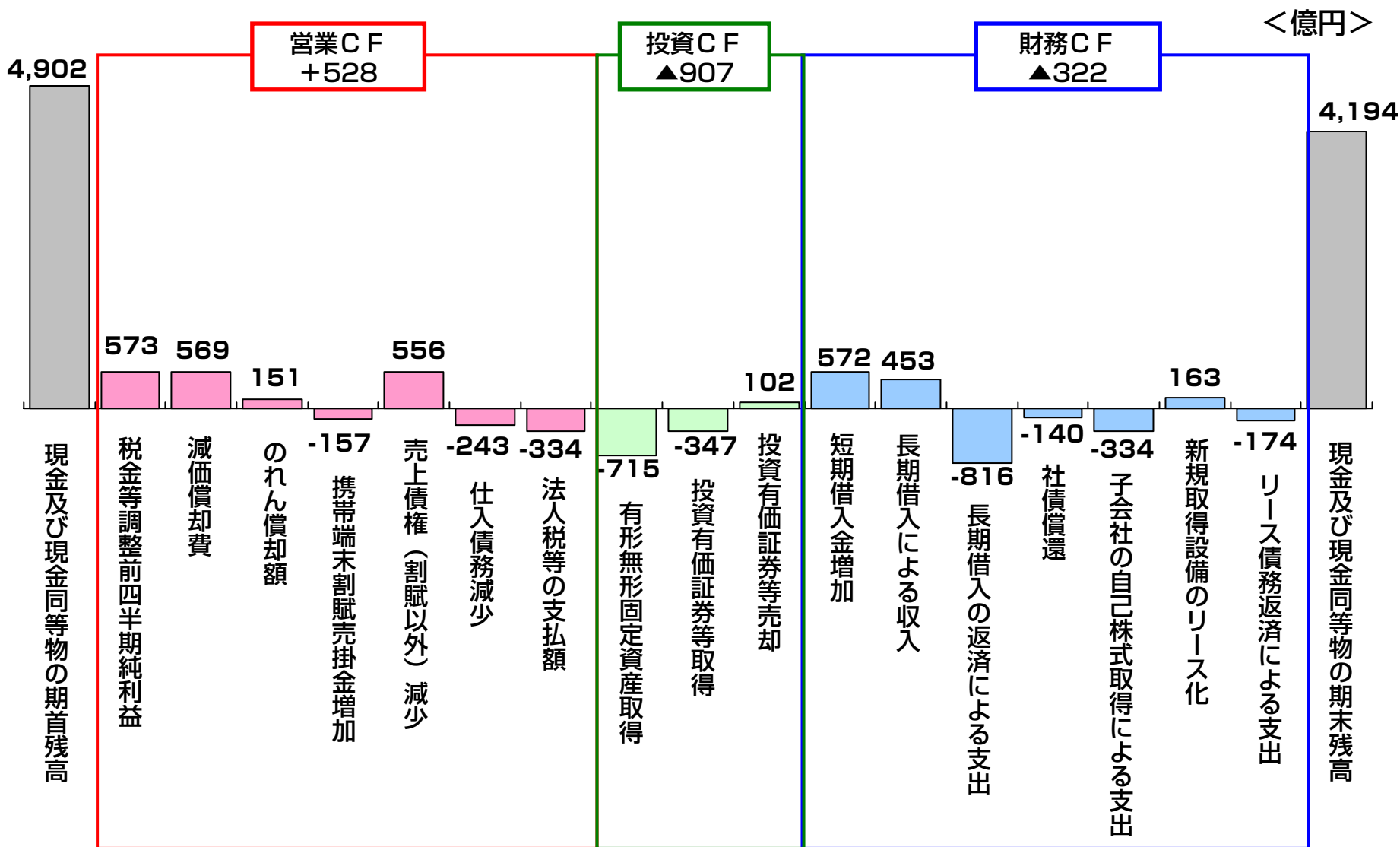
**連結P/L增減分析**

**連結B/S增減分析**

**連結C/F增減分析**

# 連結キャッシュ・フロー 主な内訳

<CF>



※連結キャッシュ・フロー計算書に記載している項目のうち、金額の大きいものを記載しています。

---



SoftBank

# 財務編

---

ソフトバンク株式会社  
財務部長 兼 関連事業室長

後藤 芳光

# 今年度の財務戦略

## 適正レバレッジ追求のステージへ

- ◆事業毎のFCF最大化および有利子負債の削減
- ◆各種負債系財務指標および自己資本比率の着実な改善
- ◆上記テーマの遂行の結果としての格付向上

## マーケット環境変化に対する機動的対応

- ◆市場毎の財務リスク極小化
- ◆多様な調達手法の確保と環境に応じた最適選択
- ◆目的別及び事業主体別の調達コストの適正化

## 事業拡大スピードをカバーできるトップレベルのIR

- ◆四半期毎に国内、海外におけるIRミーティングを積極継続
- ◆すべての投資家層へのアプローチ
- ◆デット、エクィティ両方のマーケットの要請に徹底対応



# 当第1四半期における主な財務活動

年月	内容	金額
2008年4月	Oak Pacific Interactiveへの投資	102億円
	ソフトバンクテレコムパートナーズ <sup>(※)</sup> への投資	255億円
2008年6月	割賦債権流動化（第5回）	453億円

※：2008年7月1日に日本テレコムインボイスから商号を変更

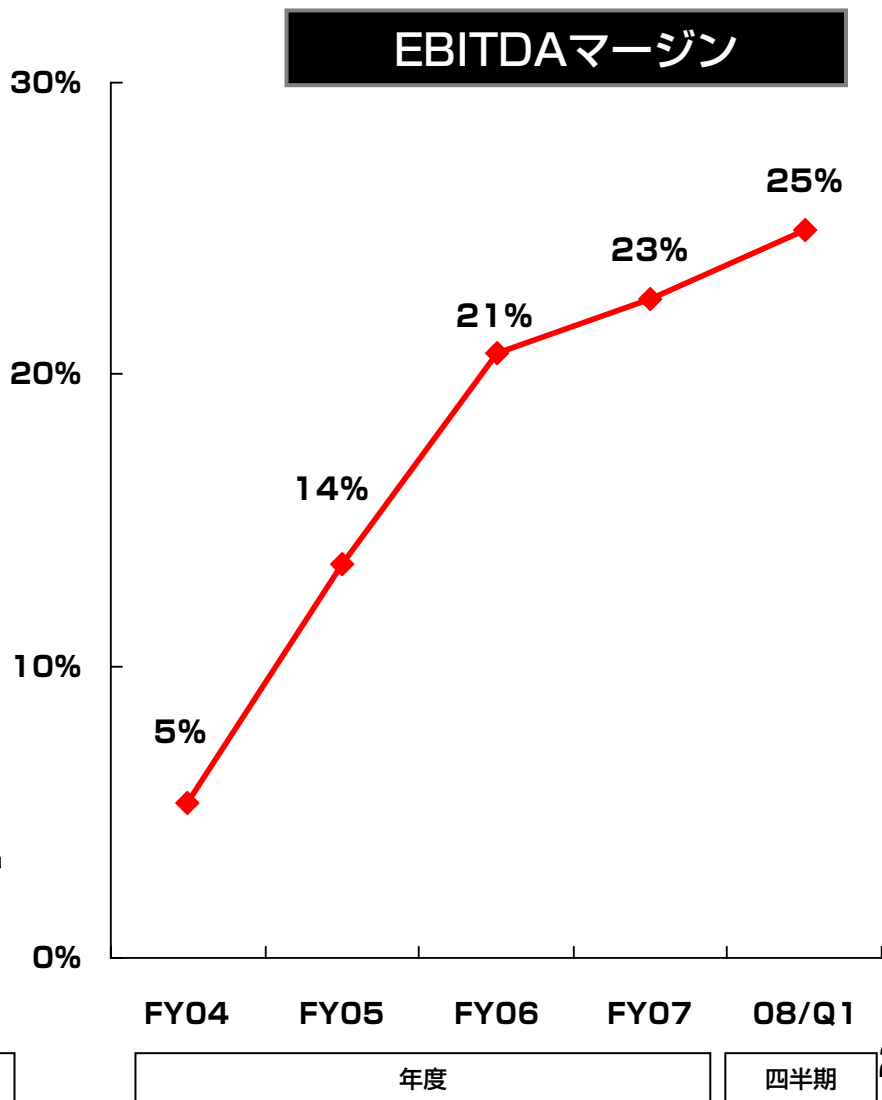
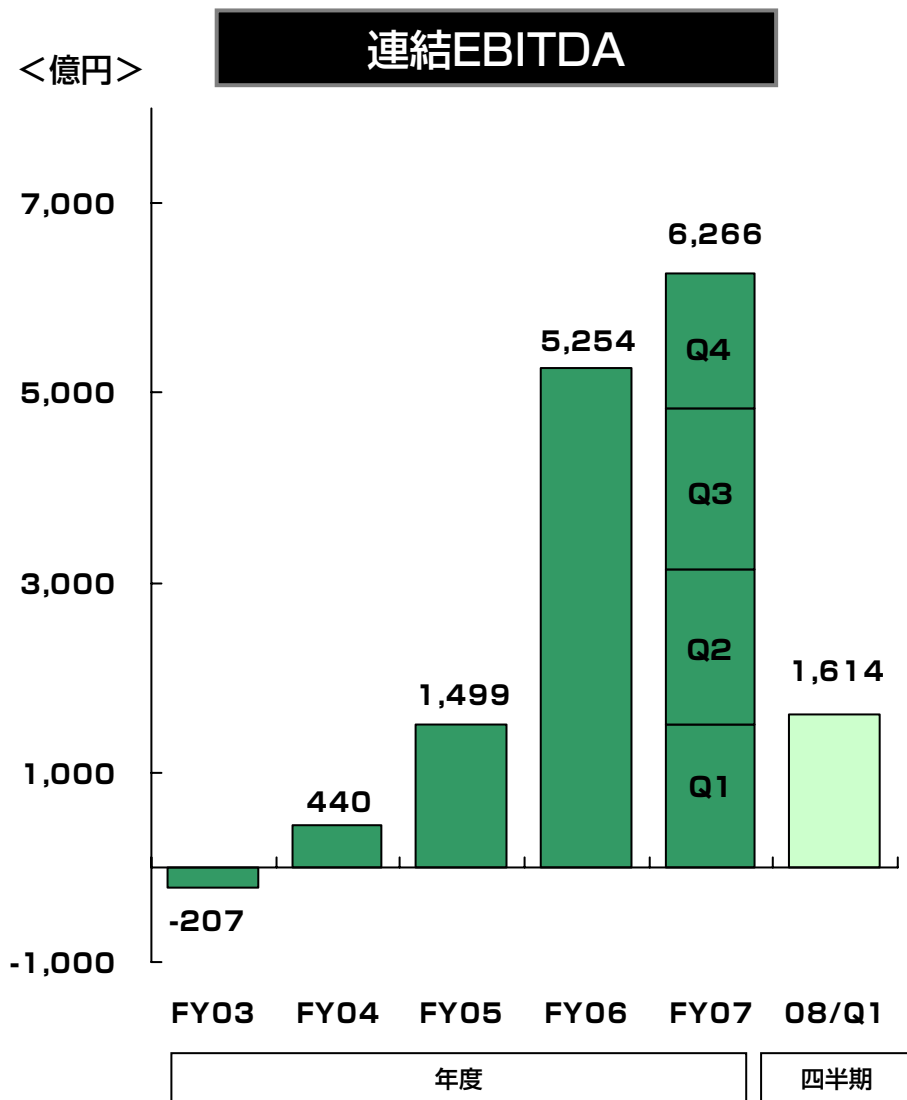
**フリー・キャッシュ・フローの拡大へ**

**有利子負債削減のステージへ**

**各種財務指標は改善へ**

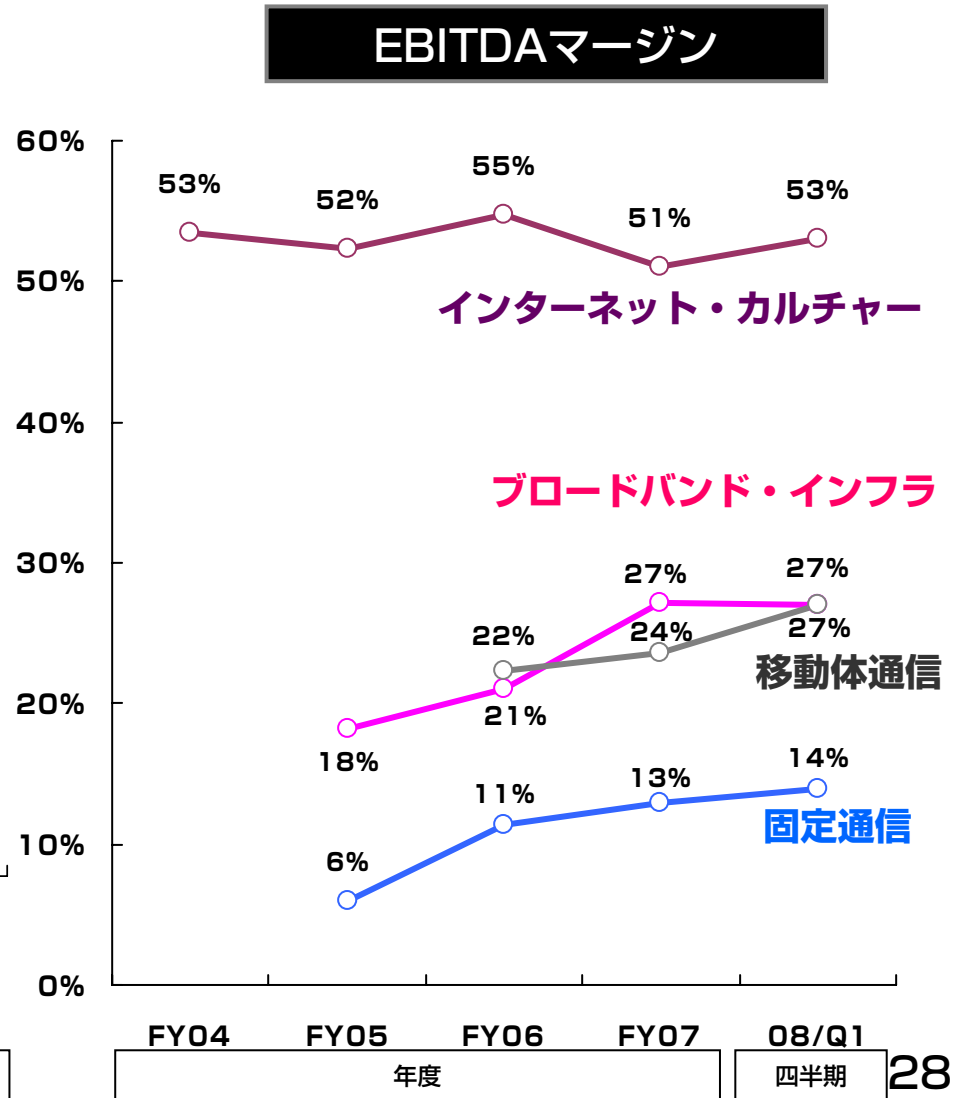
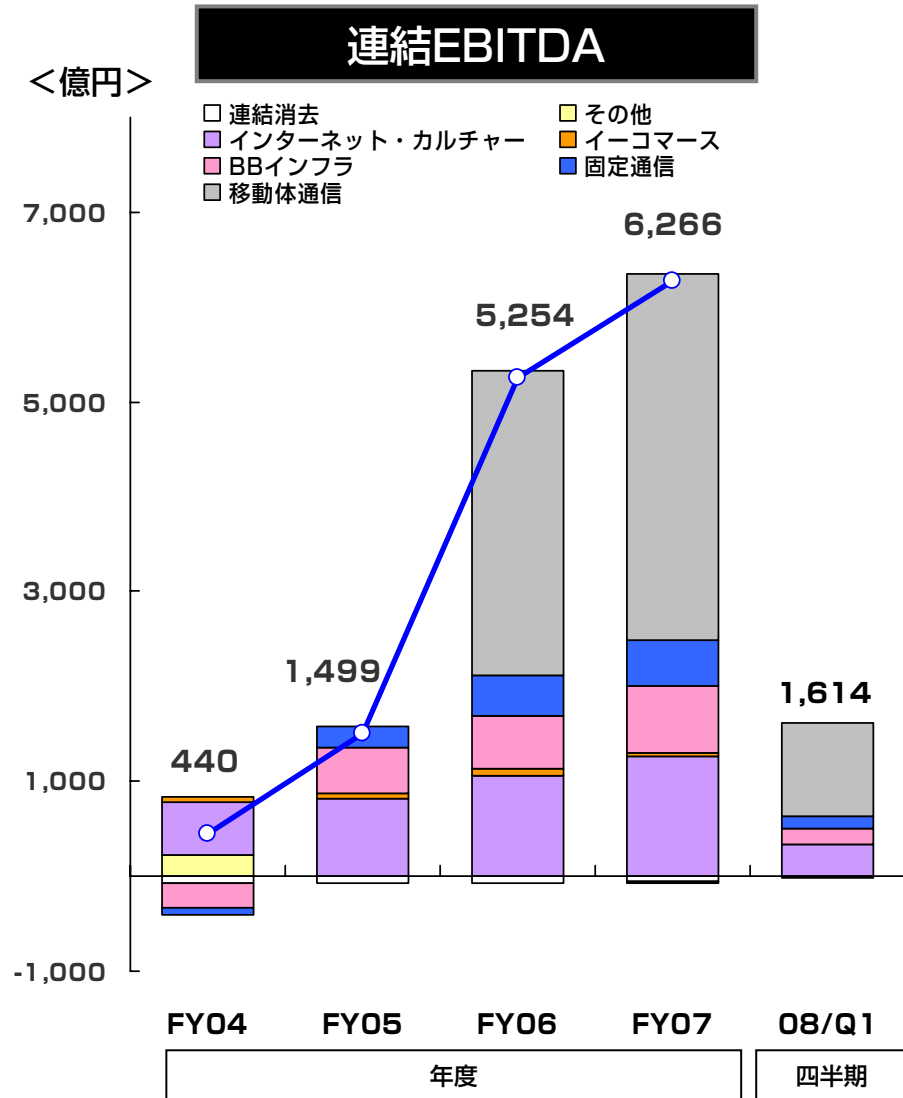
# 連結EBITDA・EBITDAマージン

■事業からのキャッシュ・フローは着実に増加中



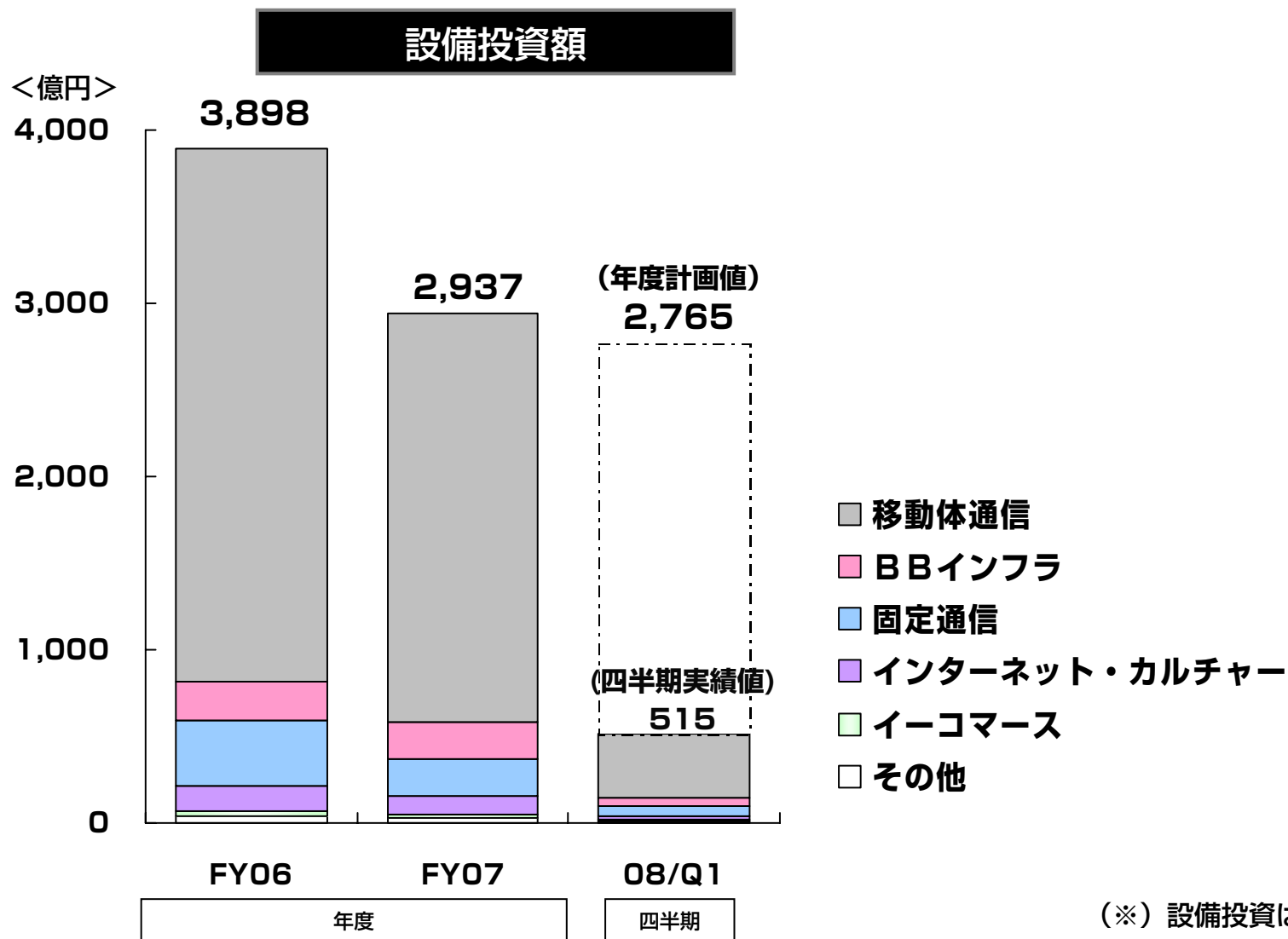
# EBITDA・EBITDAマージン（セグメント別）

## ■各セグメントともにEBITDAは着実に成長



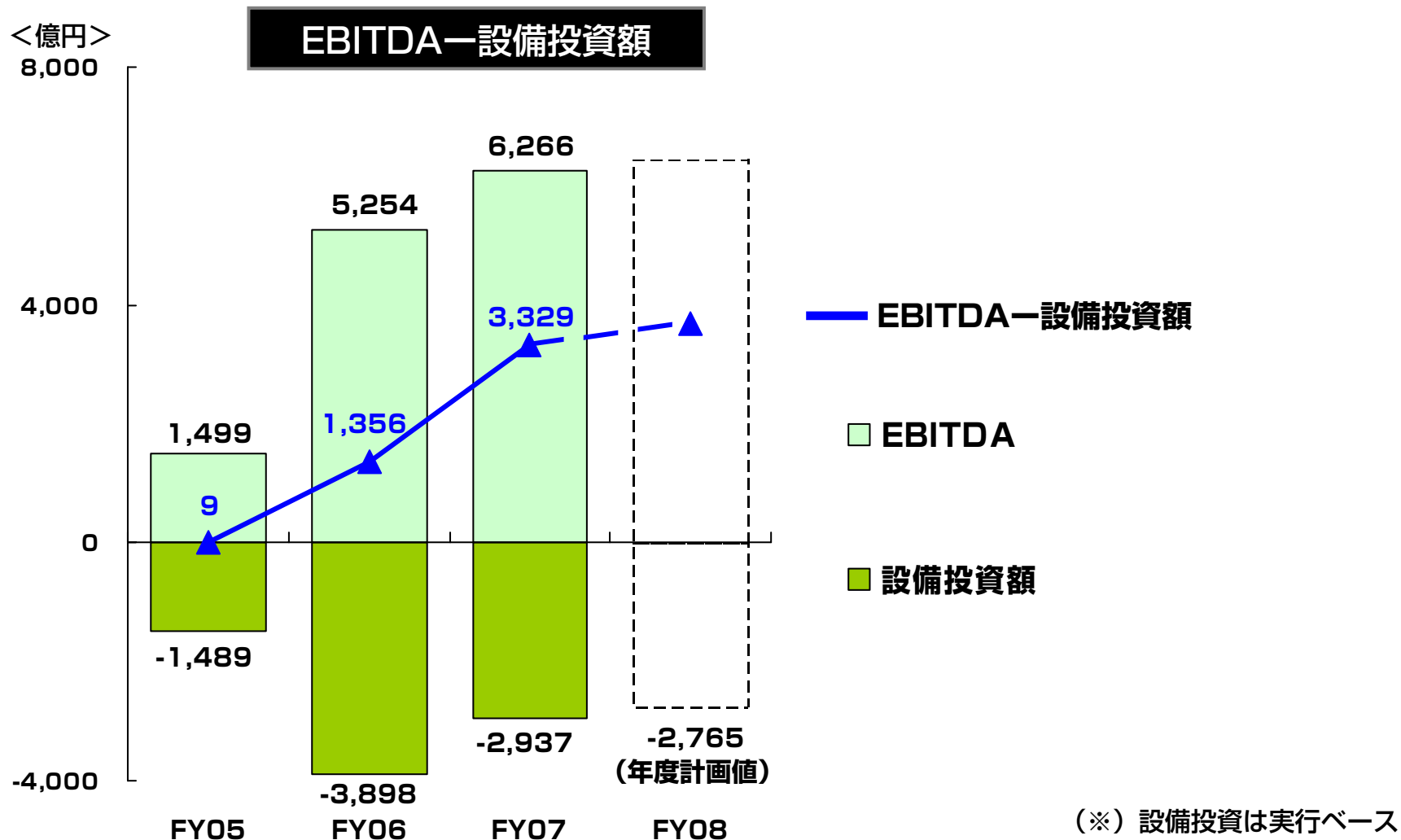
# 設備投資額（実績と計画）

■ 移動体の3G基地局、BB、固定への設備投資が一巡



# EBITDA－設備投資額

## ■EBITDAの拡大と設備投資の一巡により着実に増加

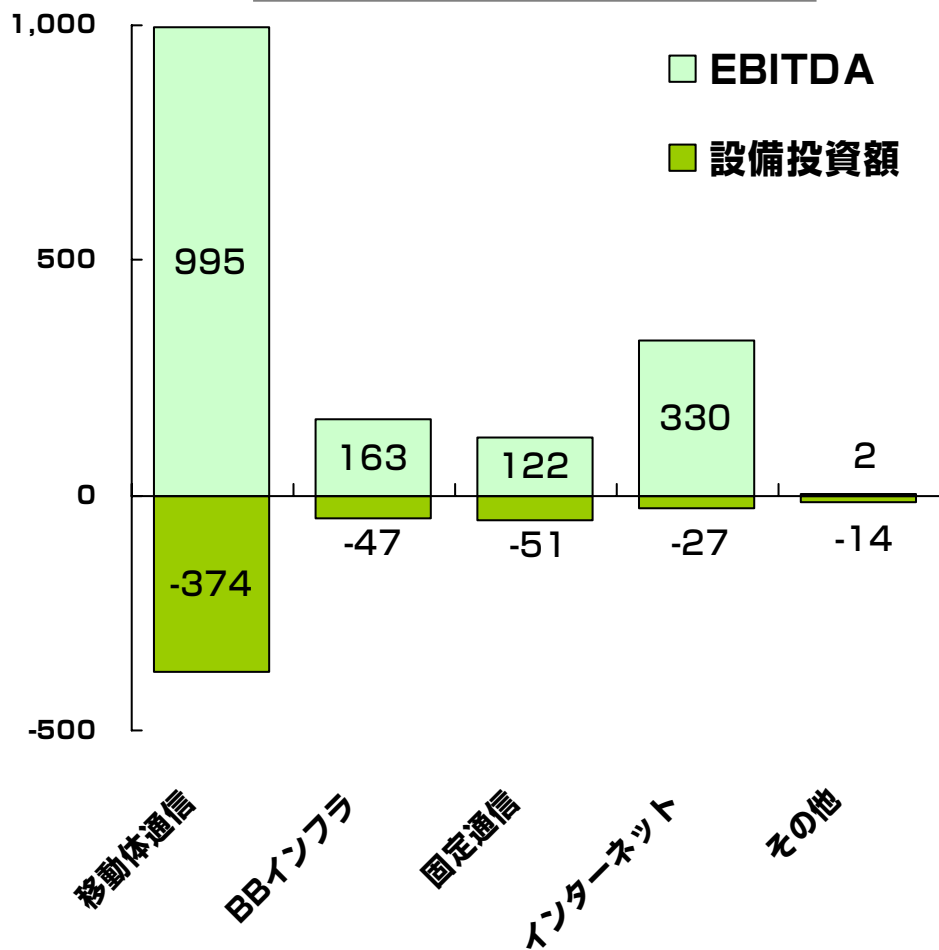


(※)FY08の数值は、FY08/Q1EBITDA実績×4倍から設備投資額の年度計画値を引いたイメージで示しています。

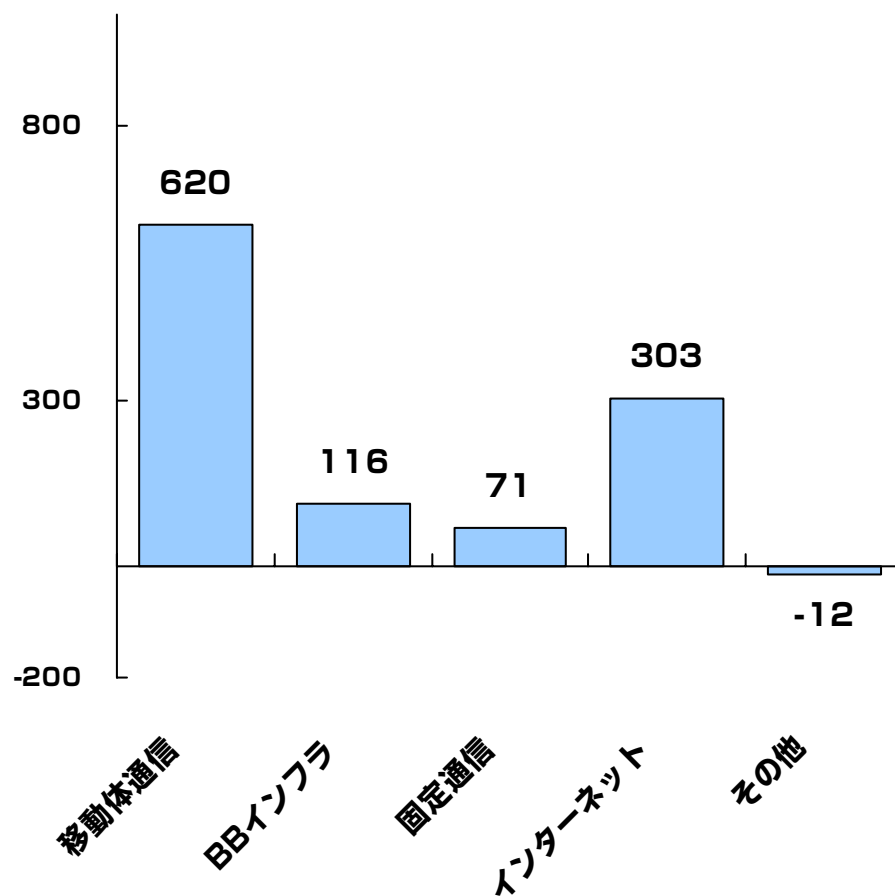
# EBITDA－設備投資額（セグメント別）

<億円>

EBITDA と 設備投資額  
(FY08/Q1実績)



EBITDA－設備投資額  
(FY08/Q1実績)



(※) 設備投資は実行ベース

**フリー・キャッシュ・フローの拡大へ**

**有利子負債削減のステージへ**

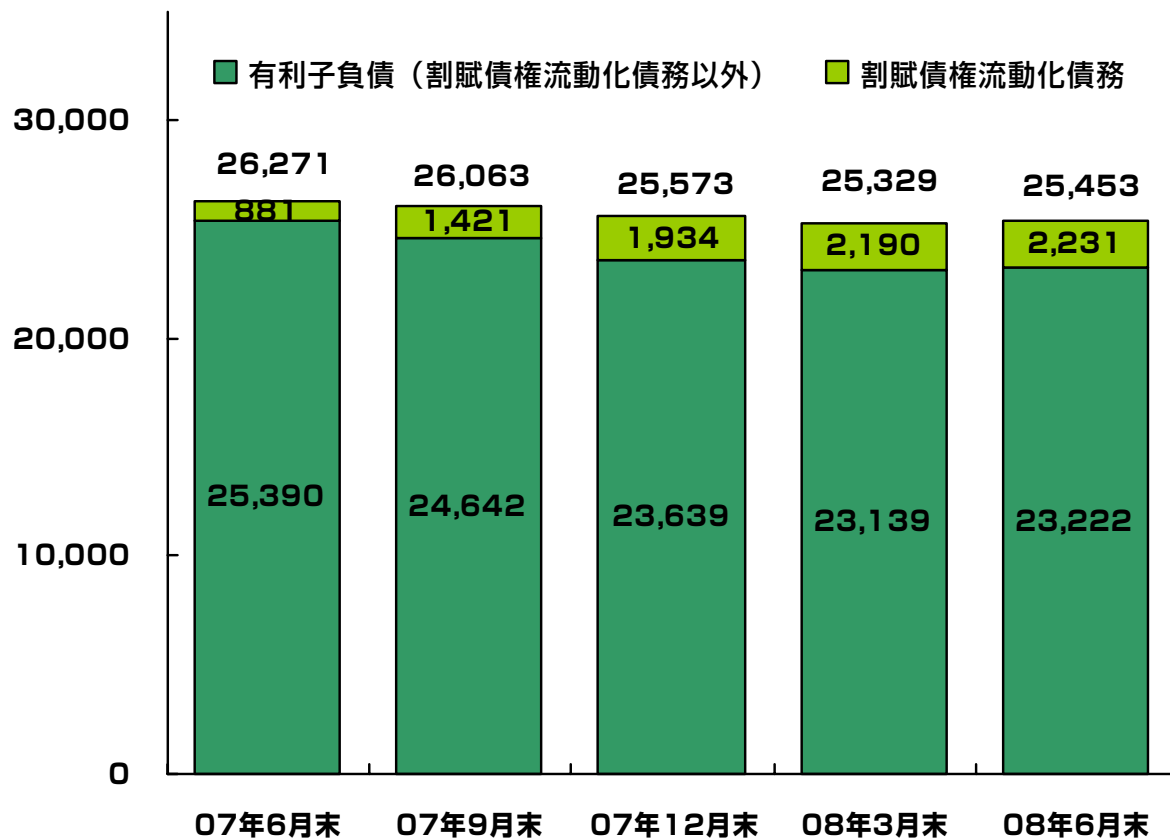
**各種財務指標の改善へ**



# 有利子負債

## 有利子負債

<億円>

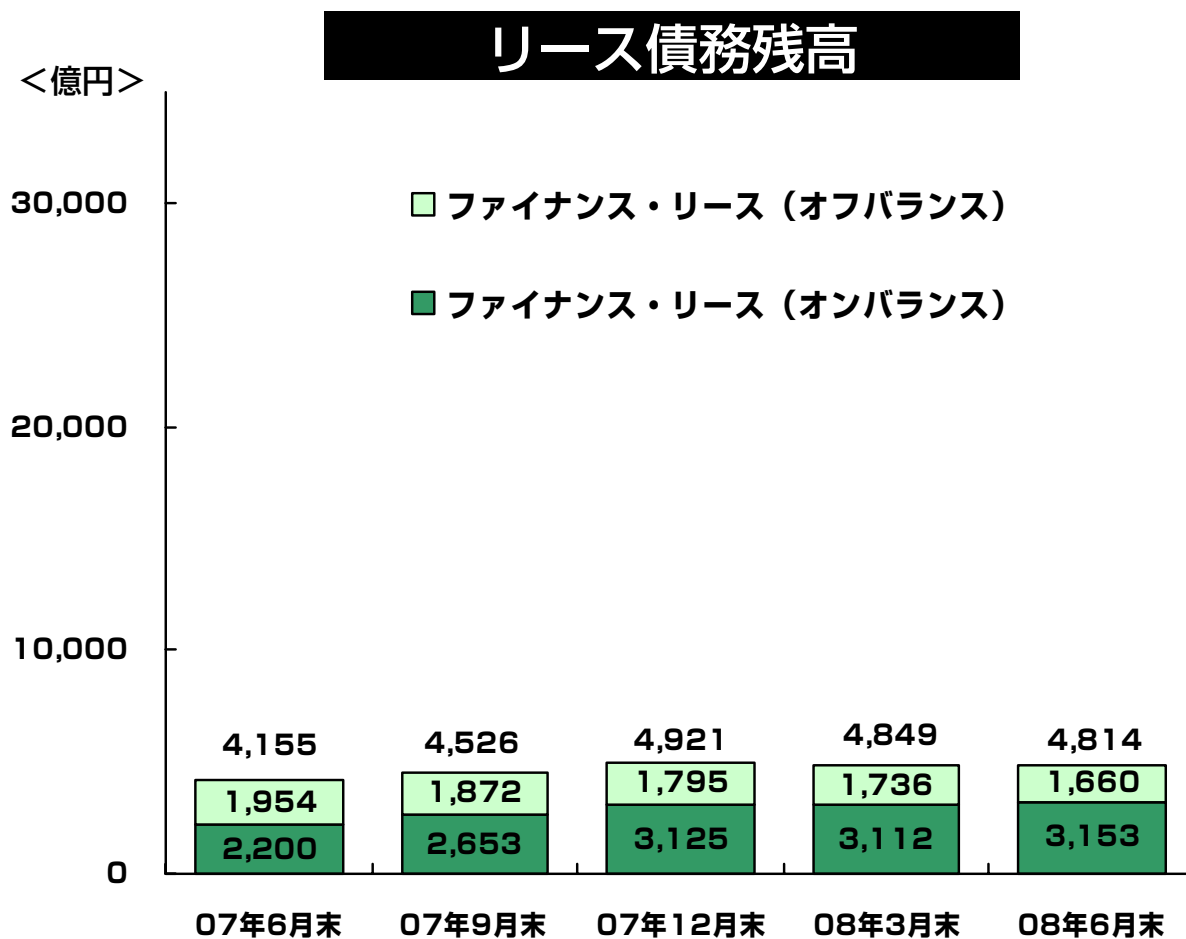


定義：有利子負債＝短期借入金＋長期借入金＋社債＋1年内償還予定社債＋CP

(※)07年12月末以前の有利子負債の額は株券寄託取引に係る預り担保金残高を加算して遡及修正しております。

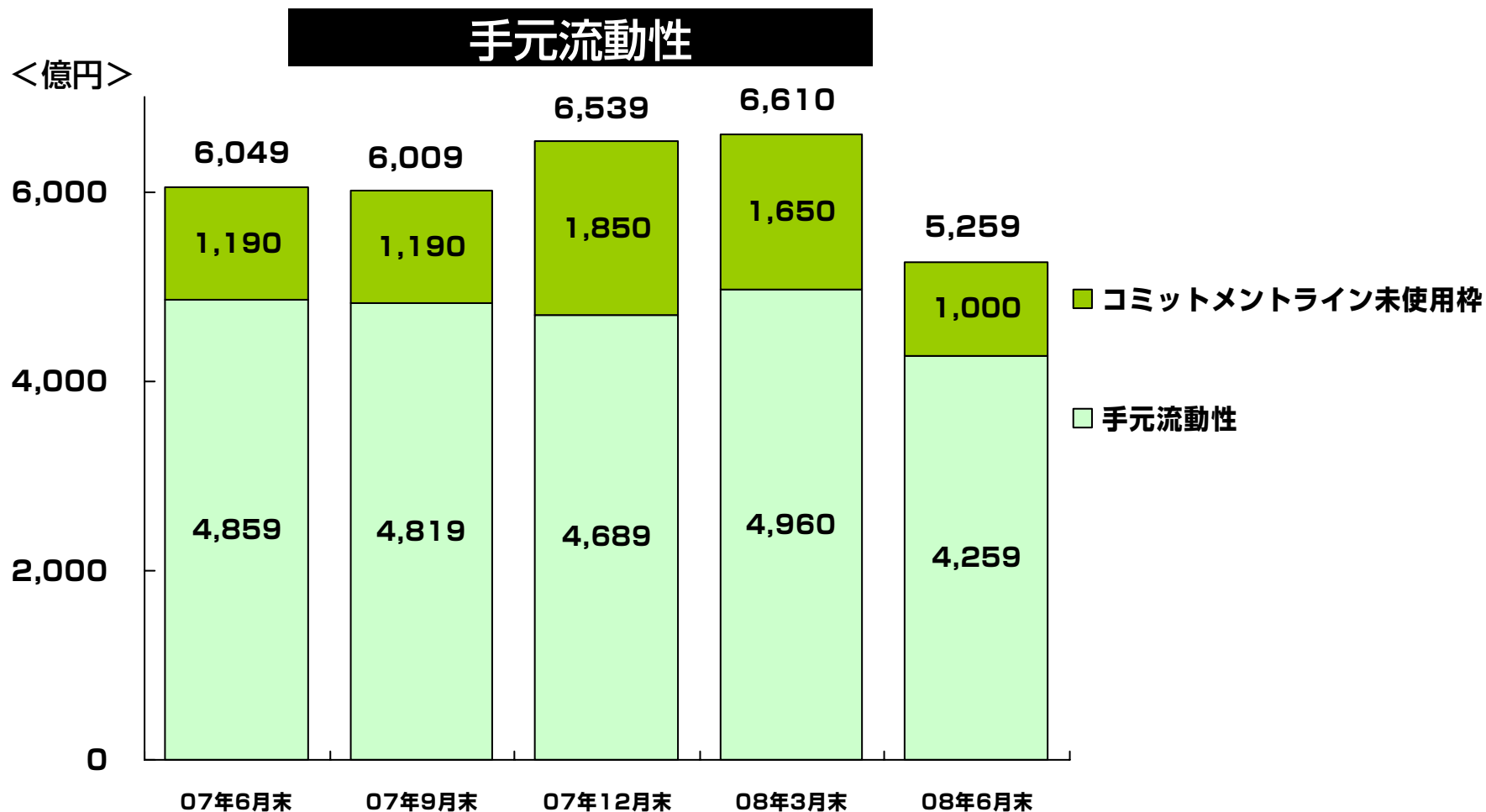
(※)有利子負債にはリース債務は含んでおりません。リース債務は次ページを参照ください。

# リース債務残高



定義：リース債務＝ファイナンス・リース（オンバランス＋オフバランス）

# 手元流動性



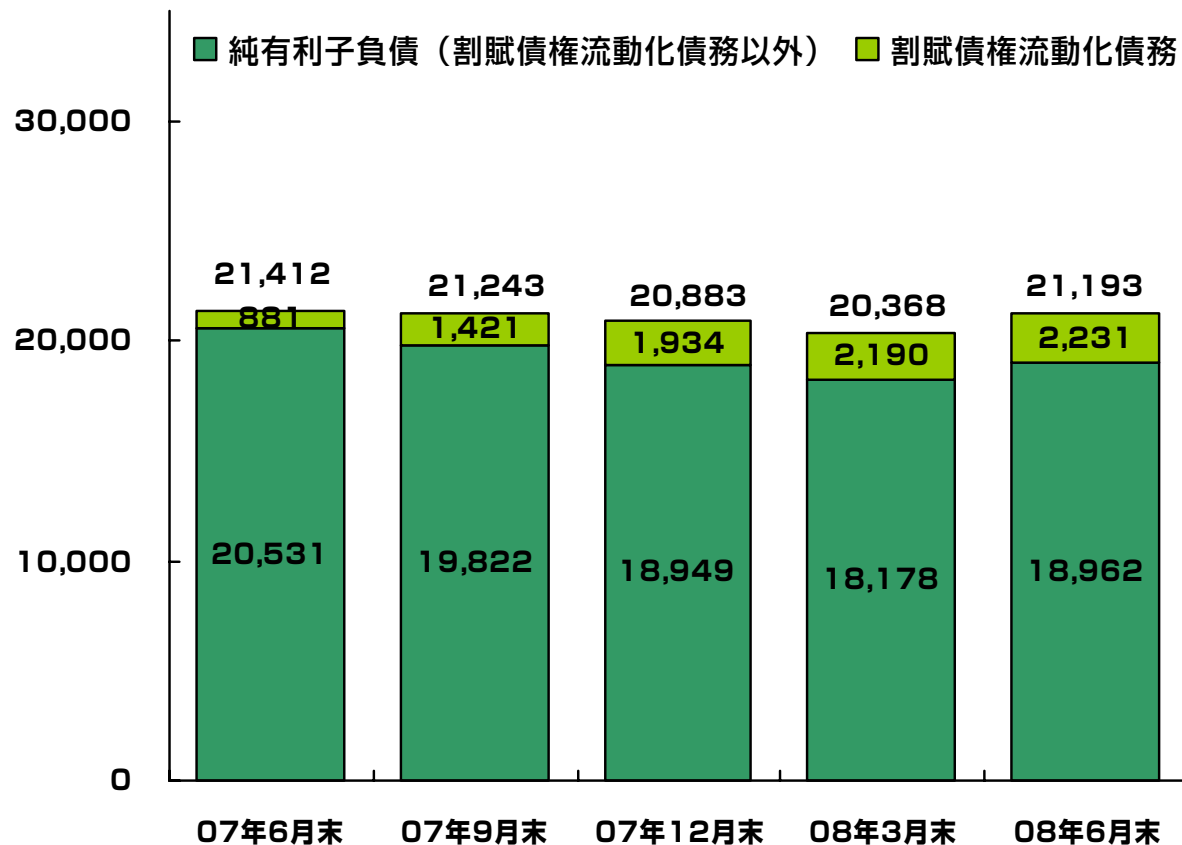
定義：手元流動性＝現預金及び流動性有価証券

コミットメントライン未使用枠＝コミットメントライン枠総額－コミットメントライン借入額

# 純有利子負債残高

## 純有利子負債

<億円>



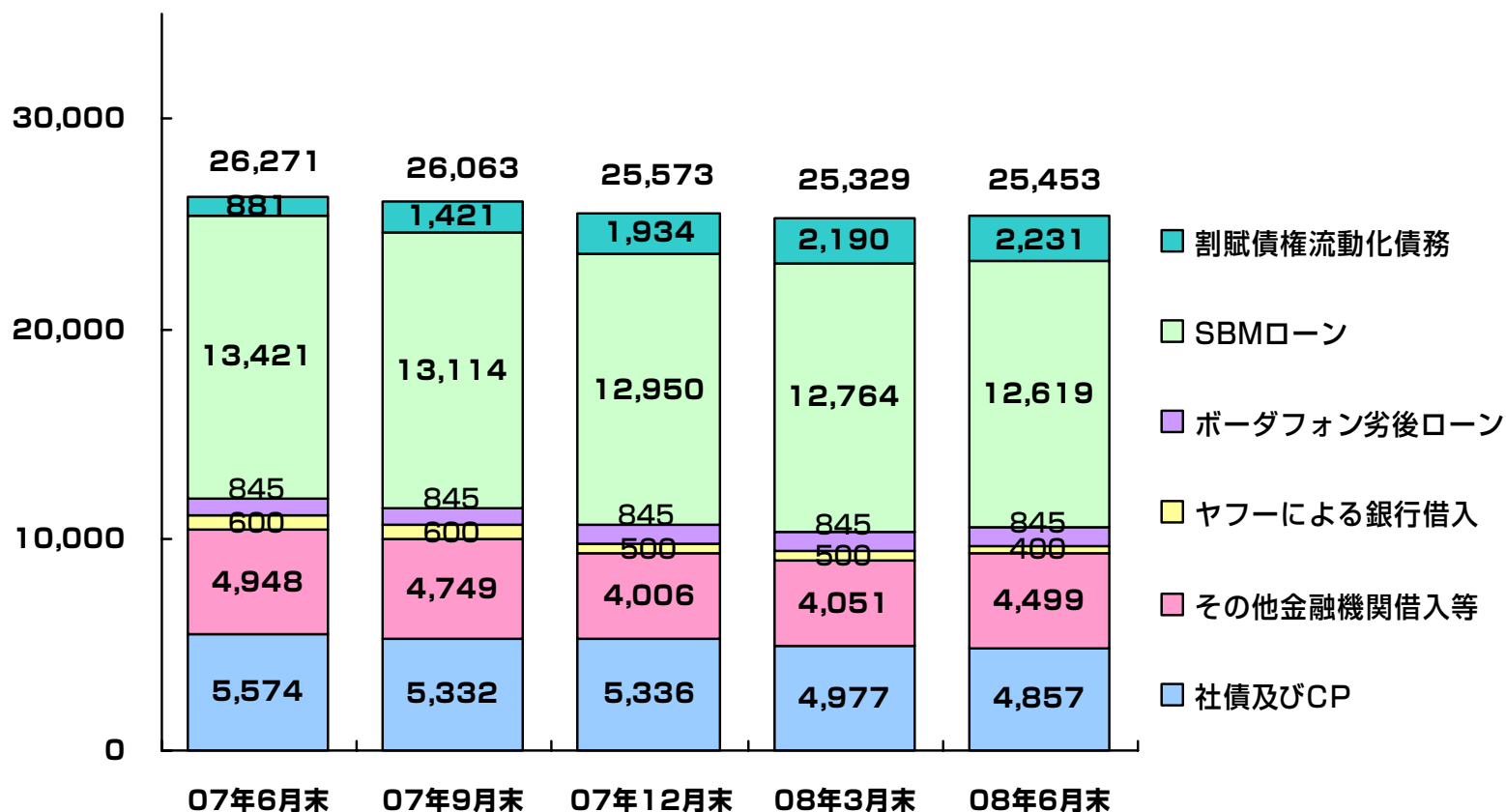
定義：純有利子負債＝有利子負債－手元流動性

(※)07年12月末以前の有利子負債・純有利子負債の額は株券寄託取引に係る預り担保金残高を加算して遡及修正しております。

# 有利子負債（調達手段別）

## 有利子負債

<億円>

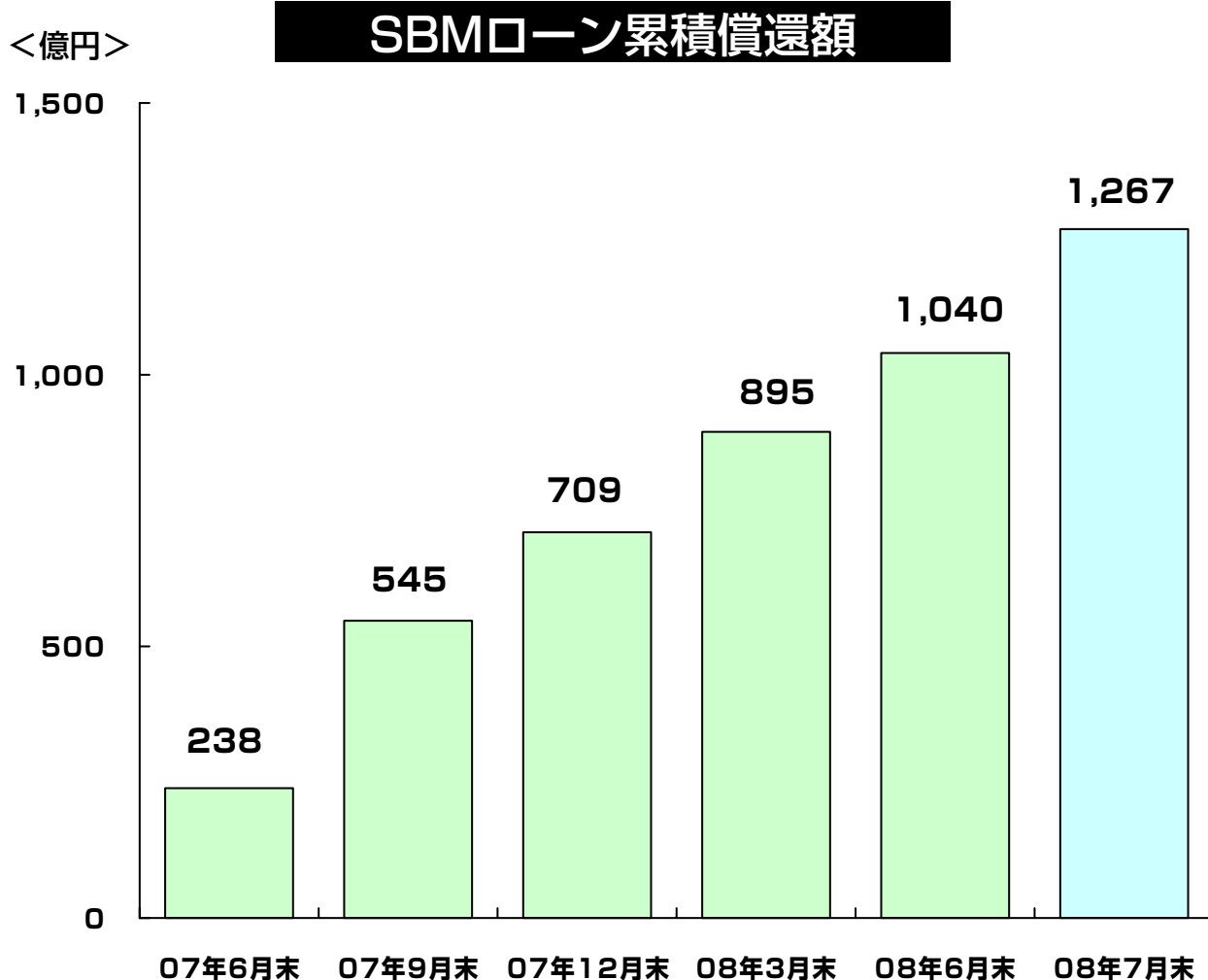


(※)07年12月末以前の有利子負債の額は株券寄託取引に係る預り担保金残高を加算して遡及修正しております。

(※)有利子負債にはリース債務は含んでおりません。

# 負債削減ステージへ ①SBMローン

■SBMローンは計画を上回るペースで返済中

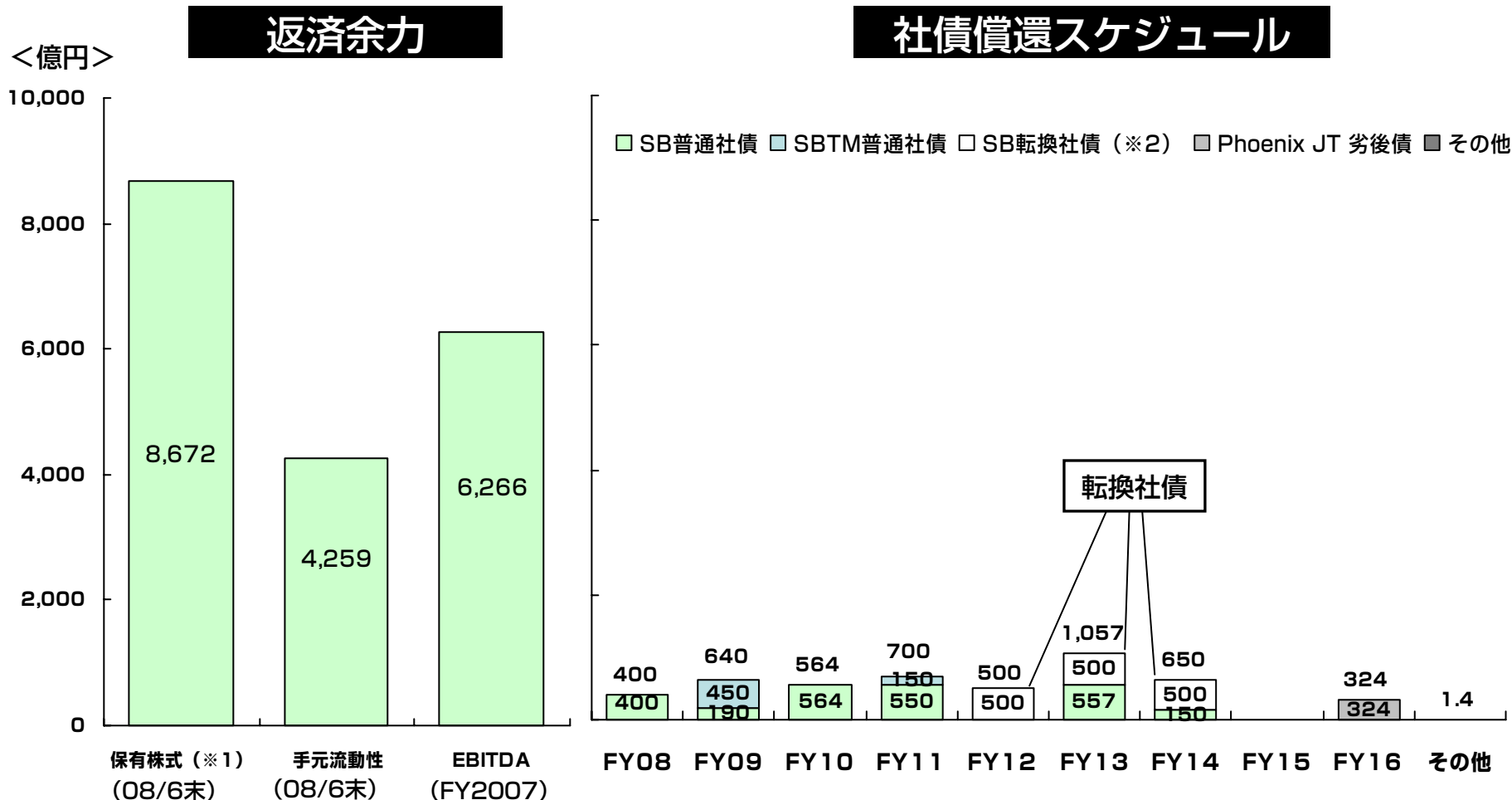


移動体通信事業  
レバレッジレシオ(※)  
**3.9倍**  
(FY08/Q1)

※レバレッジレシオ  
=有利子負債÷EBITDA (年換算)

# 負債削減ステージへ ②社債償還スケジュール

## ■社債償還スケジュールに対して十分な返済余力を保有



※1 ソフトバンクグループの国内外持株会社が直接保有する投資有価証券の時価総額（上場・公開企業のみ）、担保提供分等除く。  
 ※2 2013年満期転換社債、2014年満期転換社債、2015年満期転換社債につきましては、本社債の保持人の請求により、それぞれ2007年、2008年、2009年以降繰上償還の可能性があります。また一定の条件を満たした場合、それぞれ2007年3月末、2008年3月末、2009年3月末以降、当社の請求による繰上償還の可能性があります。

# 負債削減ステージへ ③ 社債明細表

(単位：百万円)

会社名	銘柄	発行年月日	償還期限	利率 (%、年)	担保	08年3月末	08年6月末	対前期末比
ソフトバンク	第19回無担保普通社債	2005年1月31日	2010年1月29日	1.97	なし	19,000	19,000	-
	第20回無担保普通社債 (第1回福岡ソフトバンクホークス債 <sup>(*)</sup> )	2005年6月9日	2008年6月9日	1.41	なし	12,500	-	-12,500
	第21回無担保普通社債	2005年9月14日	2008年9月12日	1.17	なし	20,000	20,000	-
	第22回無担保普通社債	2005年9月14日	2010年9月14日	1.98	なし	36,400	36,400	-
	第23回無担保普通社債 (第2回福岡ソフトバンクホークス債 <sup>(*)</sup> )	2005年11月29日	2008年11月28日	1.36	なし	20,000	20,000	-
	第24回無担保普通社債 (第3回福岡ソフトバンクホークス債 <sup>(*)</sup> )	2007年4月26日	2010年4月26日	2.72	なし	20,000	20,000	-
	第25回無担保普通社債	2007年6月19日	2011年6月17日	3.39	なし	55,000	55,000	-
	第26回無担保普通社債	2007年6月19日	2014年6月19日	4.36	なし	15,000	15,000	-
	2013年満期ユーロ円建 転換社債型新株予約権付社債 <sup>(**1)</sup>	2003年12月30日	2013年3月31日	1.50	なし	50,000	50,000	-
	2014年満期ユーロ円建 転換社債型新株予約権付社債 <sup>(**1)</sup>	2003年12月30日	2014年3月31日	1.75	なし	50,000	50,000	-
	2015年満期ユーロ円建 転換社債型新株予約権付社債 <sup>(**1)</sup>	2003年12月30日	2015年3月31日	2.00	なし	50,000	50,000	-
	2013年満期ユーロ円建普通社債 <sup>(**2)</sup>	2006年10月12日	2013年10月15日	7.75	なし	57,311 (4.25億ユーロ)	55,799 (4.15億ユーロ)	-1,512
	ソフトバンクテレコム	第1回無担保普通社債	2004年12月7日	2009年12月7日	2.00	なし	45,000	45,000
第2回無担保普通社債		2004年12月7日	2011年12月7日	2.88	なし	15,000	15,000	-
Phoenix JT	Subordinated Notes Due 2016	2004年12月24日	2016年12月15日	5.95	なし	32,400	32,400	-
その他の社債	-	-	-	-	-	140	140	-
合計	-	-	-	-	-	497,751	483,739	-14,012

(※1)2013年満期転換社債、2014年満期転換社債、2015年満期転換社債については、本社債の所持人の請求により、それぞれ2007年、2008年、2009年以降、繰上償還の可能性があります。また、一定の条件を満たした場合、それぞれ2007年、2008年、2009年以降、当社の請求による繰上償還の可能性があります。

(※2) 2013年満期ユーロ円建普通社債については、2008年6月30日現在までに元本85百万ユーロについて買入消却を実施しております。

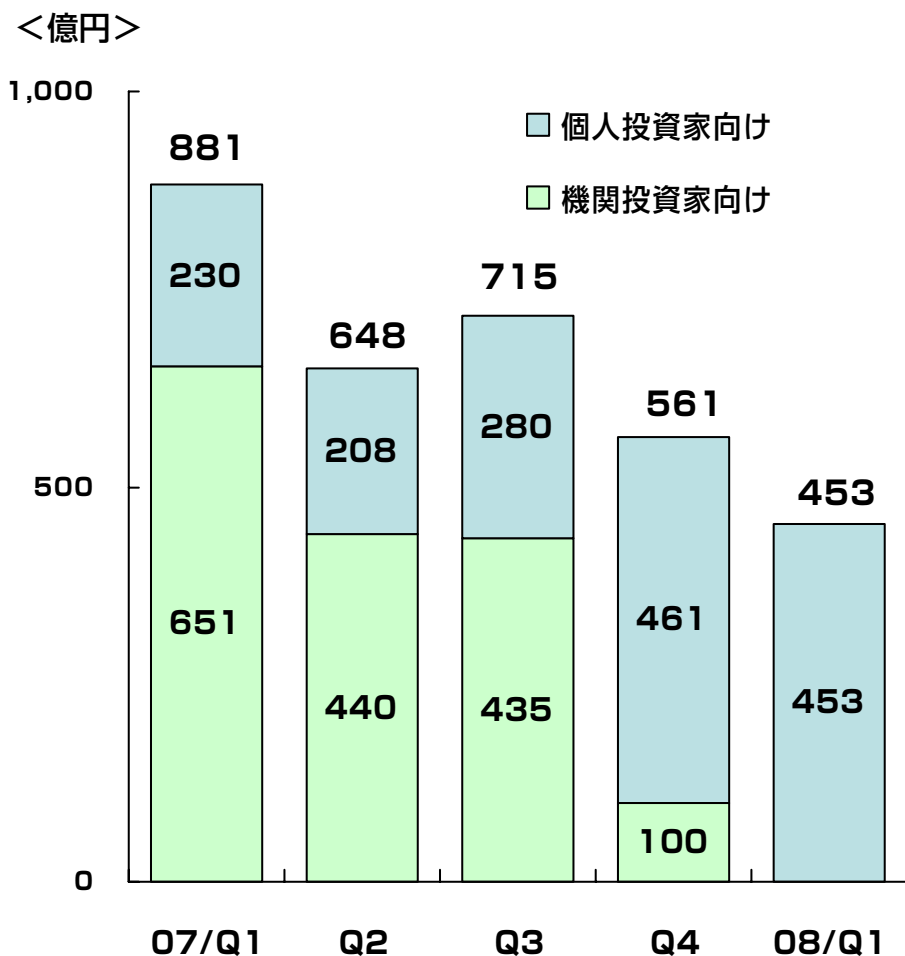
(※3) 上表には信託型デットアサンプションを実施したソフトバンクモバイルの普通社債は含んでおりません。



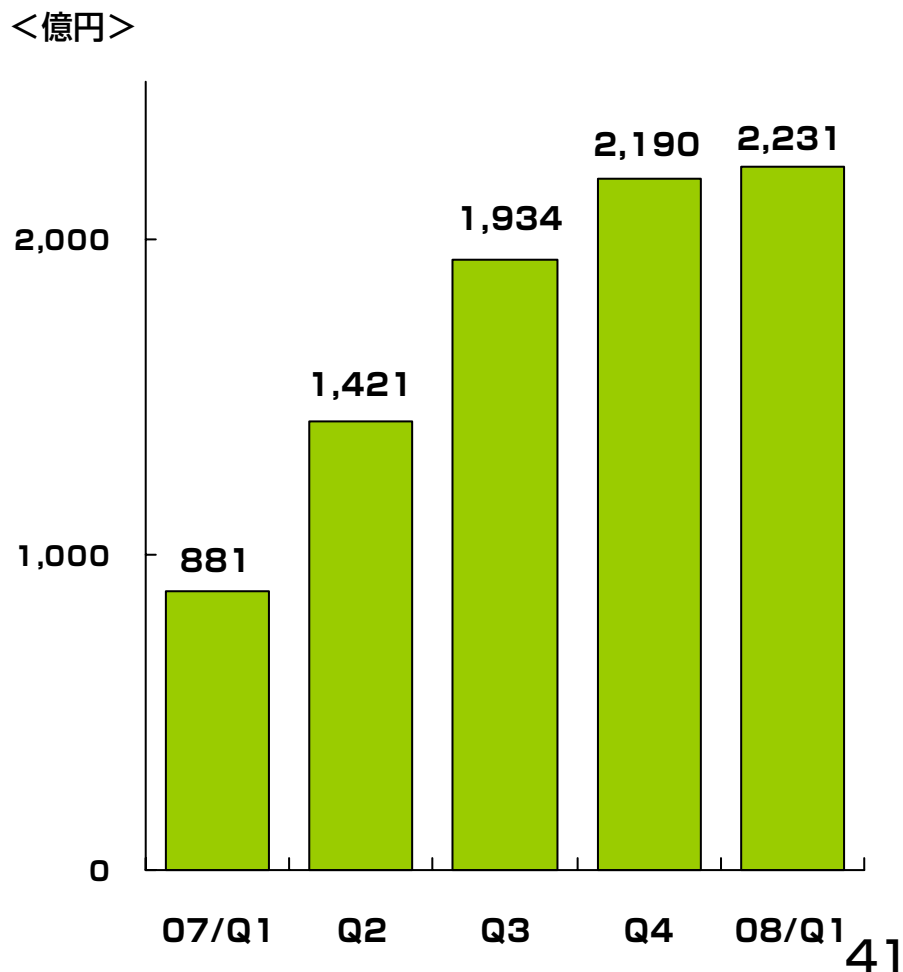
# 割賦債権流動化

## ■ 割賦債権流動化による調達は今後も継続

### 新規調達の内訳



### 割賦債権流動化債務残高



**フリー・キャッシュフローの拡大へ**

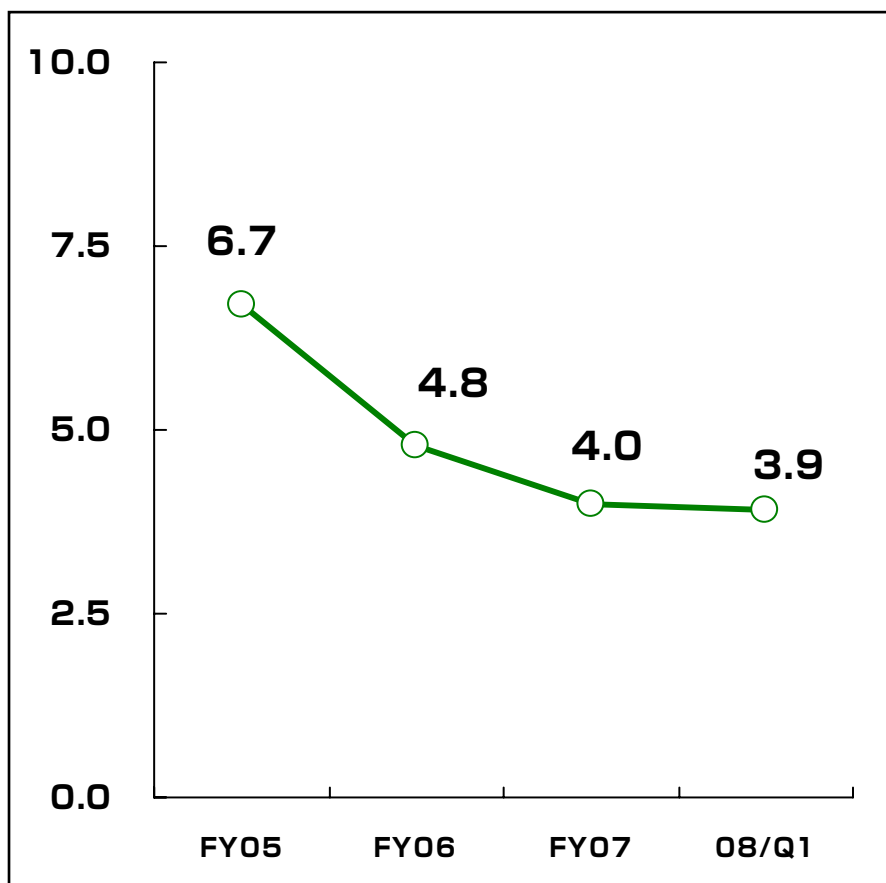
**有利子負債削減のステージへ**

**各種財務指標の改善へ**

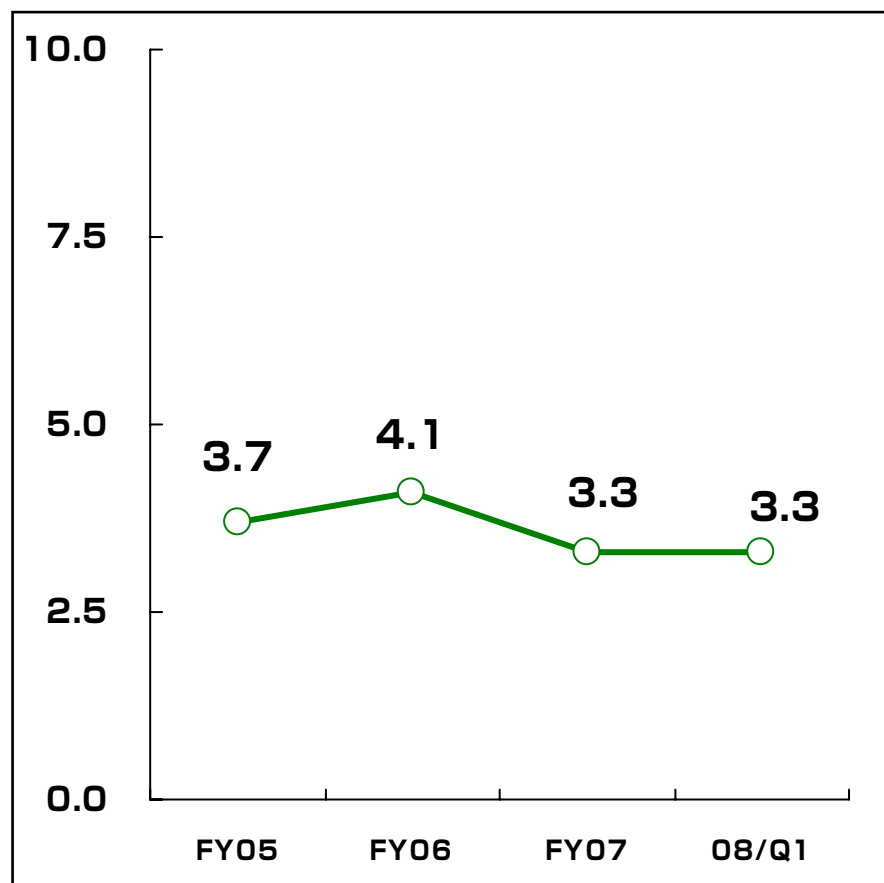
# 指標改善① 有利子負債／EBITDA倍率

## 有利子負債の削減とEBITDAの拡大を両立へ

### 有利子負債／EBITDA倍率



### (参考) 純有利子負債／EBITDA倍率



(※1) FY06以前の有利子負債・純有利子負債の額は株券寄託取引に係る預り担保金残高を加算して遡及修正しております

(※2) 有利子負債にはリース債務を含んでおりません。

(※3) 08/Q1は08/Q1のEBITDAを4倍して年換算

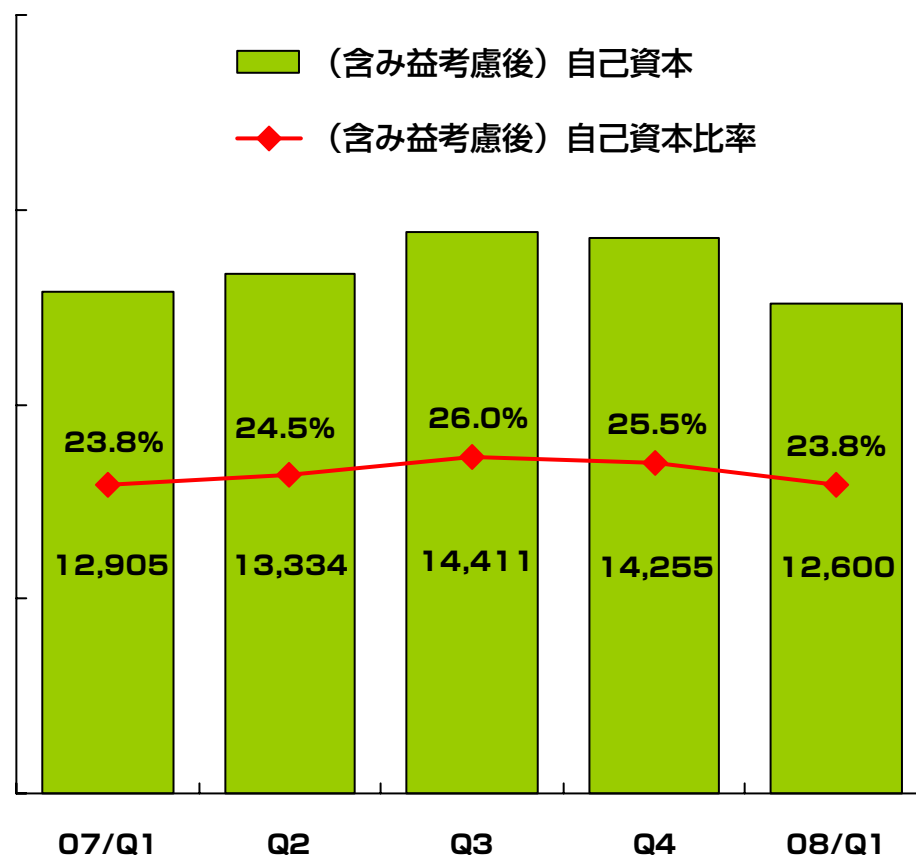
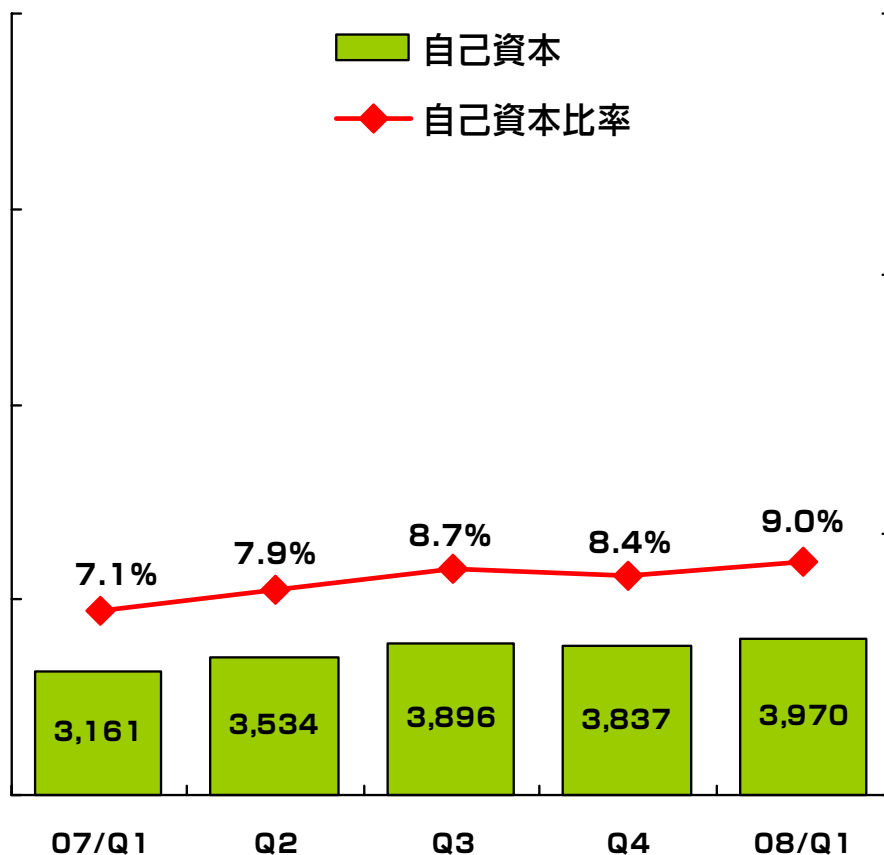
# 指標改善② 自己資本比率

## ■着実な利益の積み上げで自己資本比率を改善へ

<億円>

自己資本比率

(ご参考) 自己資本比率  
<株式含み益考慮後>

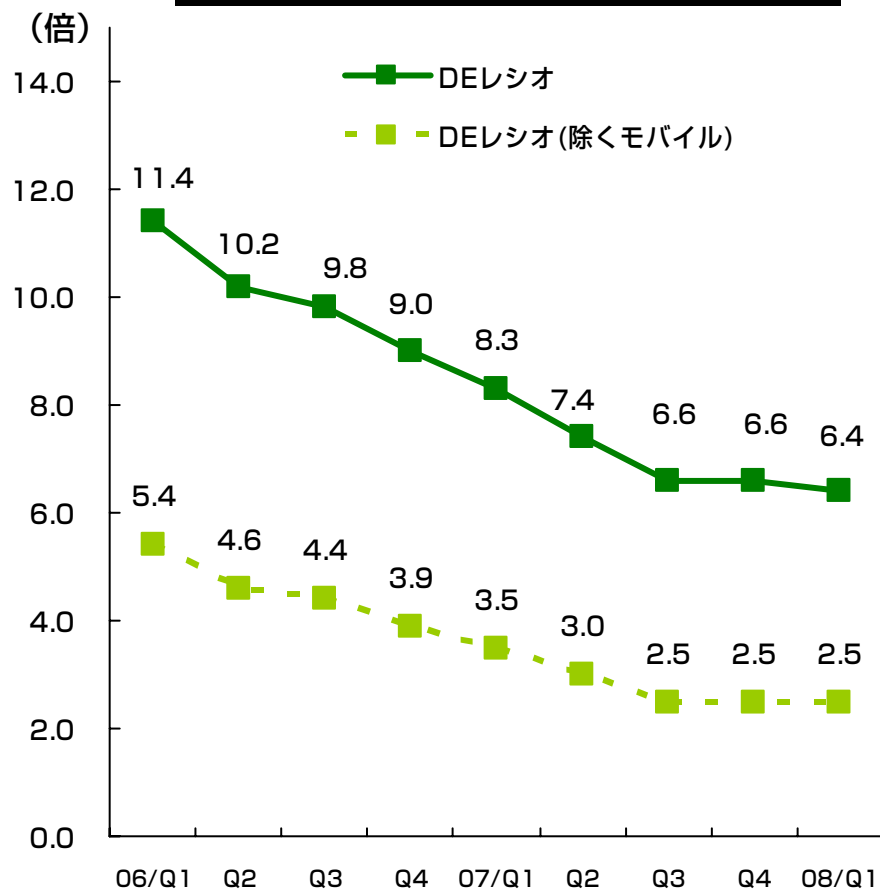


(※)計算根拠については補足資料の7ページをご参照下さい。

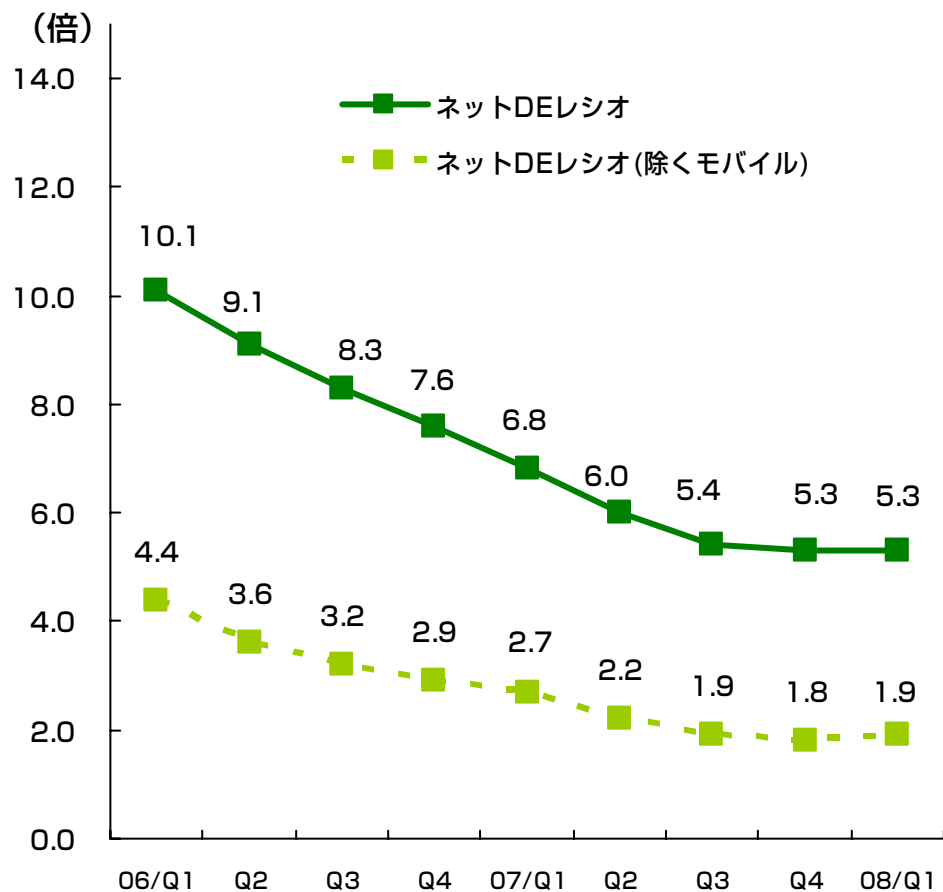
# 指標改善③ デット・エクイティ・レシオ

## ■レシオは着実に低下

### デット・エクイティ・レシオ



### ネット・デット・エクイティ・レシオ



(※1)07年12月末以前の有利子負債・純有利子負債の額は株券寄託取引に係る預り担保金残高を加算して遡及修正しております。

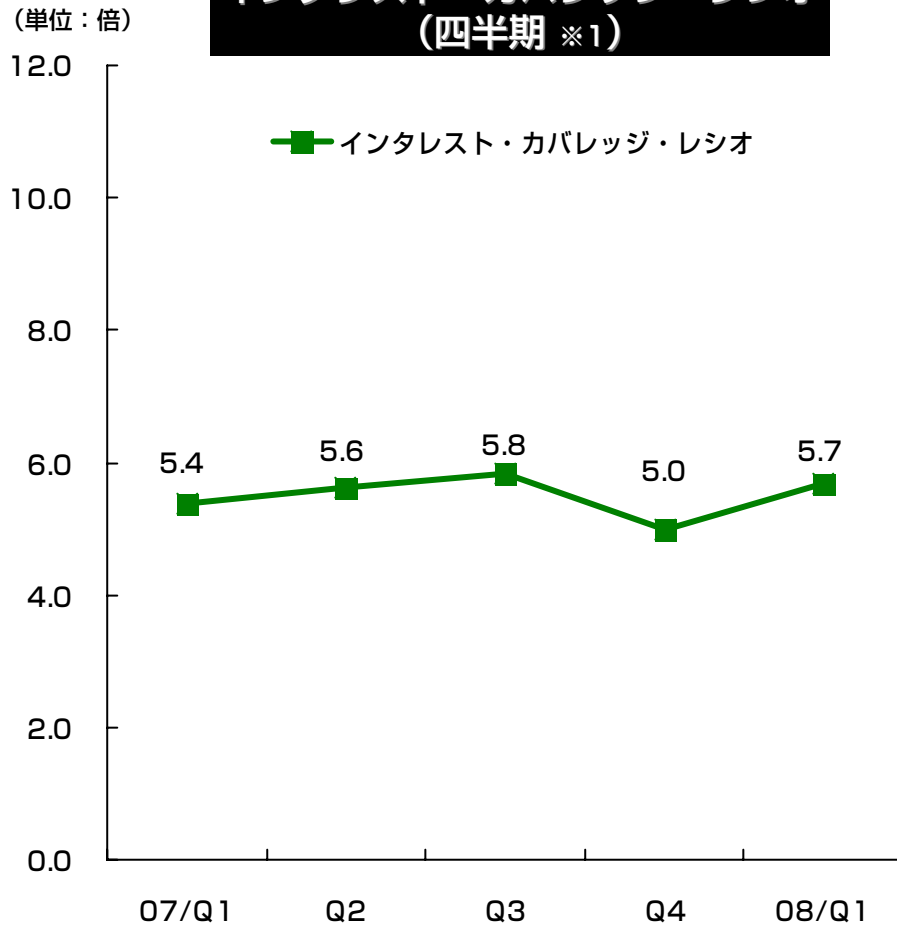
(※2)有利子負債にはリース債務を含んでおりません。

(※3)除くモバイル：連結有利子負債および純有利子負債残高からソフトバンクモバイルおよびBBモバイルの残高をそれぞれ控除

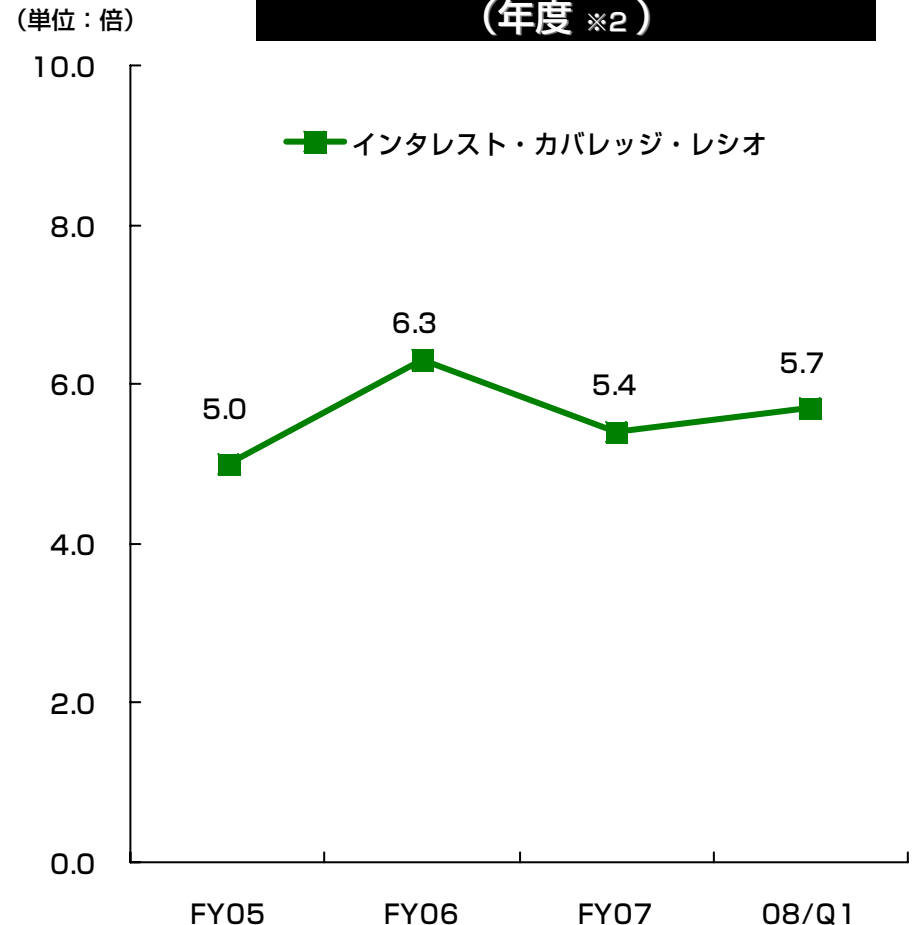
# 指標改善④ インタレスト・カバレッジ・レシオ

## ■安定的な水準を維持

インタレスト・カバレッジ・レシオ  
(四半期 ※1)



インタレスト・カバレッジ・レシオ  
(年度 ※2)



※インタレスト・カバレッジ・レシオ=EBITDA/支払利息

※1 FY2007/Q4以前の支払利息には株券等寄託取引手数料を遡及修正しております

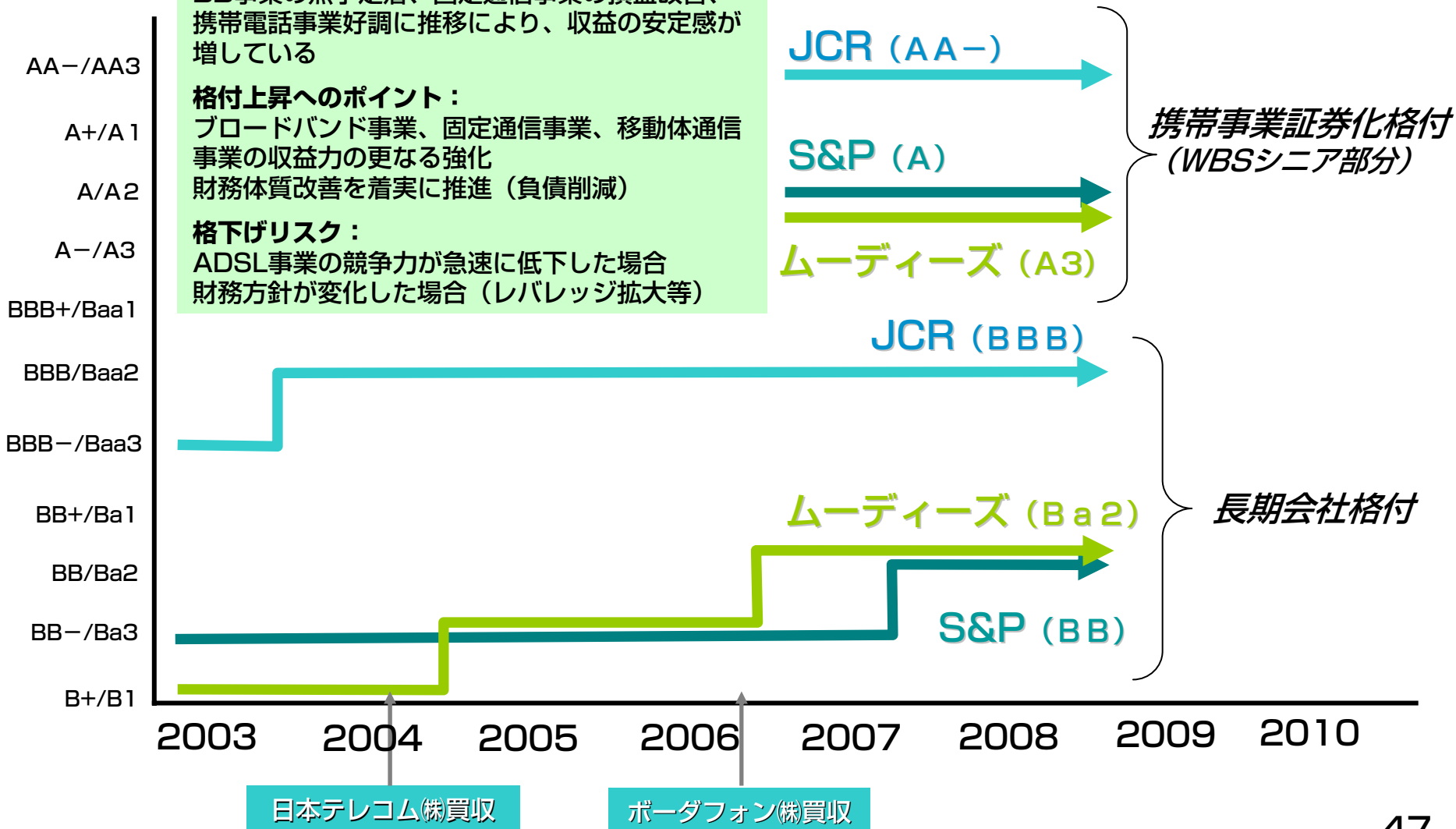
※2 FY2006年以前の支払利息には株券等寄託取引手数料を加算して遡及修正しております

# 格付け推移

**格付の評価ポイント：**  
**BB事業の黒字定着、固定通信事業の損益改善、携帯電話事業好調に推移により、収益の安定感が増している**

**格付上昇へのポイント：**  
 ブロードバンド事業、固定通信事業、移動体通信事業の収益力の更なる強化  
 財務体質改善を着実に推進（負債削減）

**格下げリスク：**  
 ADSL事業の競争力が急速に低下した場合  
 財務方針が変化した場合（レバレッジ拡大等）







# 事業編

---

ソフトバンクモバイル株式会社 取締役 常務執行役員 兼 CFO  
ソフトバンクBB株式会社 取締役 常務執行役員 兼 CFO  
ソフトバンクテレコム株式会社 取締役

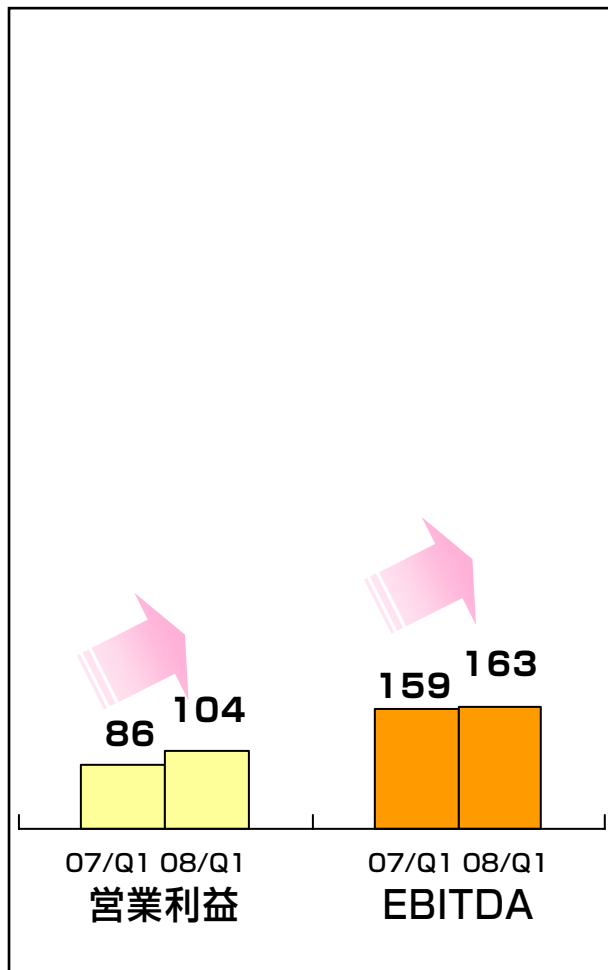
ふじはら  
**藤原 和彦**

# 通信3事業の業績概要

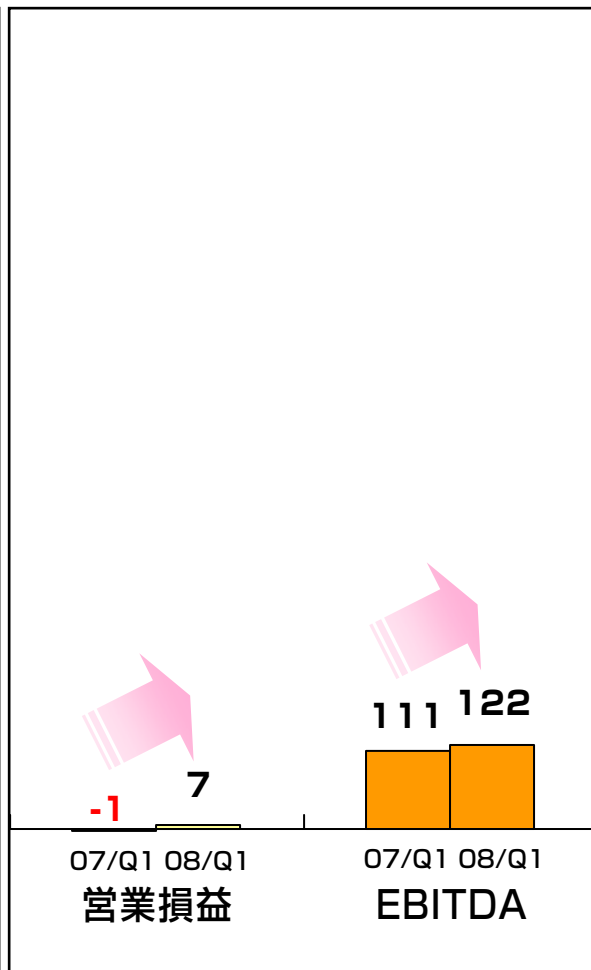
■通信3事業はすべて前年同期比増益を達成

<億円>

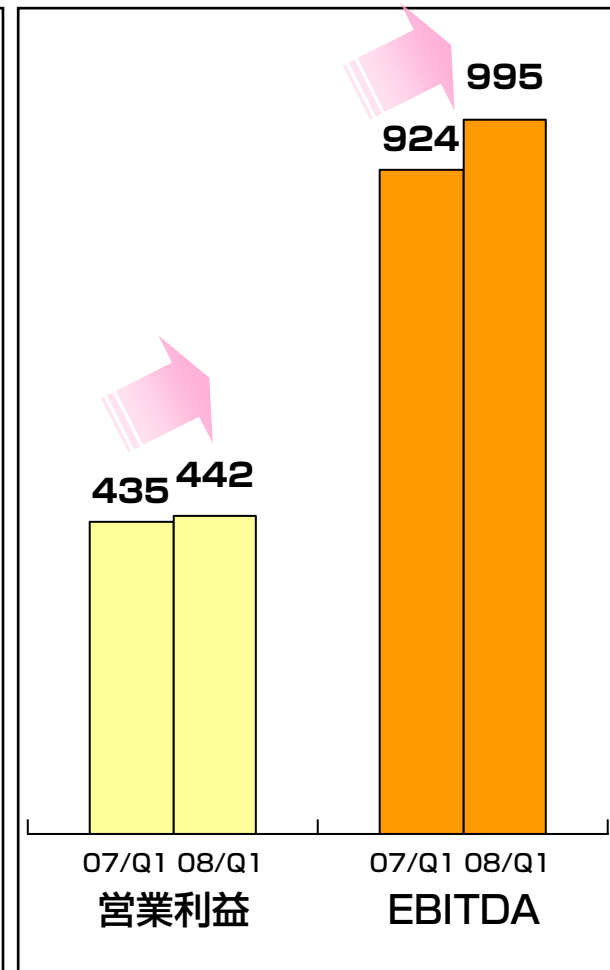
## BBインフラ事業



## 固定通信事業



## 移動体通信事業



**ブロードバンド・インフラ事業**

**固定通信事業**

**移動体通信事業**

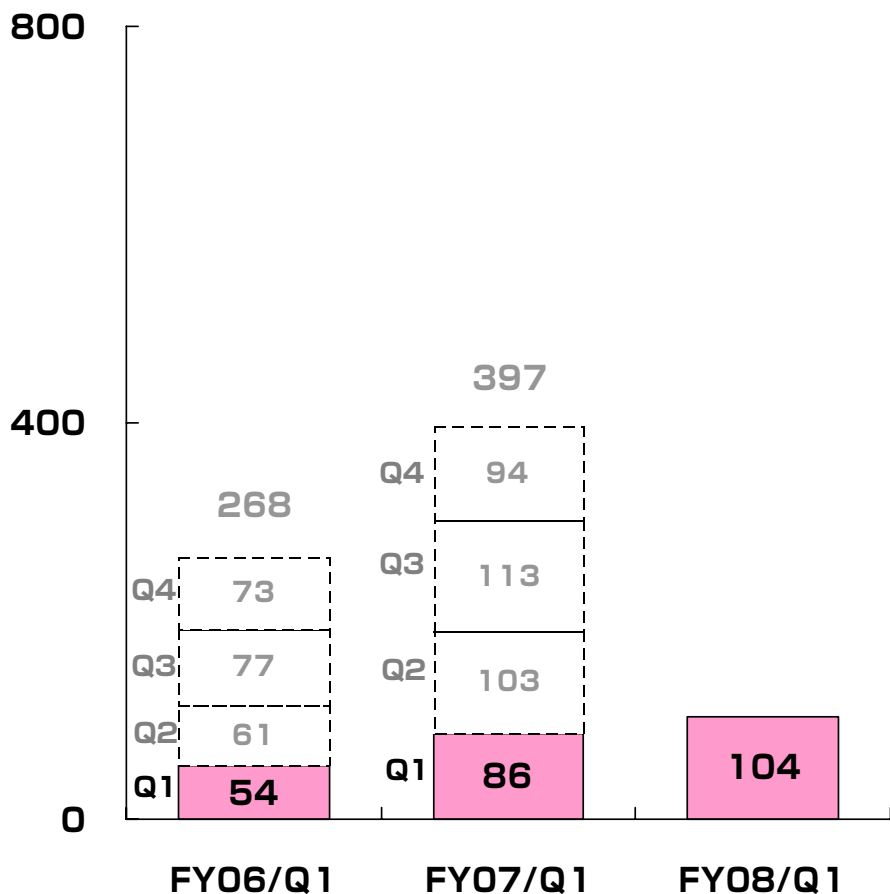
# 営業利益・EBITDA (BB事業)

<BB-1>

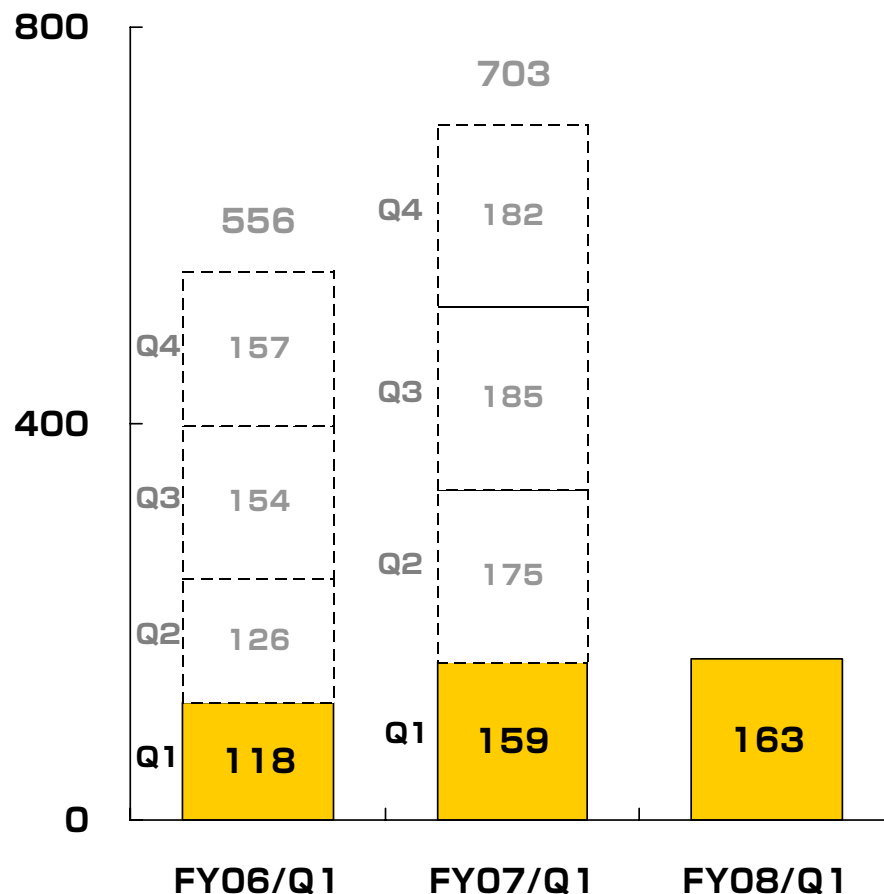
■コスト削減に取り組み増益トレンドを維持

<億円>

## 営業利益



## EBITDA

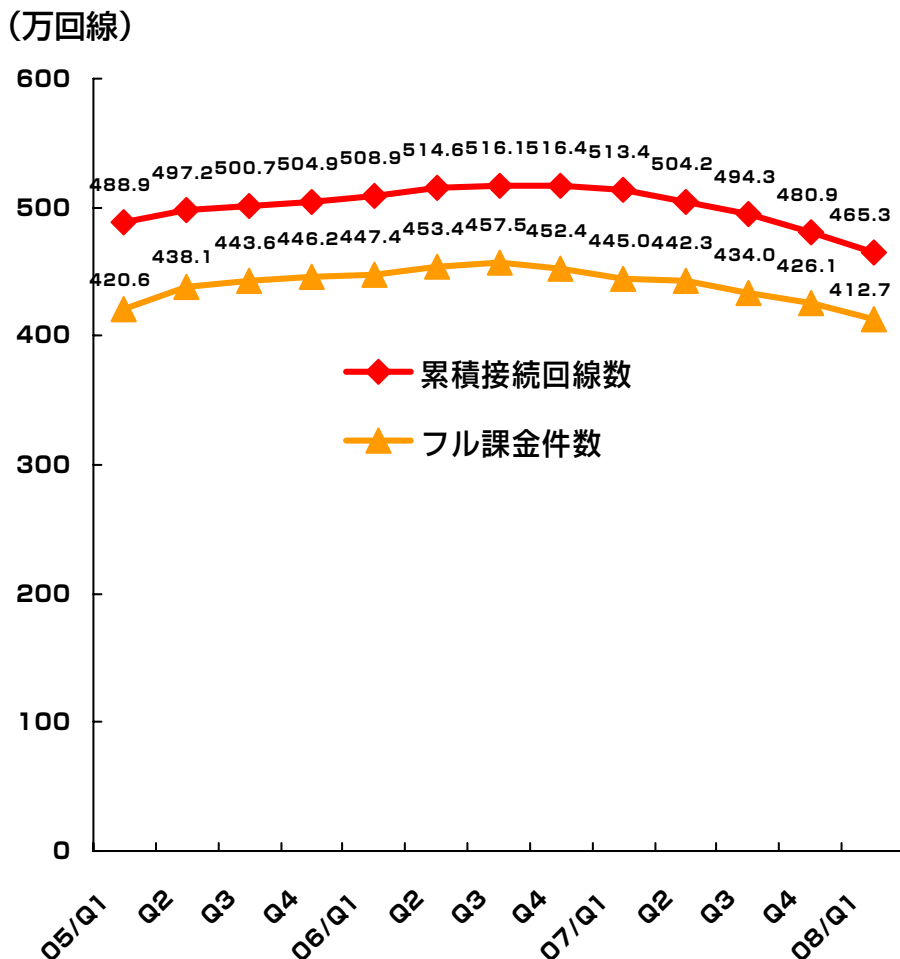


# Yahoo! BB ADSL 回線数とARPU

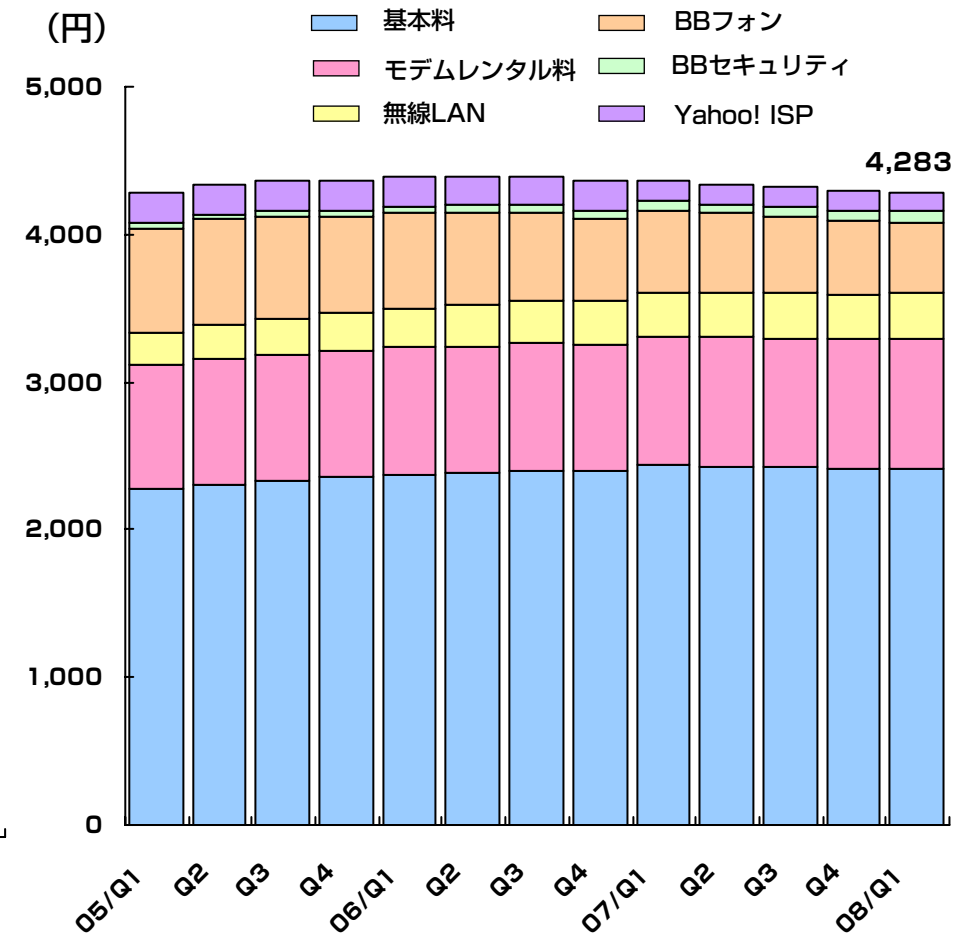
<BB-2>

■ADSL回線数は減少傾向。ARPUは微減。

回線数と課金件数



ARPU



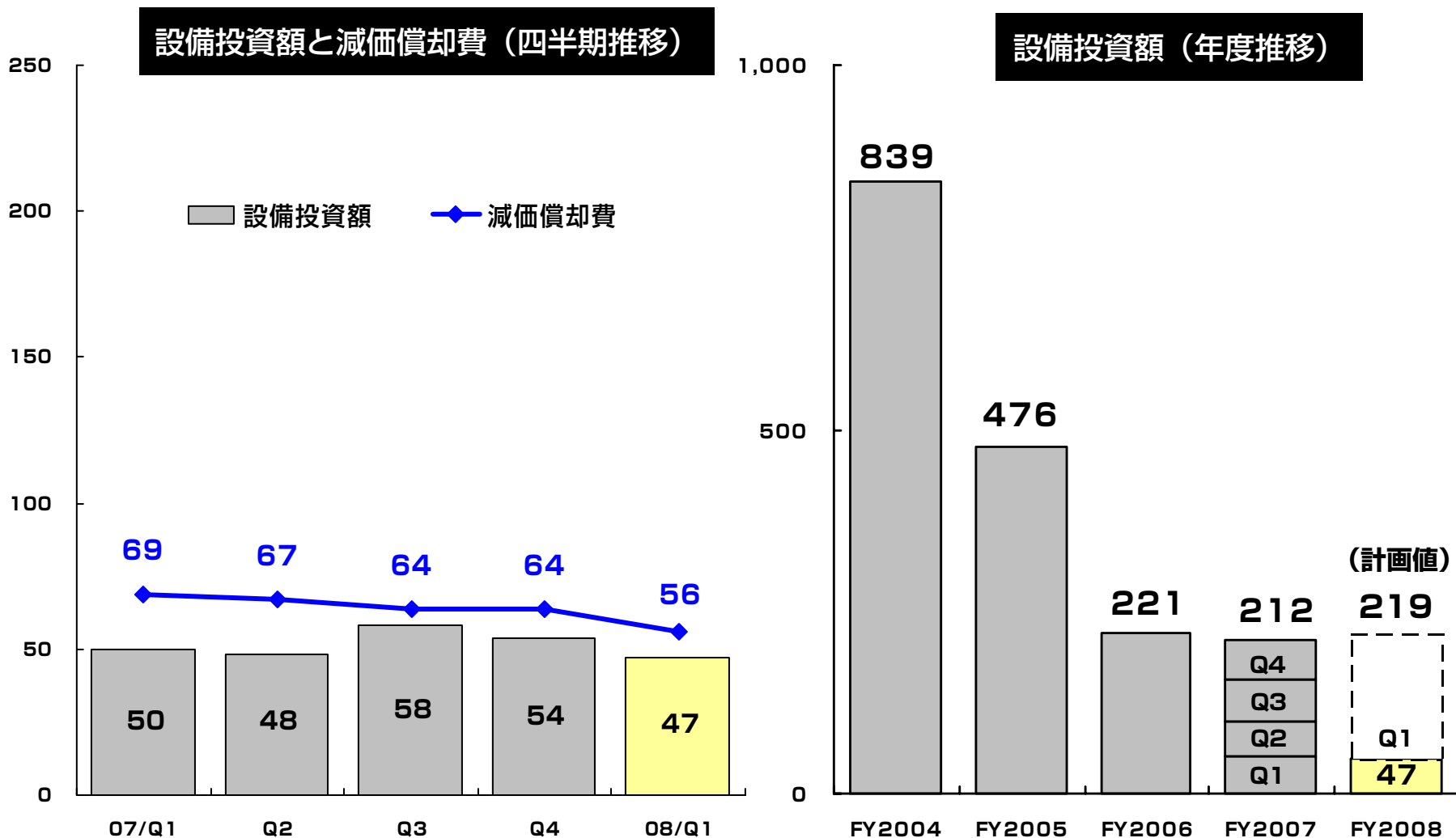
\*ARPU: フル課金ユーザーの支払いベース。モデムレンタル事業売却に伴う影響を含まず  
FY07/Q1よりヤフーとの契約変更によりYahoo! ISP収入の一部を基本料部分に計上 (ユーザー負担に変更なし)

# 設備投資 (BB事業)

<BB-3>

## ■設備投資額は減価償却費の範囲内で安定推移

<億円>



**ブロードバンド・インフラ事業**

**固定通信事業**

**移動体通信事業**

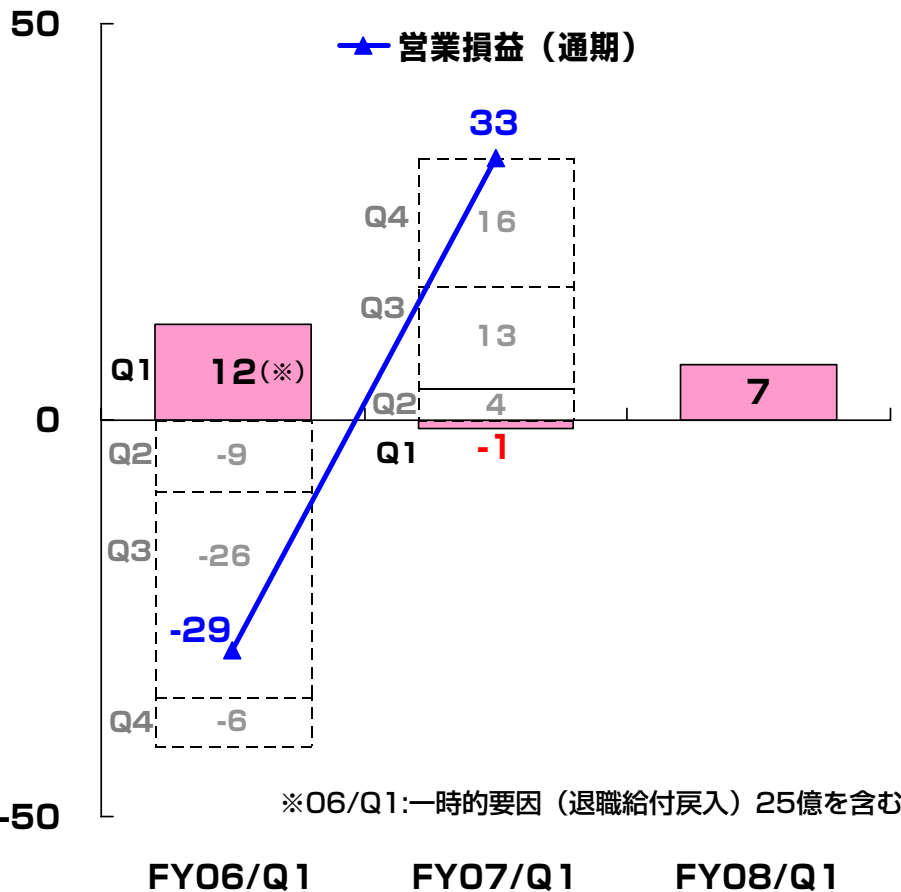
# 営業損益・EBITDA（固定通信事業）

<固定-1>

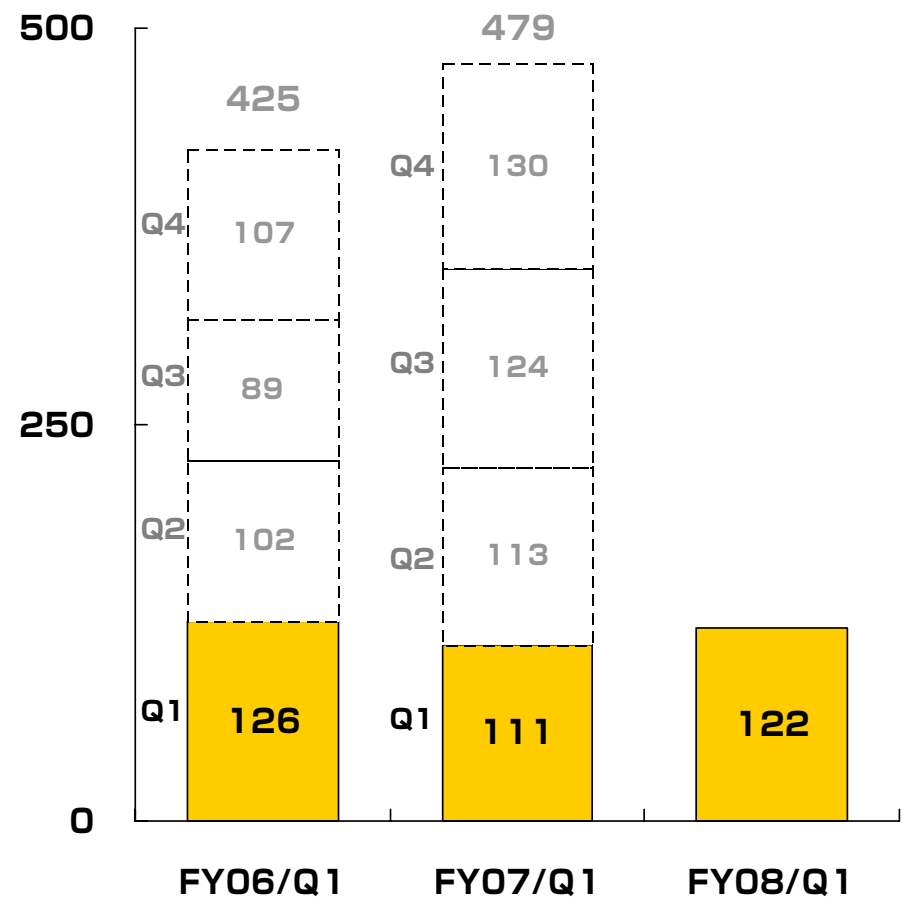
■法人強化と経営スリム化で黒字基調が定着

<億円>

営業損益



EBITDA

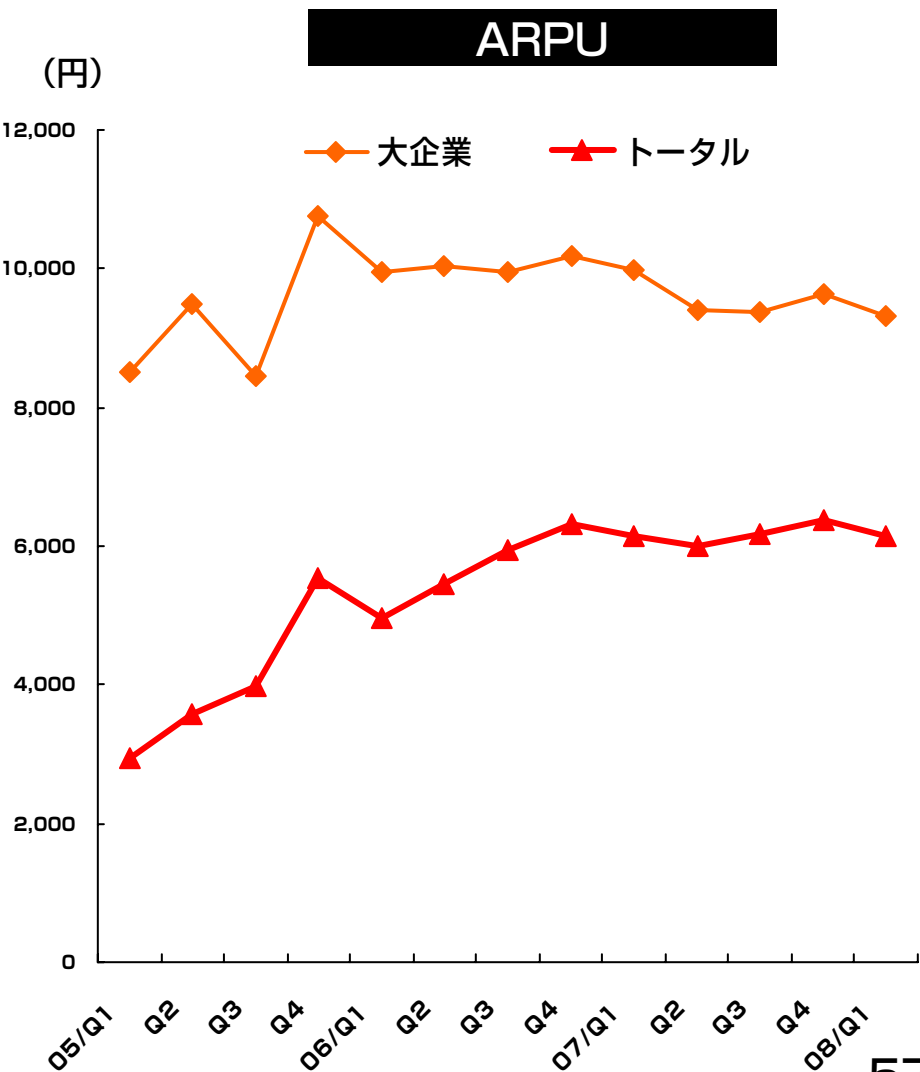
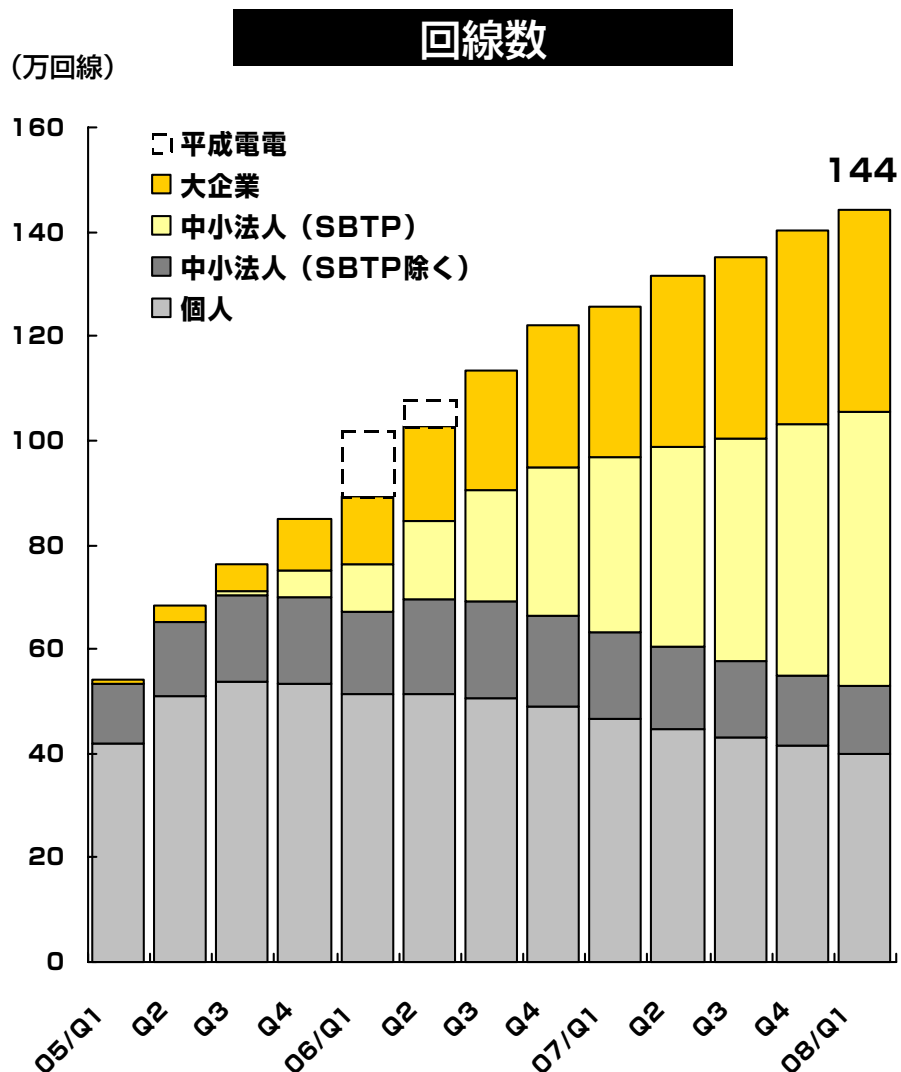




# おとくライン 回線数とARPU

<固定-2>

## ■回線数とARPUは法人向けの強化で堅調に推移



※SBTP：ソフトバンクテレコムパートナーズ

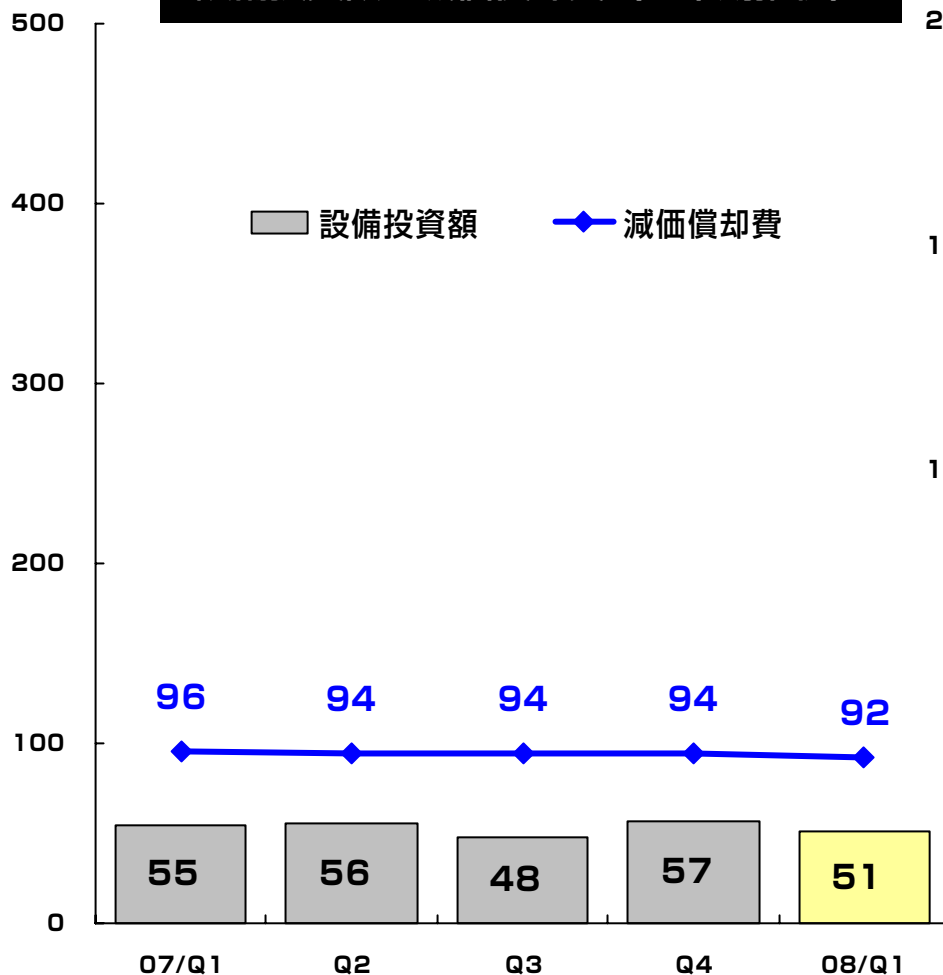
# 設備投資（固定通信事業）

<固定-3>

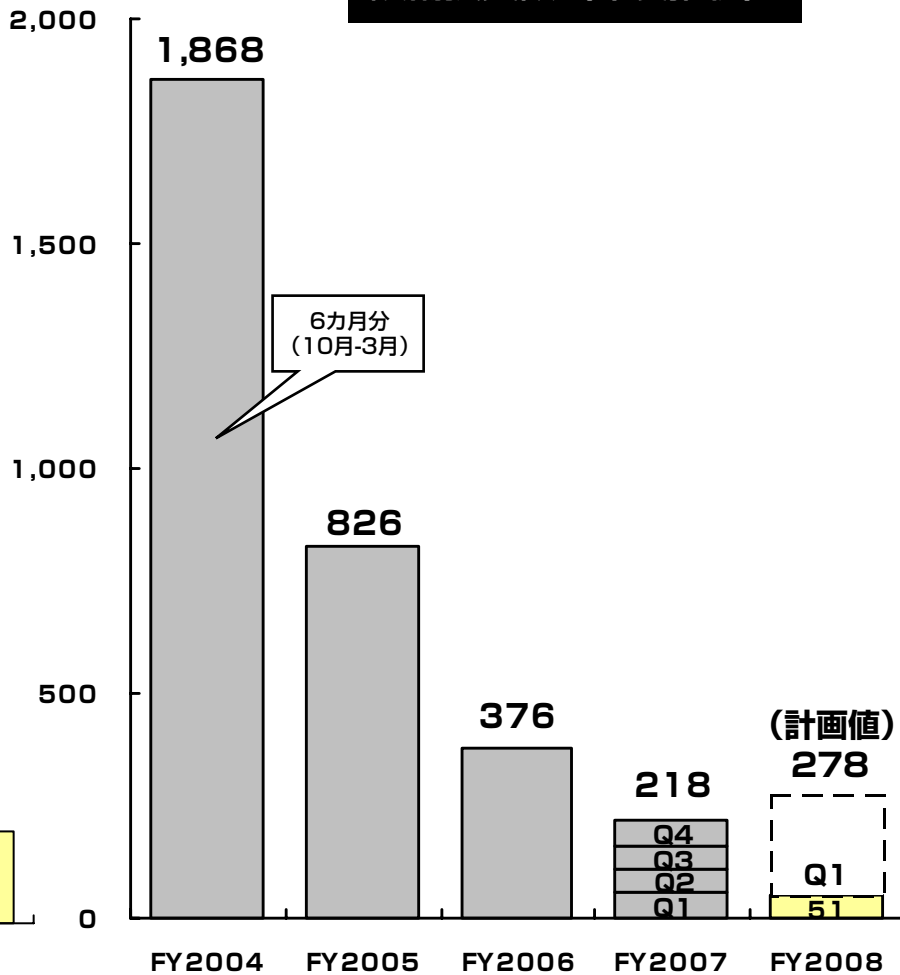
## ■設備投資額は減価償却費の範囲内で安定推移

<億円>

設備投資額と減価償却費（四半期推移）



設備投資額（年度推移）



---

**ブロードバンド・インフラ事業**

**固定通信事業**

**移動体通信事業**

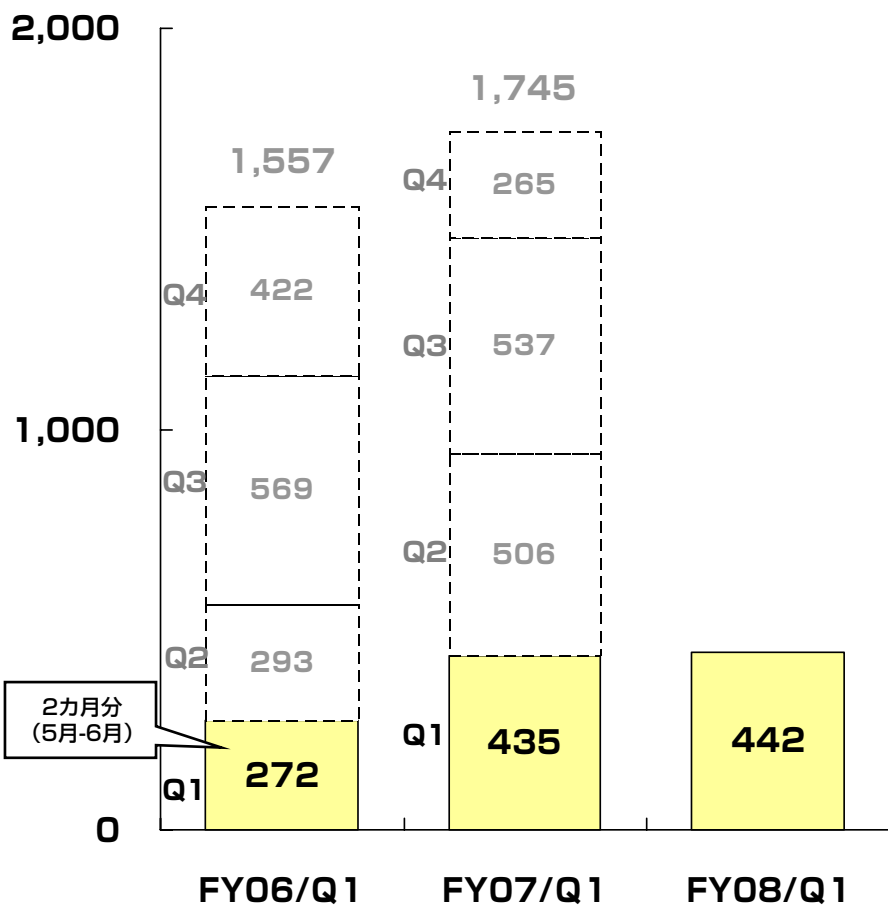
# 営業利益（SB連結・SBM連結）

<移動体-1>

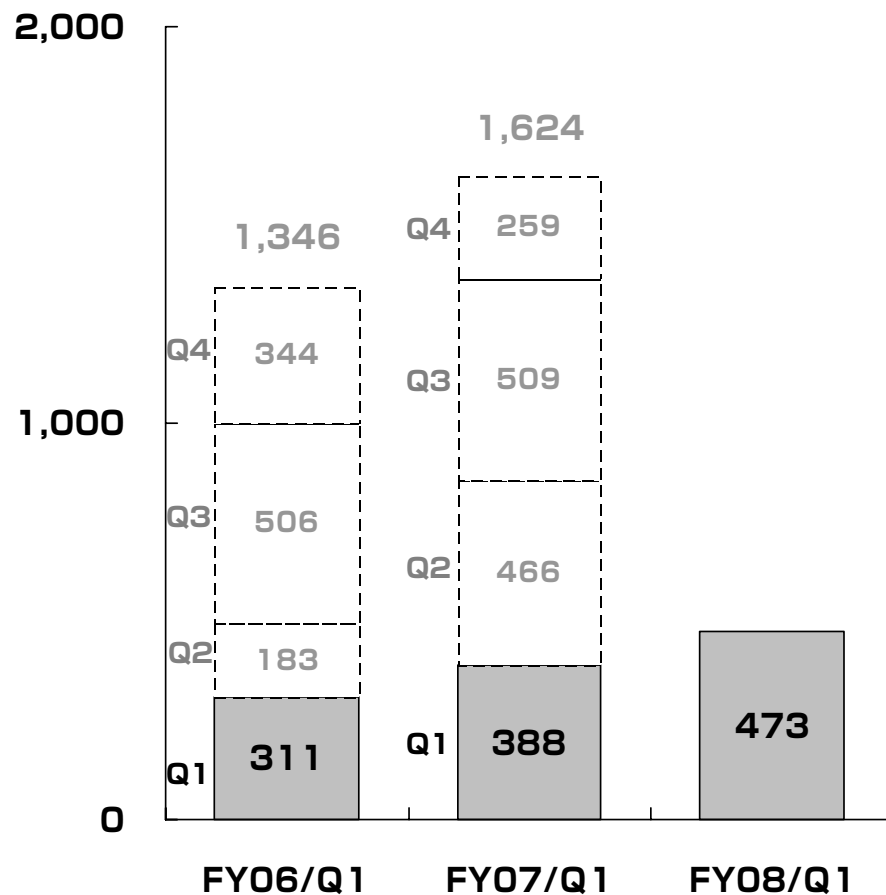
■前年同期比で増益を達成。好調を継続。

<億円>

SB連結 移動体セグメント



SBM連結



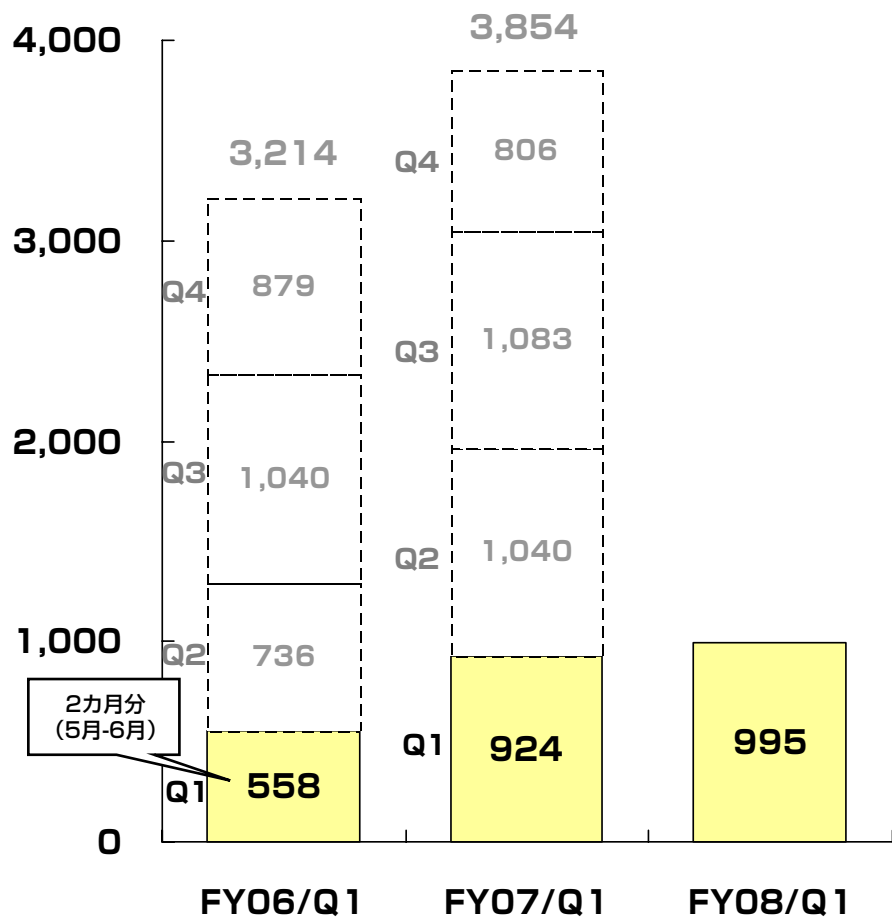
# EBITDA (SB連結・SBM連結)

<移動体-2>

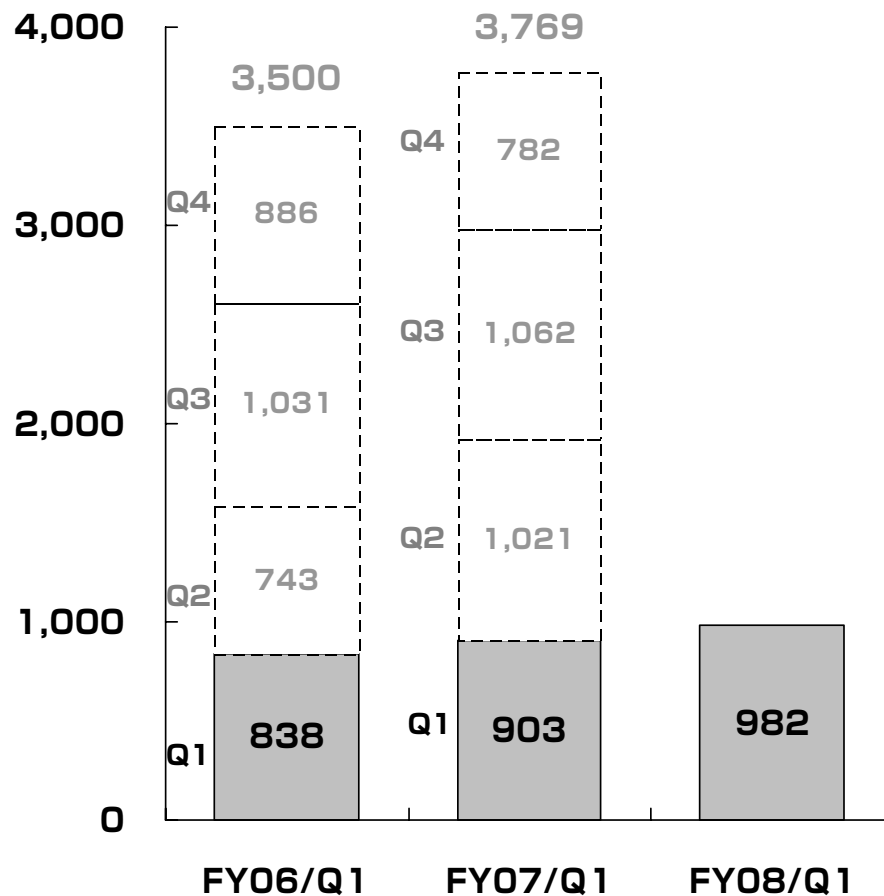
■前年同期比で増益を達成。好調を継続。

<億円>

SB連結 移動体セグメント



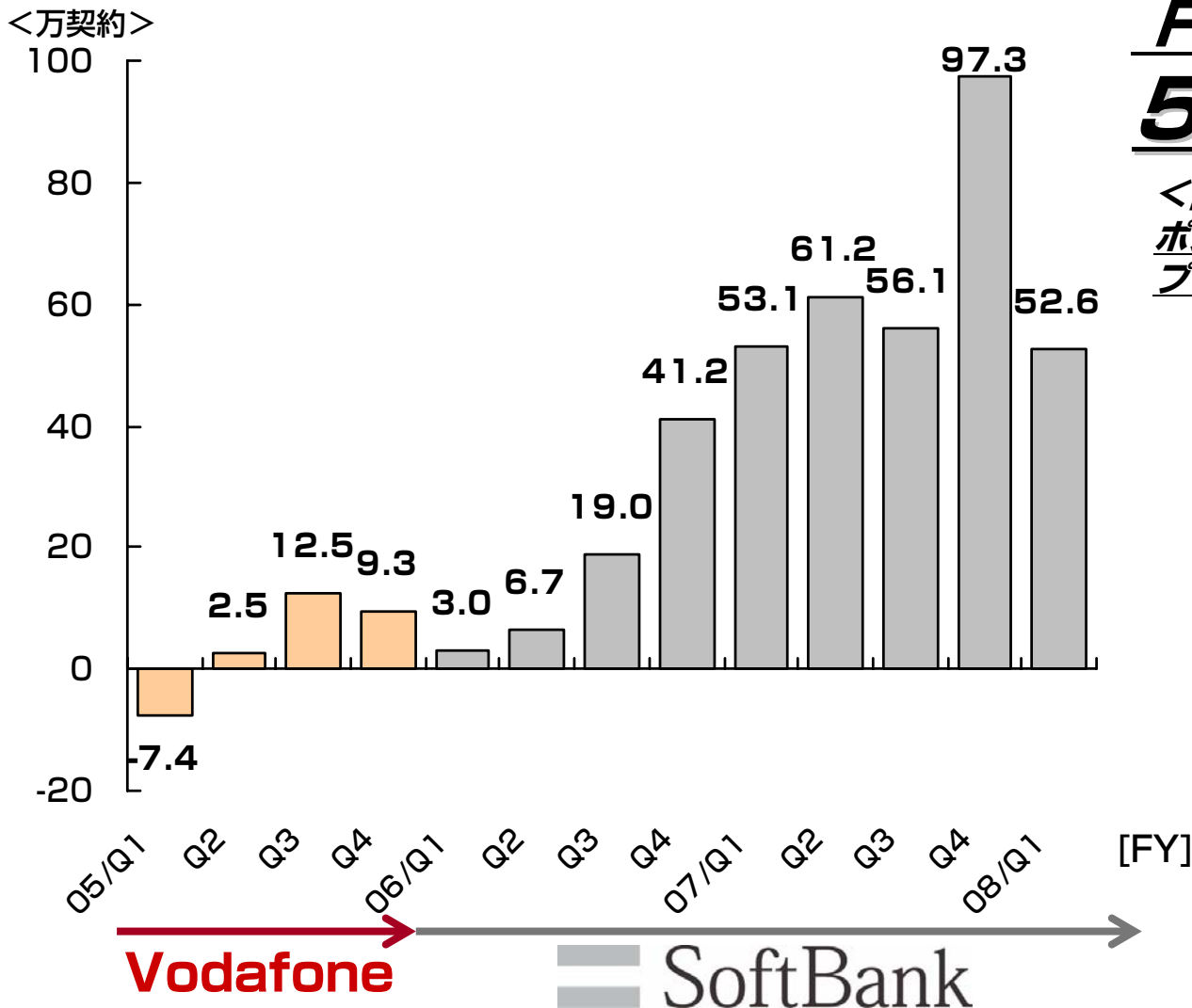
SBM連結



# 純増契約数（四半期）

<移動体-3>

## ■ 14カ月連続純増No.1を継続中

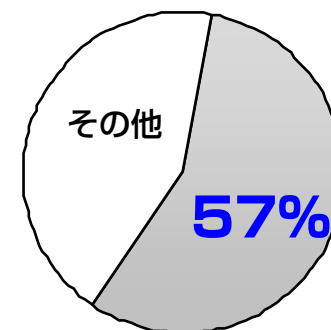


**FY08/Q1純増数**  
**52.6万**

<内訳>

ポストペイド +59.0万  
プリペイド ▲6.4万

**FY08/Q1純増シェア**



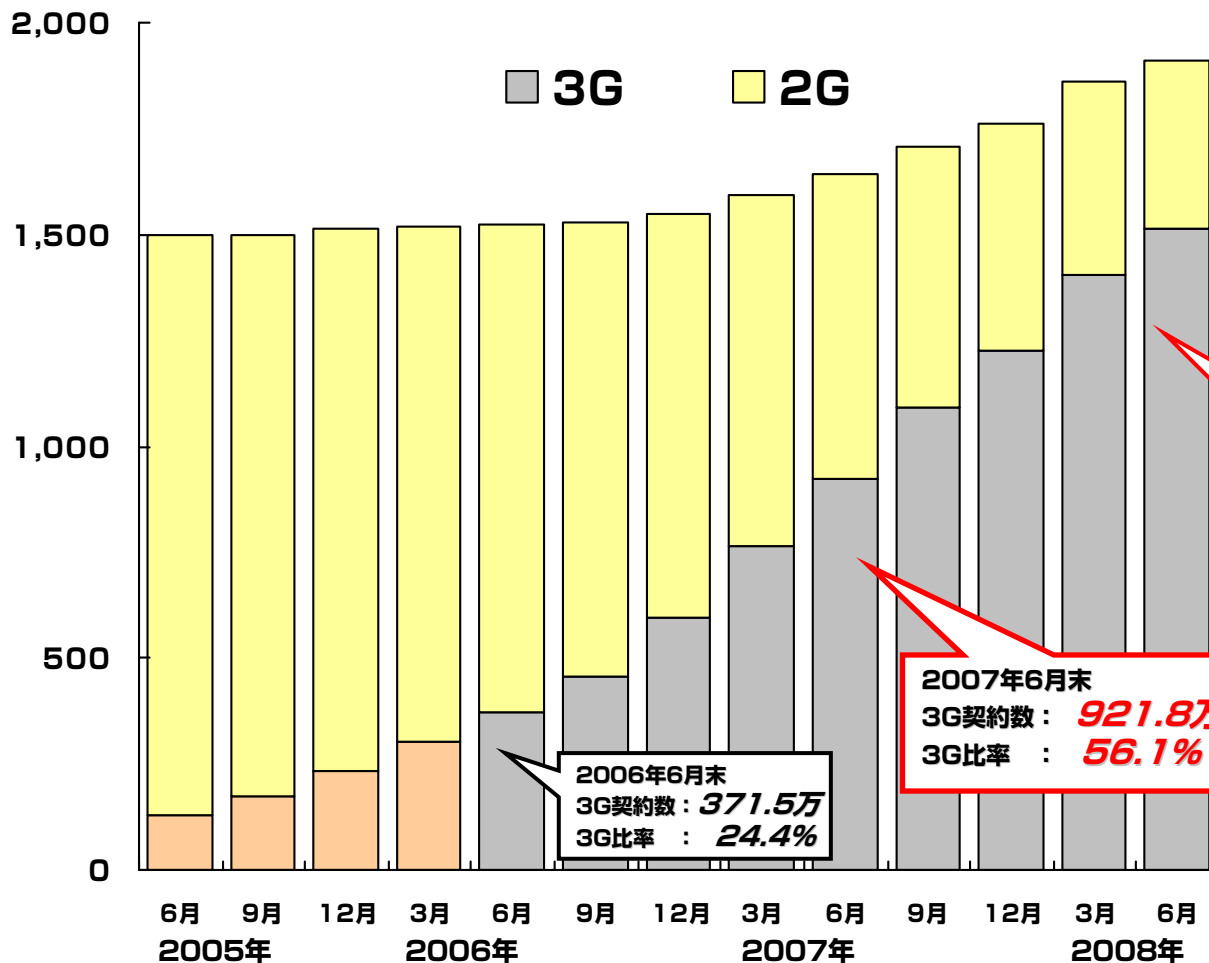
(参考)  
FY07/Q1純増シェア  
41%

# 累計契約数・3G契約数の推移

<移動体-4>

■ 累計契約数は順調に拡大。3G契約数は急増

<万契約>



**2008年6月末**  
**累計契約数**  
**1,911.2万**

2008年6月末  
 3G契約数: **1,511.3万**  
 3G比率: **79.1%**

2007年6月末  
 3G契約数: **921.8万**  
 3G比率: **56.1%**

2006年6月末  
 3G契約数: **371.5万**  
 3G比率: **24.4%**

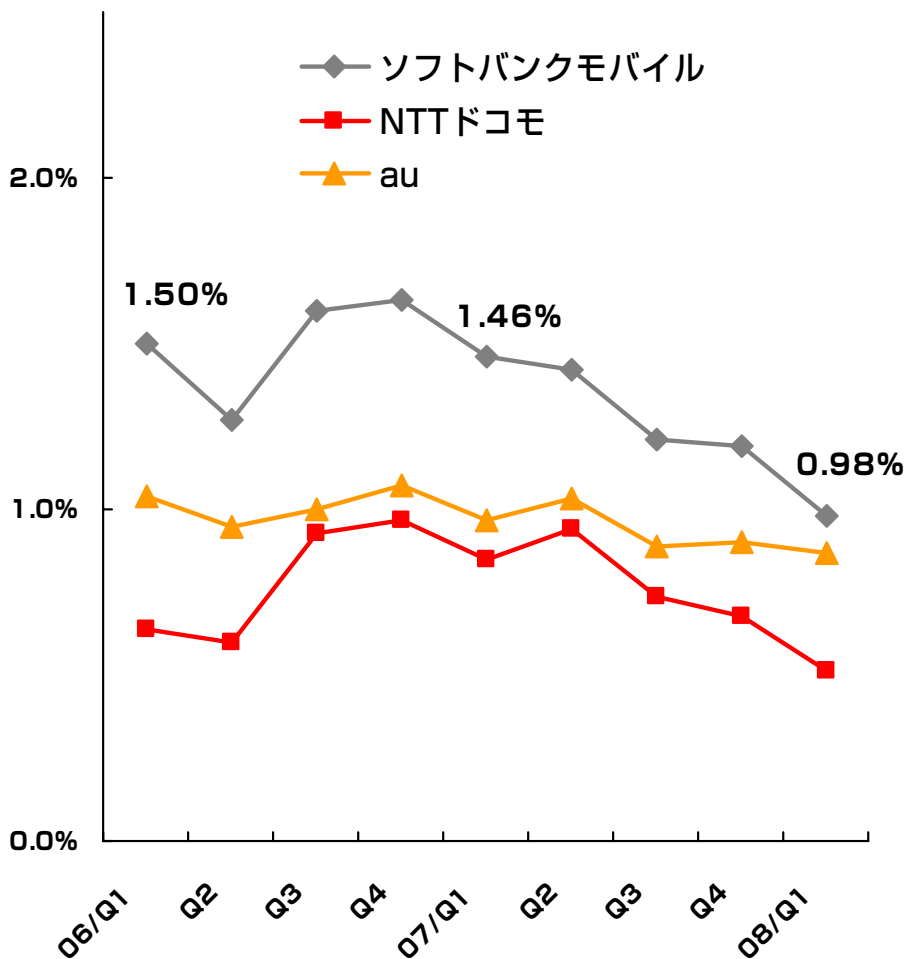
Vodafone

SoftBank

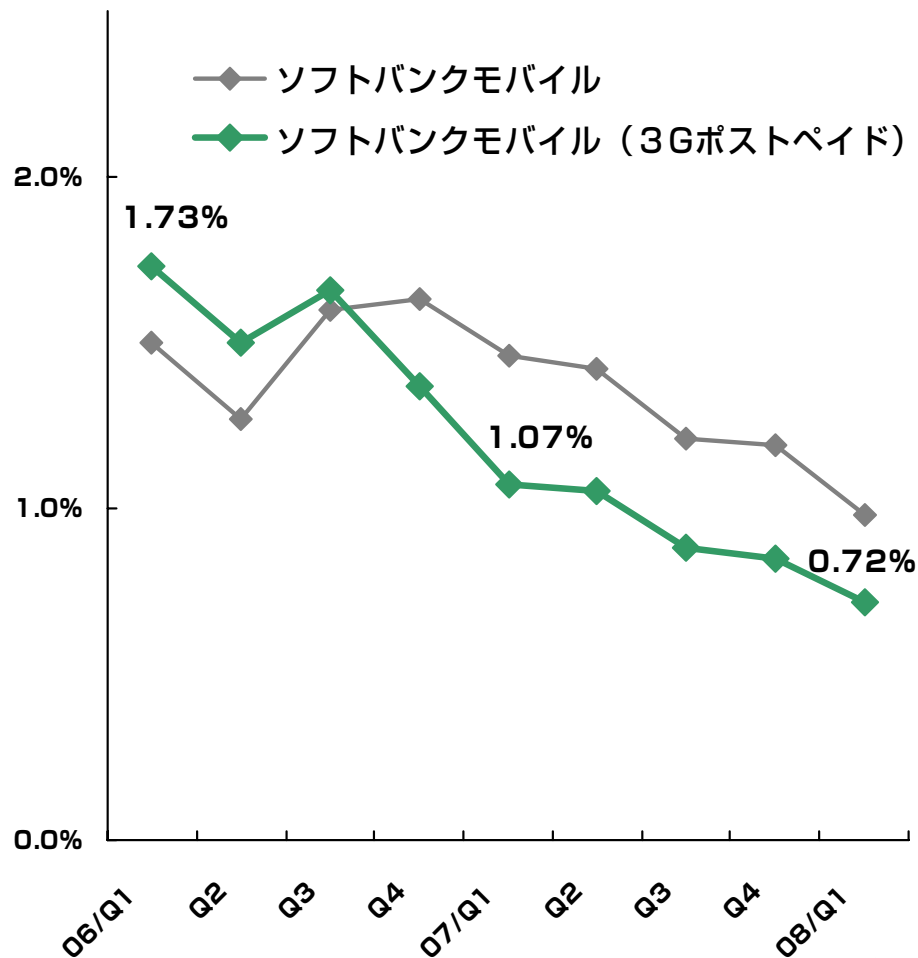
# 解約率（他社比較と3Gポストペイド） <移動体-5>

■ 割賦販売方式の定着により解約率はさらに低下

解約率（他社比較）



解約率（3Gポストペイド）

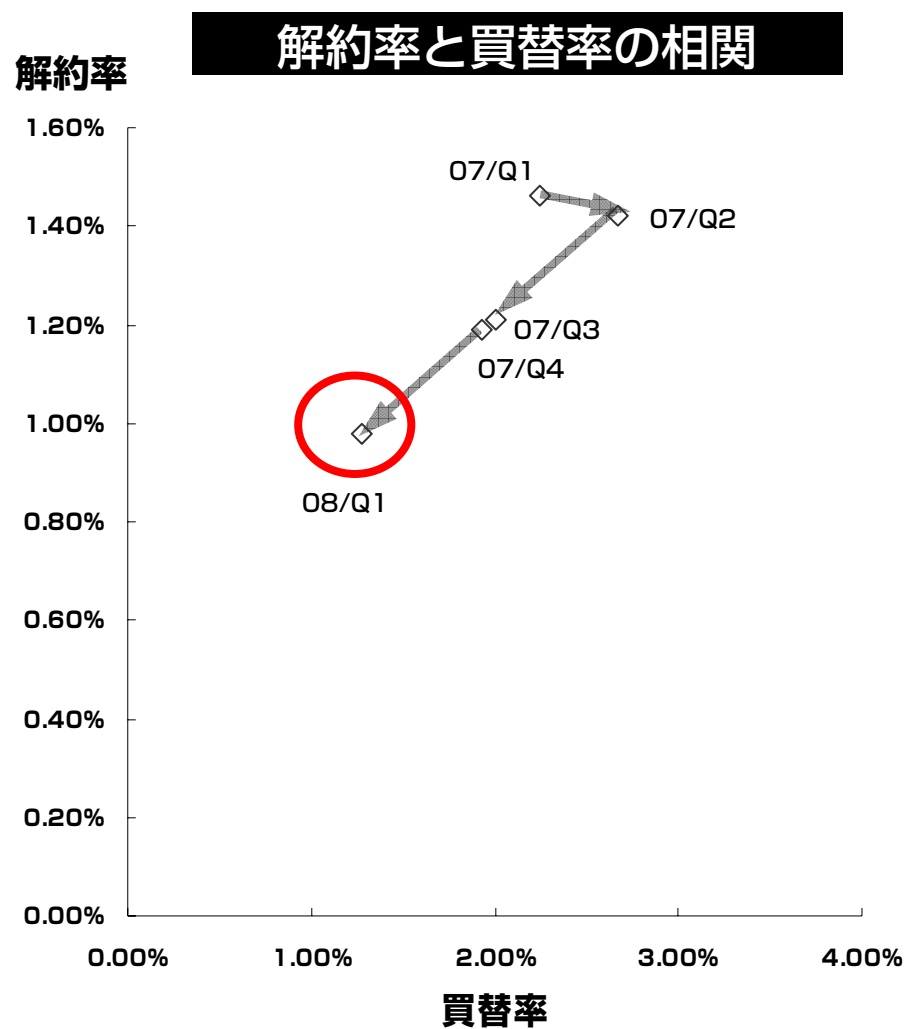
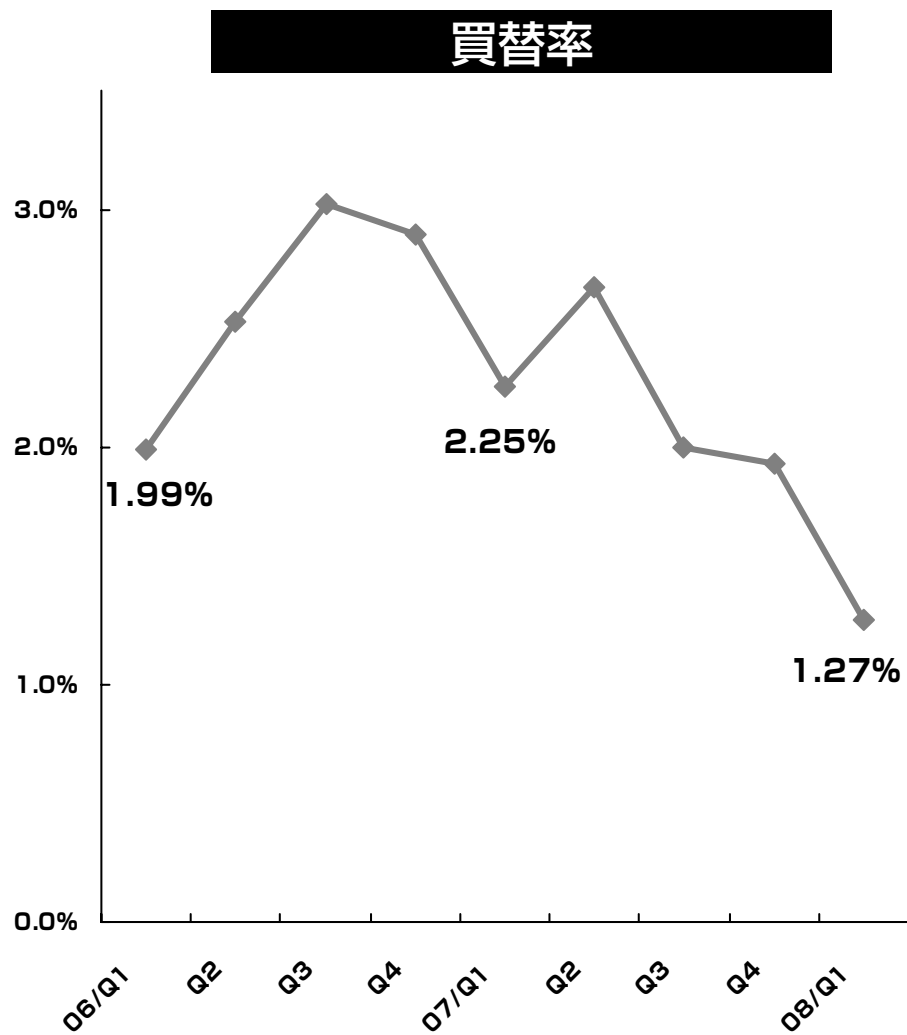




# 買替率と解約率

<移動体-6>

## ■割賦販売の定着により買替率は大幅に減少

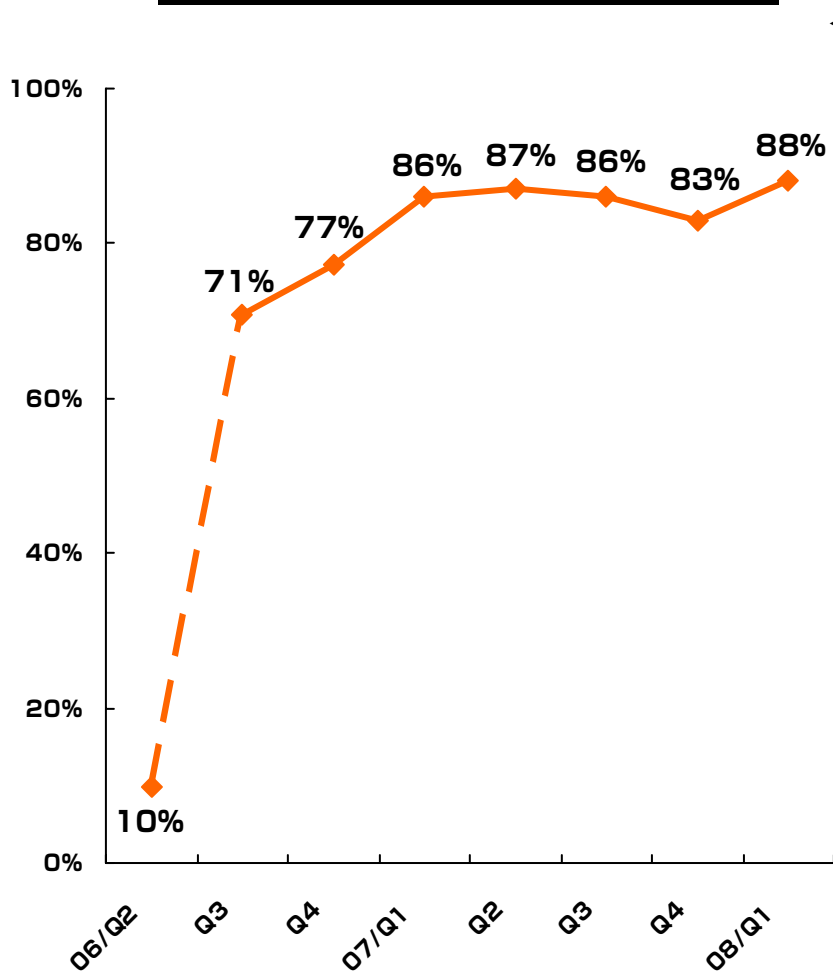


# スーパーボーナス加入率と割賦売掛金残高

<移動体-7>

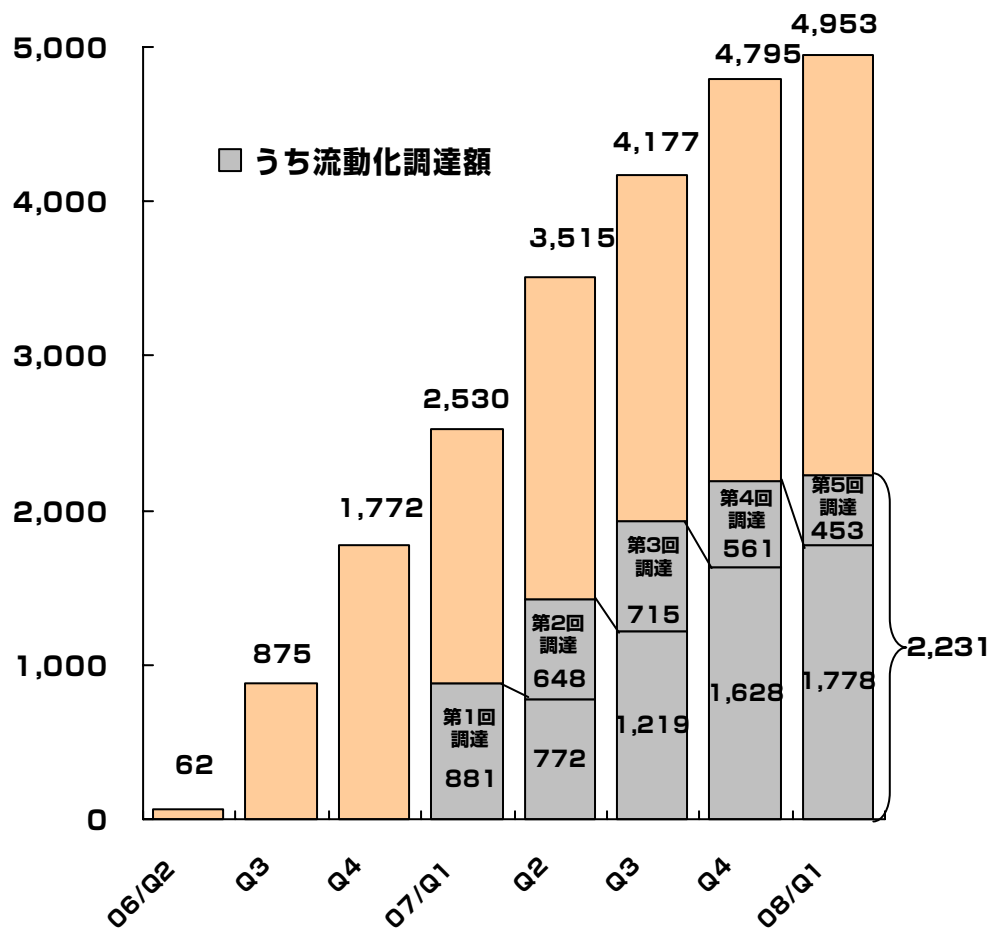
## ■高い加入率を維持。債権流動化も継続

スーパーボーナス加入率



割賦売掛金残高

<億円>



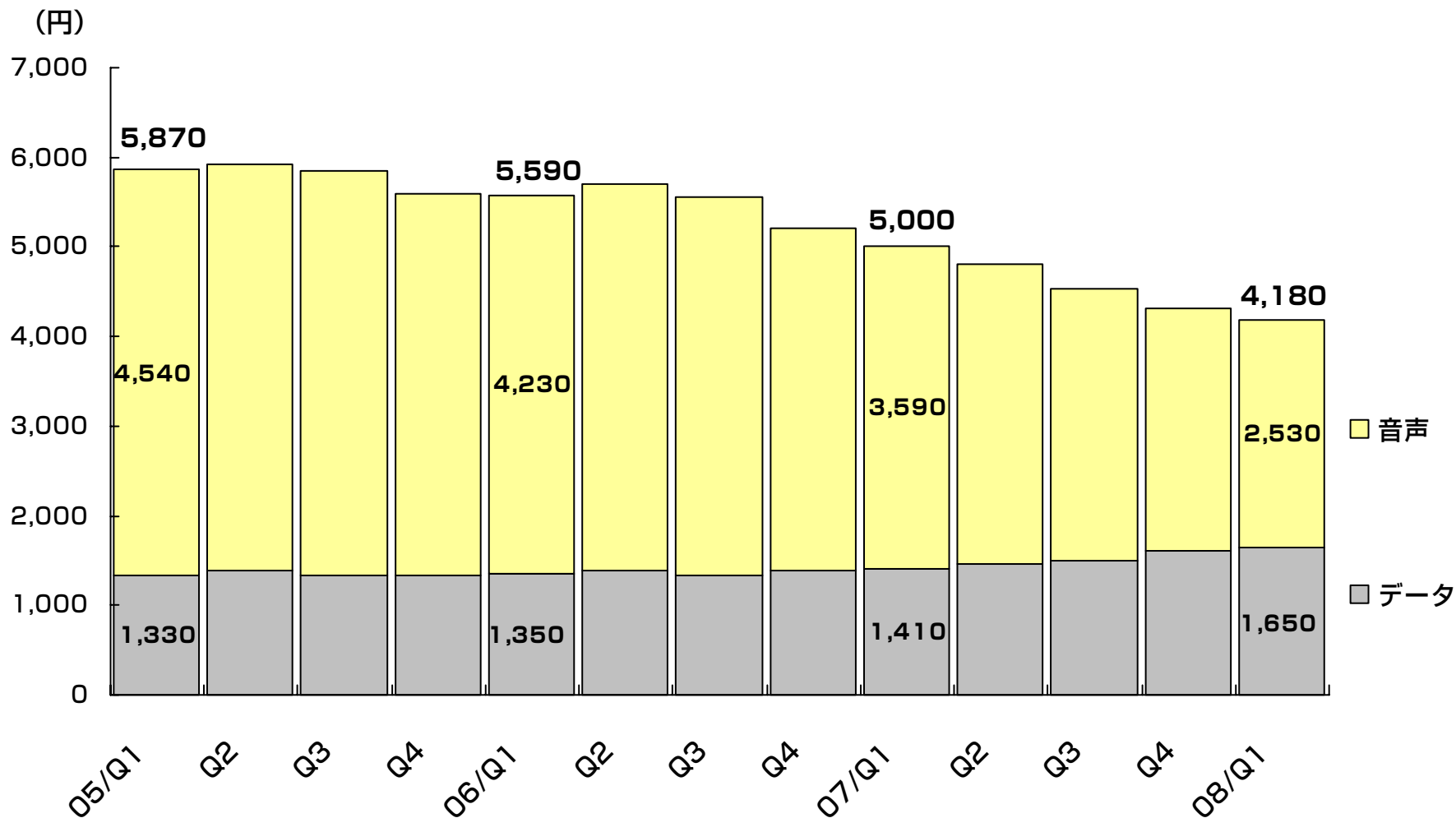
※スーパーボーナス加入率=ポストペイド契約総数(新規+買替)に対する割賦販売での契約数の比率

# ARPU

<移動体-8>

■音声ARPU：新スーパーボーナス利用者の増加による特別割引の拡大で低下傾向

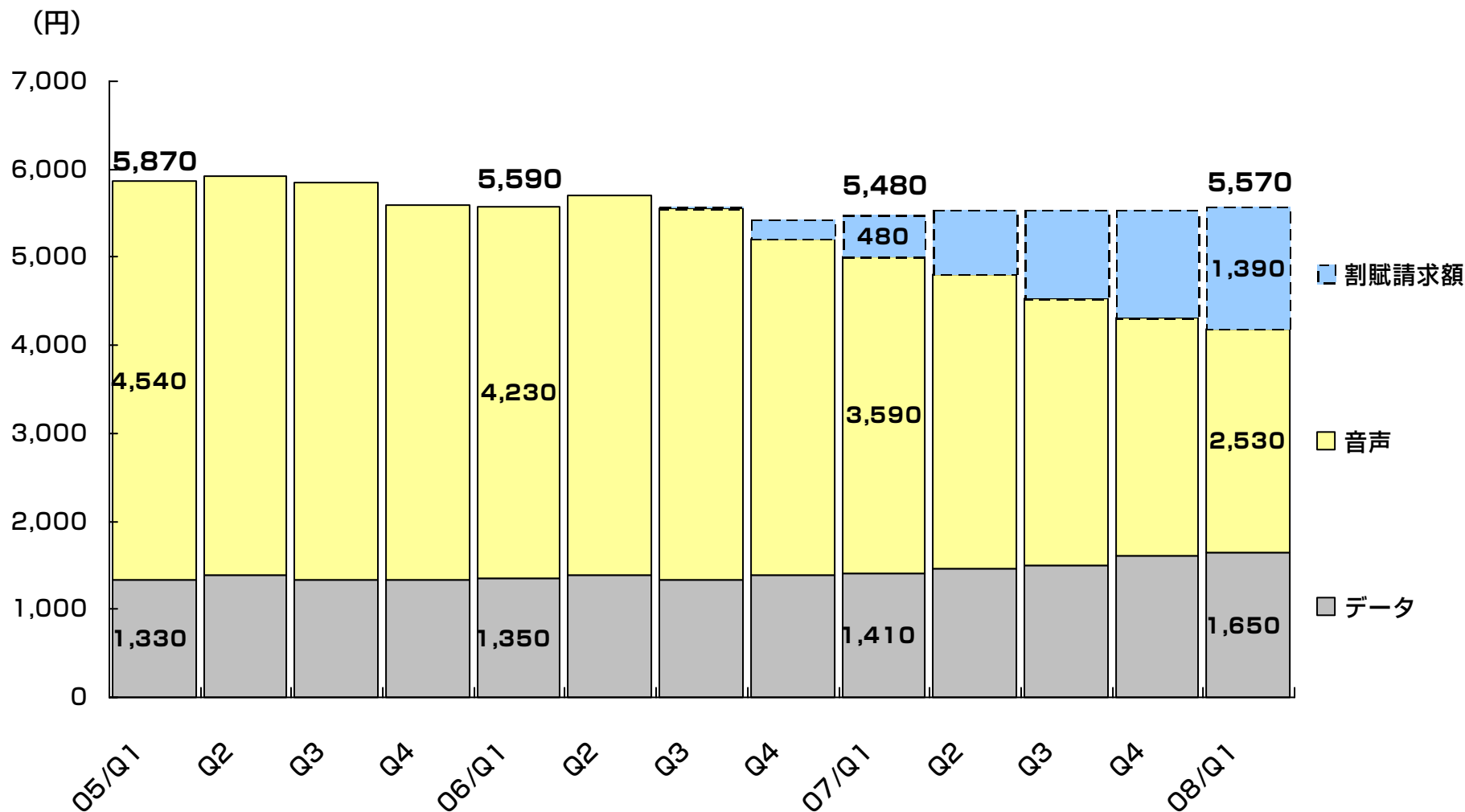
■データARPU：3G比率上昇と無料キャンペーン終了により上昇



# <ご参考> ARPU+割賦請求額

<移動体-9>

## ■ARPU+割賦請求額は横ばいで推移



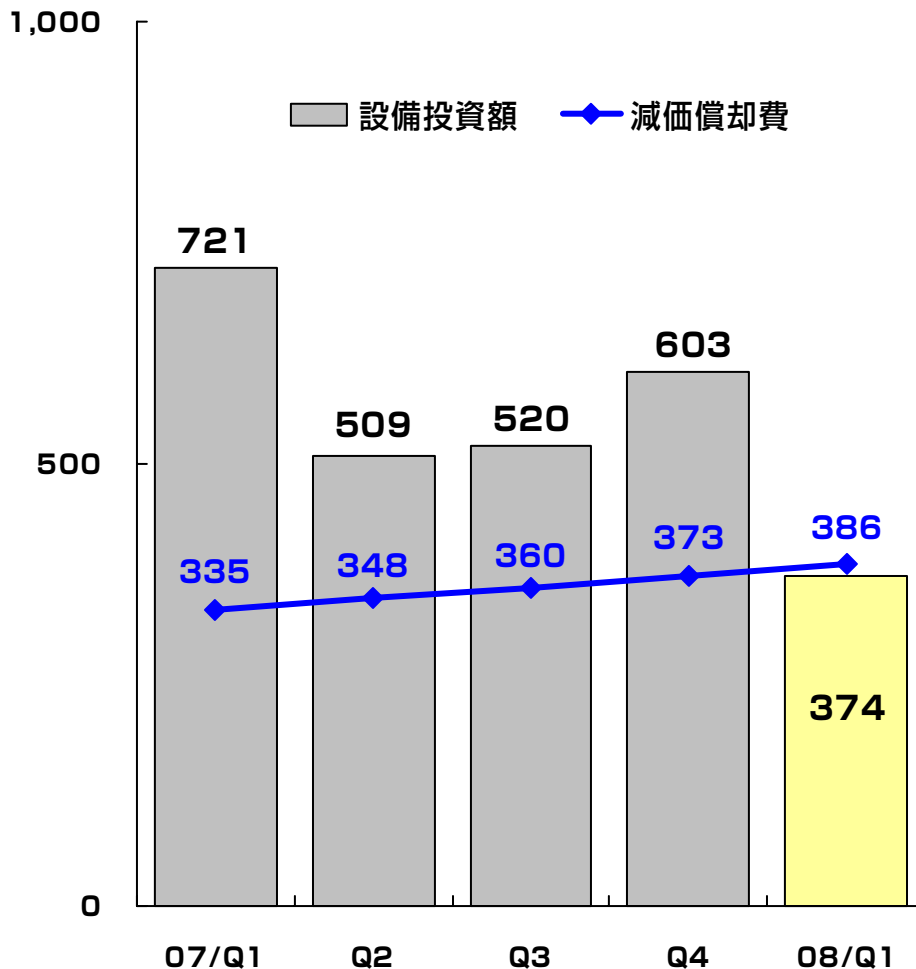
# 設備投資（移動体通信事業）

<移動体-10>

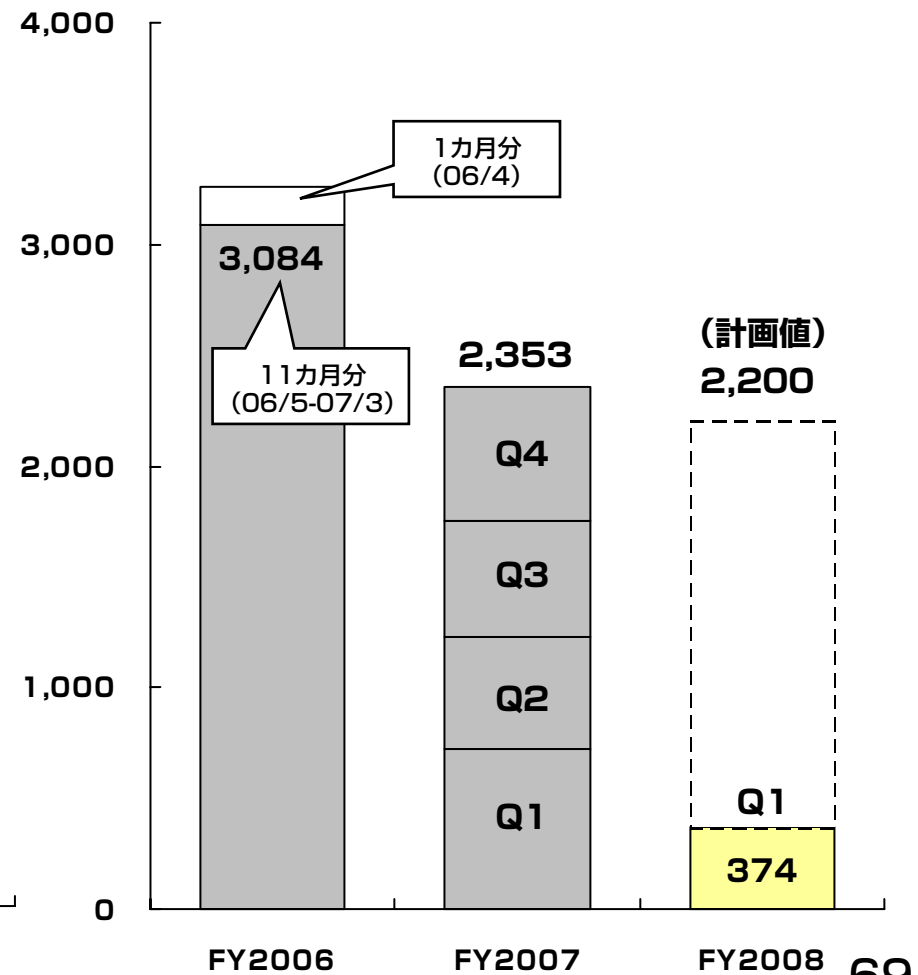
## ■効率的な設備投資を推進

<億円>

設備投資額と減価償却費（四半期推移）



設備投資額（年度推移）





- 本資料には、当社の中長期的戦略・計画・見通しが含まれています。歴史的事実でないこうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の動向などに伴い変化し得る可能性があるため、本資料のみに全面的に依拠することはお控えくださいますようお願いいたします。
- 本資料に記載されている商品・サービス名称は、各社の登録商標または商標です。